

東芝デジタル複合機

印刷

e-STUDIO2020AC/2021AC

e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC

e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A

e-STUDIO6527AC/7527AC

e-STUDIO6529A/9029A




はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機で印刷を行うために必要なプリンタードライバーの設定および印刷方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3が発生する可能性があること」を示しています。
注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2020AC/2021AC	e-STUDIO5525AC Series
e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC	
e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A	e-STUDIO5528A Series
e-STUDIO6527AC/7527AC	e-STUDIO7527AC Series
e-STUDIO6529A/9029A	e-STUDIO9029A Series

オプション機器について

使用可能なオプション機器は、以下の参照先をご覧ください。

[機体の情報](#) - [機体の情報](#) - [本機のオプション](#)

画面と操作手順の説明について

- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。macOSでの画面および操作手順は、macOS 11.xを例に説明しています。
お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- 本書に掲載するイラストの外観は、お使いの機種により異なります。
- 本書では、設定項目などの初期値を下線で表記しています。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
第1章 概要	
特長および機能について	10
プリンタードライバのインストールについて	11
第2章 Windowsアプリケーションから印刷する	
基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザー名の入力が必要なときは	17
用紙や倍率に関する設定	21
定形用紙を選ぶ.....	21
さまざまな用紙を使って印刷する.....	22
拡大、縮小する.....	27
印刷の向きを変える.....	28
排紙先を選択する	29
レイアウトや仕上がりに関する設定	30
1部またはページごとに分けて印刷する.....	30
両面印刷する	32
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	32
複数ページを1枚の用紙に印刷する	35
ホチキス留めにする.....	36
パンチ穴を開ける	36
余白を変更する.....	37
とじしろと画像シフトを設定する.....	38
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）.....	40
節約に関する機能	41
両面印刷する	41
複数ページを1枚の用紙に印刷する	41
白紙は印刷しないようにする	41
トナーを節約する	41
別の用紙を挿入する.....	42
表紙および裏表紙を挿入する	42
指定したページに用紙を挿入する.....	43
1ページごとに用紙を挿入する	44
色や画質に関する設定.....	45
印刷色を指定する	45
原稿に合わせて画質を選択する.....	47
画質を調整したいときは	49
印刷内容を付加する機能	52
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）.....	52
別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）	55
本体にジョブを保存してから出力する.....	59
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）.....	59
機密文書を印刷する（プライベート印刷）.....	60
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）.....	62
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）.....	63
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）.....	64
本体のボックスに保存する（本体に保存）.....	65
条件を組み合わせて印刷する	68

複数の複合機がある場合に利用できる機能	71
印刷に使用する機体を変更する.....	71
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）.....	72
印刷設定の保存	74
印刷機能の初期値を変える.....	74
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）.....	75
簡易設定をテンプレートに割り当てる.....	77
簡易設定をアプリケーションに割り当てる.....	81
オプション機器やユーザー認証の設定	82
プリンターのオプション機器を設定する.....	82
部門管理機能を利用する.....	85
ユーザー認証機能を利用する.....	86
注意事項について.....	88
プリンタードライバの機能概要	89
プリンタードライバの設定.....	89
[基本] タブ.....	90
[仕上げ] タブ.....	96
[挿入] タブ.....	104
[画質] タブ.....	109
[効果] タブ.....	118
[カスタム] タブ.....	124
[デバイス設定] タブ.....	131
[テンプレート] タブ.....	139
プリンタードライバヘルプについて.....	141

第3章 macOSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順	145
印刷方法.....	145
部門コードやユーザー名の入力が必要なときは.....	146
用紙や倍率に関する設定	147
定形用紙を選ぶ.....	147
さまざまな用紙を使って印刷する.....	150
拡大、縮小する.....	153
印刷の向きを変える.....	154
排紙先を選択する.....	155
レイアウトや仕上がりに関する設定	156
1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）.....	156
両面印刷する.....	157
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	158
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	159
ページの順番を逆にして印刷する.....	160
奇数（または偶数）ページのみを印刷する.....	160
ホチキス留めにする.....	161
パンチ穴を開ける.....	163
用紙の中央で中折りして印刷する.....	164
節約に関する機能	165
両面印刷する.....	165
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	165
白紙は印刷しないようにする.....	165
トナーを節約する.....	166
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	167
表紙および裏表紙を挿入する.....	167
バナーページを挿入する.....	168
色や画質に関する設定	169

印刷色を指定する	169
印刷時の版ズレを防ぐ	172
原稿に合わせて画質を選択する	173
画質を調整したいときは	175
印刷内容を付加する機能	181
文書上に薄い文字を重ねて印刷する (スタンプ)	181
本体にジョブを保存してから出力する	182
機密文書やサンプル印刷を設定する	182
本体のボックスに保存する (本体に保存)	183
印刷設定の保存	184
設定内容の確認/注意事項	185
印刷設定の内容や消耗品を確認する	185
注意事項について	185
プリンタードライバーの機能概要	186
プリンタードライバーの表示方法	186
「ページ設定」ダイアログボックス	186
「プリント」ダイアログボックス	187

第4章 その他の印刷方法

UNIX/Linux環境から印刷する	192
注意点と確認事項について	192
LPコマンドを使用して印刷する	192
一般的なlpおよびlptapオプション	193
一般的なオプション	193
PCL5e固有オプション	206
USBダイレクト印刷	210
USBメディアからファイルを印刷する	210
印刷時の注意事項	213
FTP印刷	214
Eメール印刷	215
Eメールダイレクト印刷	216
IPP-PIN印刷	218
IPP-PIN印刷ジョブの削除	219
索引	221

概要

特長および機能について.....	10
プリンタードライバーのインストールについて.....	11

特長および機能について

サポートするクライアントプラットフォーム

本機は、Windows OS、macOS、およびUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。（プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

多様なポート機能

SMB、IPP、Raw TCP、WSD、LPRポートの印刷ポートをサポートしています。

多様な印刷ジョブ

印刷ジョブの種類を用途により使い分けることができます。

- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- 予約印刷では、印刷する時間や日付を指定して印刷します。
- IPP-PIN印刷では、本機のタッチパネルよりPINコードを入力して印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- プライベート印刷では、本機のタッチパネルよりパスワードを入力するまで、ジョブを保持します。
- ホールド印刷では、本機のタッチパネルより印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- マルチステーション印刷では、本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

注意

この機能を使用するにはマルチステーション印刷オプションが必要です。

- お試し印刷では、複数部数を設定した印刷ジョブを1部だけ印刷します。印刷結果を確認後、残り部数の印刷を実行します。
- オーバーレイファイルで保存では、印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは印刷する文書の背面に印刷することができます。
- 本体に保存では、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管します。
- ジョブタイプの組み合わせでは、複数のジョブタイプを組み合わせで印刷することができます。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管し、さらに指定した時間に印刷させることができます。

高度なフィニッシングオプション

装着されているフィニッシングオプションの構成によっては、ソート印刷、グループ印刷、ホチキス印刷、サドルステッチ印刷、パンチ印刷など、さまざまな出力機能を使用できます。使用できる機能は、機種により異なります。

レイアウトの変更とページ組み機能

アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを1枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷を実行できます。

また、表紙印刷や裏表紙印刷、指定したページのシート印刷、ページごとに用紙を挿入する差し込み印刷なども利用することができます。

多様な大きさの印刷用紙に対応

アプリケーションで作成した文書を、定形サイズのほかにユーザー設定サイズを定義して印刷することができます。

スタンプとオーバーレイファイル

スタンプは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによっては、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類できます。代表的なスタンプとして、「コピー」、「ドラフト」、「社外秘」などがあります。いくつかのスタンプは用意されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

オーバーレイファイルは、スタンプと異なり、テキストだけでなくグラフィックスなどを含んだドキュメントをオーバーレイファイルに変換し、透過した状態で印刷する文書の背景として印刷されます。グラフィックスを使用するため、通常のテキストのみのスタンプより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適応したスタンプを印刷したい場合に便利です。

プリンタードライバーのインストールについて

OSごとのプリンタードライバーはインストールディスクに収録されています。必要なドライバーのインストール方法については、以下の参照先をご覧ください。

インストール

Windowsアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザー名の入力が必要なときは	17
用紙や倍率に関する設定	21
定形用紙を選ぶ	21
さまざまな用紙を使って印刷する	22
拡大、縮小する	27
印刷の向きを変える	28
排紙先を選択する	29
レイアウトや仕上がりに関する設定	30
1部またはページごとに分けて印刷する	30
両面印刷する	32
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）	32
複数ページを1枚の用紙に印刷する	35
ホチキス留めにする	36
パンチ穴を開ける	36
余白を変更する	37
とじしろと画像シフトを設定する	38
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）	40
節約に関する機能	41
両面印刷する	41
複数ページを1枚の用紙に印刷する	41
白紙は印刷しないようにする	41
トナーを節約する	41
別の用紙を挿入する	42
表紙および裏表紙を挿入する	42
指定したページに用紙を挿入する	43
1ページごとに用紙を挿入する	44
色や画質に関する設定	45
印刷色を指定する	45
原稿に合わせて画質を選択する	47
画質を調整したいときは	49
印刷内容を付加する機能	52
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）	52
別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）	55

本体にジョブを保存してから出力する	59
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）	59
機密文書を印刷する（プライベート印刷）	60
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）	62
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）	63
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）	64
本体のボックスに保存する（本体に保存）	65
条件を組み合わせて印刷する	68
複数の複合機がある場合に利用できる機能	71
印刷に使用する機体を変更する	71
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）	72
印刷設定の保存	74
印刷機能の初期値を変える	74
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）	75
簡易設定をテンプレートに割り当てる	77
簡易設定をアプリケーションに割り当てる	81
オプション機器やユーザー認証の設定	82
プリンターのオプション機器を設定する	82
部門管理機能を利用する	85
ユーザー認証機能を利用する	86
注意事項について	88
プリンタードライバーの機能概要	89
プリンタードライバーの設定	89
[基本] タブ	90
[仕上げ] タブ	96
[挿入] タブ	104
[画質] タブ	109
[効果] タブ	118
[カスタム] タブ	124
[デバイス設定] タブ	131
[テンプレート] タブ	139
プリンタードライバーヘルプについて	141

基本的な印刷手順

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。

■ 印刷方法

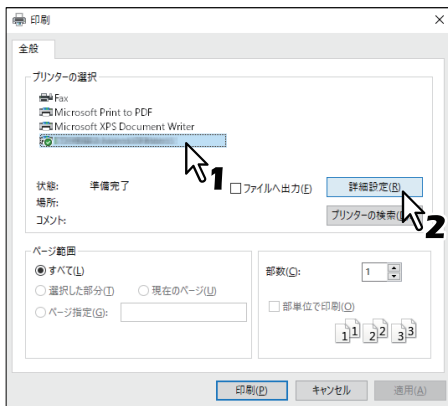
プリンタードライバーをインストールすれば、ほとんどのWindowsアプリケーションで印刷を実行できます。プリンタードライバーが提供する印刷オプションでは、印刷目的に合ったさまざまな印刷機能を使用することができます。

補足

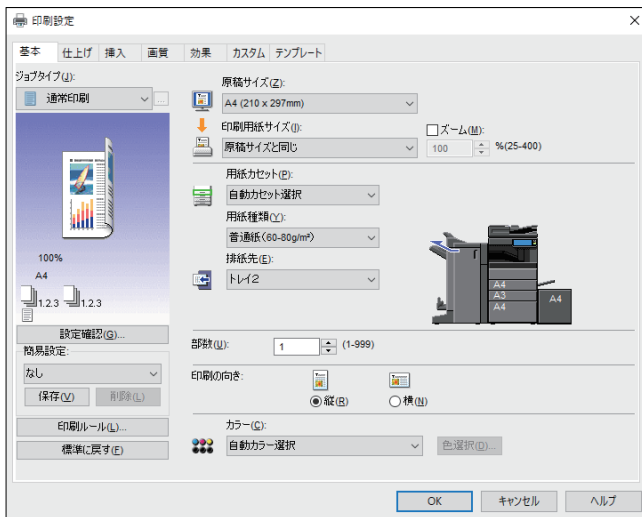
プリンタードライバーのプロパティダイアログを表示させる手順は、お使いのアプリケーションにより異なります。詳細はアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windowsのメモ帳から印刷する場合を例に説明します。

- 1 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリンター一覧から使用する本機プリンタードライバーを選択し、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックします。



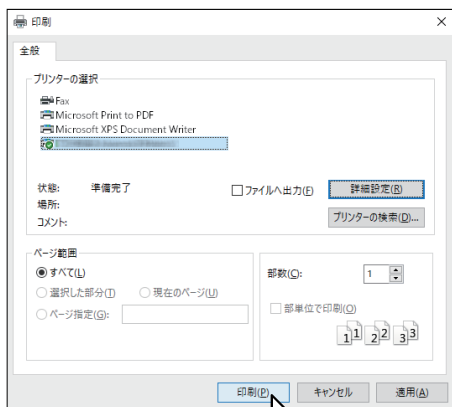
- 3 各タブで印刷機能を設定します。



簡易設定を使って印刷機能を設定することもできます。
P.75 「簡易設定を保存する」

- 4 [OK] をクリックして、設定を保存します。

5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックして、文書を印刷します。



■ 部門コードやユーザー名の入力が必要なときは

□ 部門コードの入力

本機が部門コードでカウンター情報を管理している場合、印刷するときに部門コードを入力する必要があります。詳細は管理者にご確認ください。

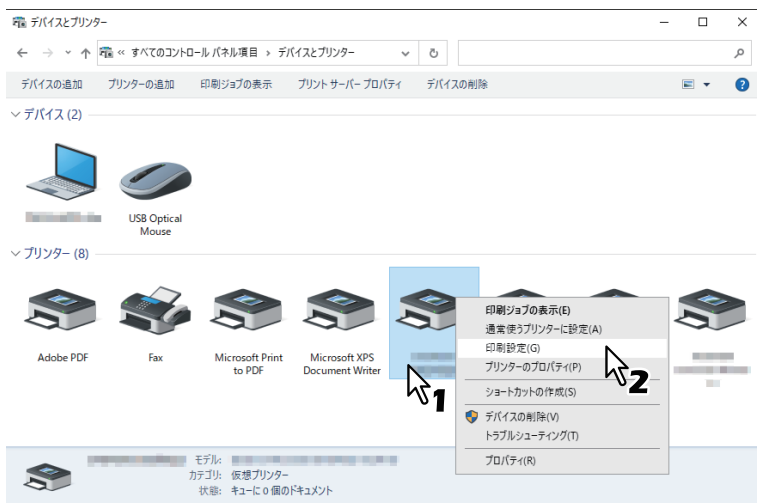
以下の手順であらかじめ部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

補足

- 部門コードでカウンター情報を管理するための設定は、管理者が行います。
 ④ P.85 「部門管理機能を利用する」
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力できます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷するときに該当する部門コードをそれぞれ入力してください。

1 [スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。プリンターフォルダーが表示されます。

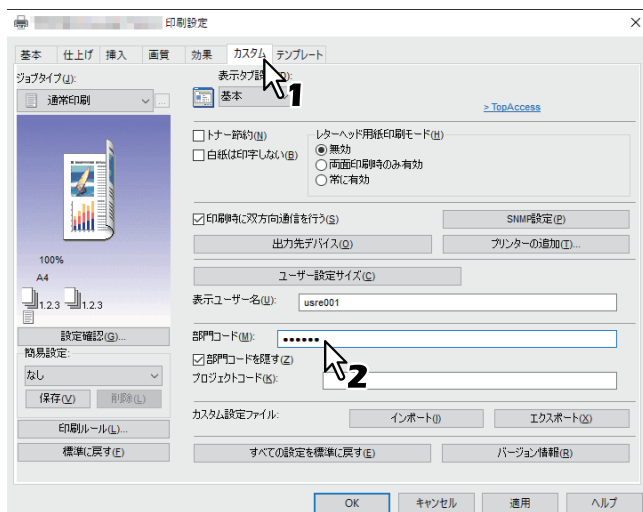
2 本機プリンタードライバーを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択します。



補足

[ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。

3 [カスタム] タブを選択し、部門コードを入力します。



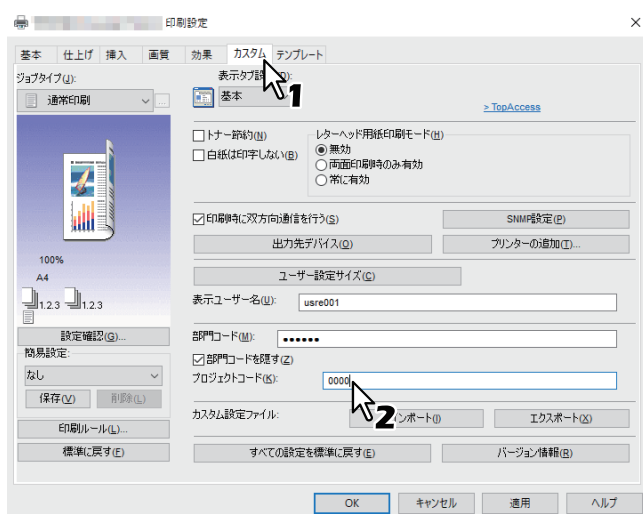
[部門コード] には、1～63桁まで入力できます。

4 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

□ プロジェクトコードの入力

プロジェクトコードをあらかじめ入力しておくことができます。

1 [カスタム] タブを選択し、プロジェクトコードを入力します。

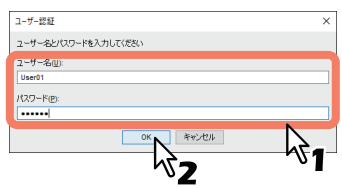


[プロジェクトコード] には、1～63桁まで入力できます。プロジェクトコードについては、管理者にお問い合わせください。

2 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

□ ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名とパスワード入力のオプションが有効に設定されている場合、印刷する際にユーザー名とパスワードの入力を要求されます。
 この場合は、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

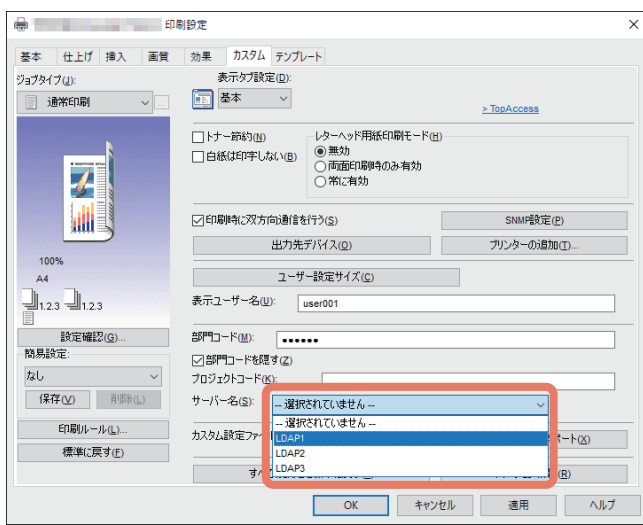


補足

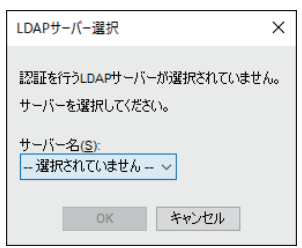
- [ユーザー名] には半角英数文字で128文字まで、[パスワード] ボックスには半角英数文字で64文字まで入力できます。
- 入力したユーザー名やパスワードは保存されません。印刷を実行するごとに入力する必要があります。
- このオプションの設定は、[デバイス設定] タブで行います。
 ① P.86 「印刷ごとにユーザー名とパスワードを入力する」

□ LDAPサーバー名の指定

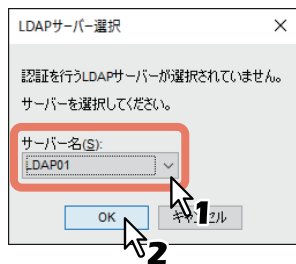
LDAP認証が有効に設定されている場合、[カスタム] タブの [サーバー名] でLDAPサーバーを指定してください。



LDAPサーバーを指定せずに印刷ジョブを送信すると、[LDAPサーバー選択] ダイアログボックスが表示されます。



この場合は、[サーバー名] ボックスでLDAPサーバーを指定し、[OK] をクリックします。



補足

LDAP認証の設定は、[デバイス設定] タブで行います。

📖 P.87 「LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する」

用紙や倍率に関する設定

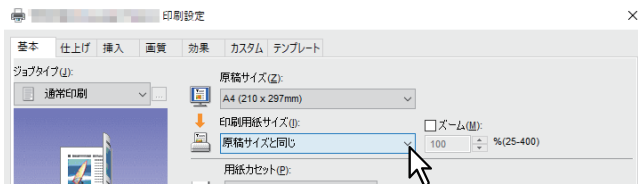
■ 定形用紙を選ぶ

印刷目的に合わせて用紙設定します。ここでは、[基本] タブで設定できる機能について説明します。

用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。
- 3 [印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。

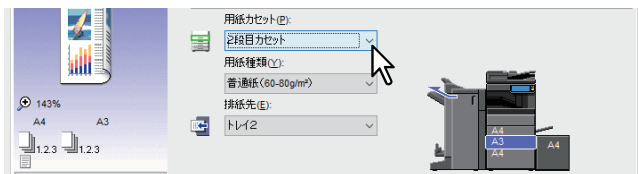


原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、[原稿サイズと同じ] を選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

給紙元を選択する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [用紙カセット] から用紙の給紙元を選択します。



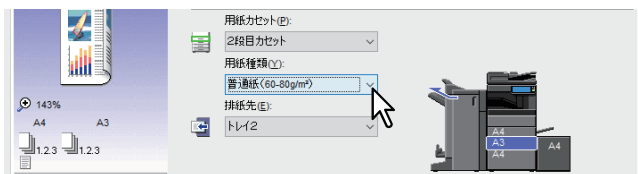
[基本] タブの本機プレビューで、選択した給紙元の色が変わります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [用紙種類] から用紙の種類を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

□ インデックス紙に印刷する

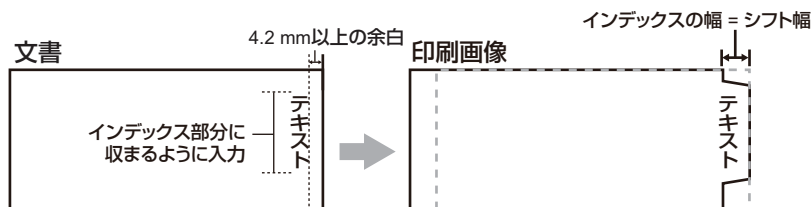
インデックス紙のインデックス部分への印刷をサポートしています。

注意

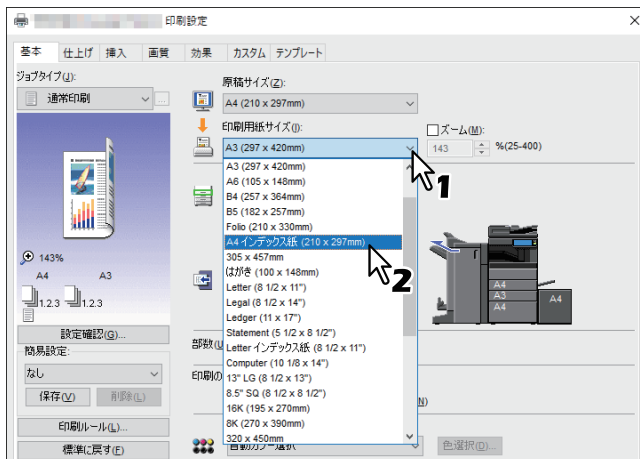
- A4サイズまたはLetterサイズのみサポートしています。
- 複数枚のインデックス紙を一度に印刷すると、印刷イメージがはみ出てしまった場合など、2枚目以降のインデックス紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、インデックス紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- インデックス部分を送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にインデックス紙を取り除いてください。

1 インデックス紙に印刷するA4サイズまたはLetterサイズの文書を作成し、インデックスに印刷するテキストを文書の右端に配置します。

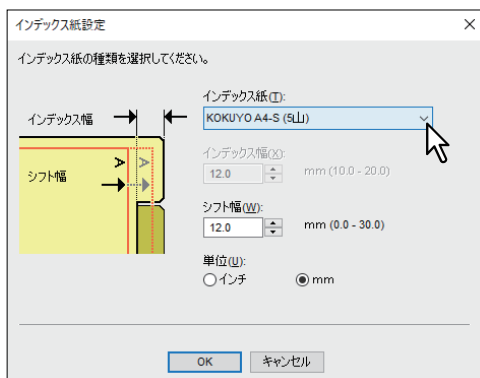
テキストの縦位置は、インデックスに収まるように調整して入力してください。
用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。



2 プリンタードライバーのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択します。



- 3 [インデックス紙] で、使用するインデックス紙の製品名を選択するか、または [カスタム] を選択します。



- 4 [カスタム] を選択した場合は、[インデックス幅] にインデックス幅を入力します。

- 5 [シフト幅] に印刷イメージをシフトする幅を入力します。

手順1のように文書を作成した場合は、[インデックス幅] に入力した値と同じ値を [シフト幅] に入力します。

注意

用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

- 6 [OK] をクリックします。

- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

- 8 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- 9 インデックス紙を手差しトレイにセットします。

手差しトレイにインデックス紙をセットする場合は、インデックスが外側になるようにセットします。インデックス紙セット方法の詳細は、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - インデックス紙を手差しトレイにセットする

用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - インデックス紙を手差しトレイにセットする

- 10 タッチパネルの [状況確認] を押します。

- 11 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

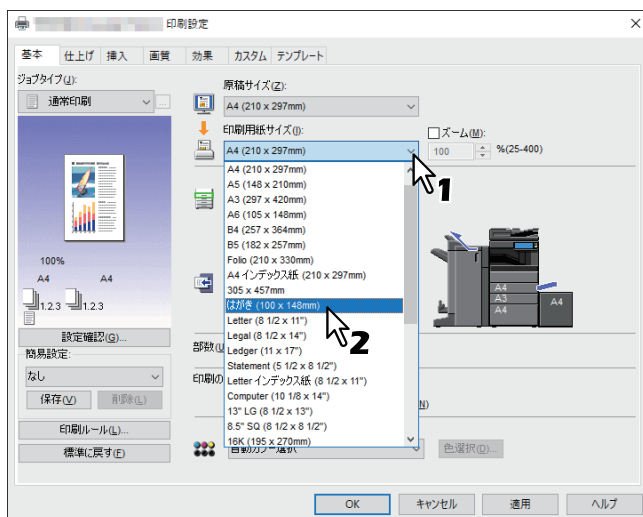
□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。

- 1 プリンタードライバーのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [はがき] を選択します。



- 2 [用紙種類] で [厚紙2] を選択します。

注意

e-STUDIO2528A/3528A/4528Aをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 5 はがきの下側 (後端) を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。
- 6 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。

はがきセット方法の詳細、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - はがきを手差しトレイにセットする

用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - はがきを手差しトレイにセットする

- 7 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 8 用紙種類の選択画面で、[厚紙2] を押します。

注意

e-STUDIO2528A/3528A/4528Aをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

- 9 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

□ ユーザー設定サイズを登録して印刷する

ユーザー設定サイズの用紙を登録して印刷する方法を説明します。[カスタム] タブで用紙サイズを登録することで、ユーザー設定サイズを使用できます。

ユーザー設定サイズを登録する

「ユーザー設定サイズ」ダイアログボックスでは、用紙設定を最大40個まで登録することができます。ここで登録したユーザー設定サイズは、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] で選択できます。

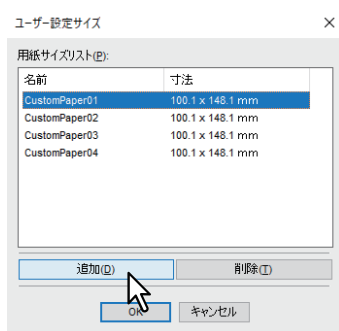
注意

- 登録できるユーザー設定サイズは、機種により異なります。登録できるユーザー設定サイズについては、以下の参照先をご覧ください。
本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類
- [ユーザー設定サイズ] は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定できません。
- [ユーザー設定サイズ] は、管理者権限でのみ設定が可能です。

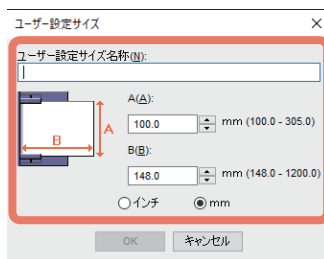
補足

ユーザープリンタードライバー設定サイズは、Universal Printer 2 (PCL6) / Universal PS3 プリンタードライバーの間で共用できます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [ユーザー設定サイズ] をクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 「ユーザー設定サイズ-ユーザー設定サイズ名称」ダイアログボックスで詳細を設定します。



ユーザー設定サイズ名称：ユーザー設定サイズの名称を入力します。半角・全角31文字まで入力できます。ここで設定した名前が、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] に表示されます。
用紙寸法：横幅 (A) および縦幅 (B) を指定します。
単位：単位を選択します。

注意

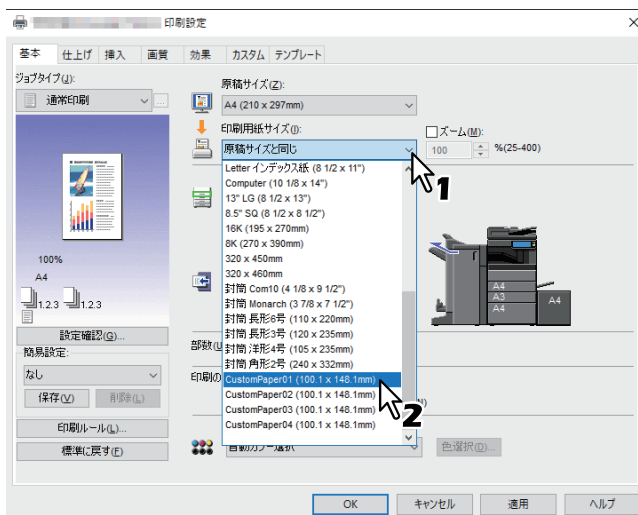
- 機種により、横幅 (A) と縦幅 (B) の設定可能範囲が異なります。各寸法の右側に表示される設定範囲内で指定してください。
- 横幅 (A) または縦幅 (B) いずれかは、定形サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。差異が7 mm未満だった場合、定形サイズとして扱われます。
- 横幅 (A) が縦幅 (B) よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを [横] に変更して印刷してください。

5 [OK] をクリックします。

6 用紙サイズリストにユーザー設定サイズ名称が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

ユーザー設定サイズの用紙に印刷する

1 プリンタードライバーのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] でユーザー設定サイズを選択します。



2 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

3 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

4 ユーザー設定サイズの用紙を手差しトレイまたはカセットにセットします。

注意

定形サイズより長いユーザー設定サイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - 非定形サイズの用紙を手差しトレイにセットする

用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - 非定形サイズの用紙を手差しトレイにセットする

5 タッチパネルの [状況確認] を押します。

6 セットした用紙に合わせて、用紙種類を選択します。

7 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

補足

手差しトレイまたはカセットに用紙がない場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。タッチパネルに表示される用紙サイズは実際に登録した用紙サイズと若干異なることがあります。

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。

□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。[印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。



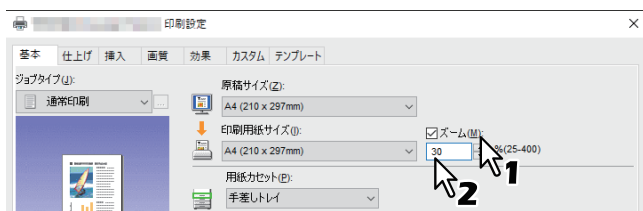
選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

倍率を手動で設定します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ズーム] を選択して、倍率を入力します。



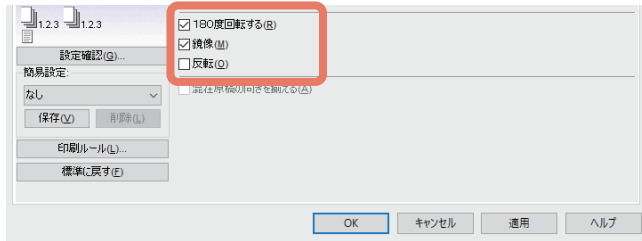
倍率は、25～400 (%) の範囲を1%単位で設定できます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 [効果] タブを選択します。
- 2 印刷の向きに関するチェックボックスを選択します。



180度回転する：ページ全体を180度回転させます。

鏡像：ページ全体を鏡に映したように左右を反転させます。

注意

- [180度回転する] と [混合原稿の向きを揃える] を同時に使用することはできません。
- [鏡像] は、以下のプリンタードライバーをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2 (PostScript)

混在原稿の向きを揃える：原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合、印刷結果の縦横の向きをそろえることができます。

原稿が以下の組み合わせの場合に選択してください。

- A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き
- A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き
- LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き
- LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き
- B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き
- B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き
- 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き
- 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き

注意

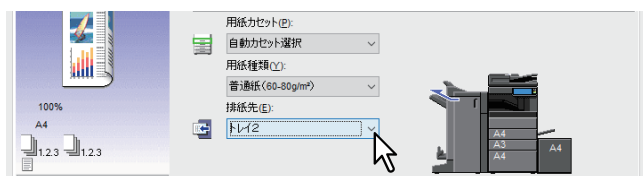
[180度回転する] を選択している場合は、この機能は無効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。[基本] タブの本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [排紙先] から排紙先トレイを選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

- 選択できる項目は、お使いになる機種、用紙サイズおよびオプションの装着状態により異なります。
- サドルステッチフィニッシャーを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は [サドルトレイ] に固定されます。

レイアウトや仕上がりに関する設定

注意

設定できる項目は、お使いの機種およびオプション構成により異なります。

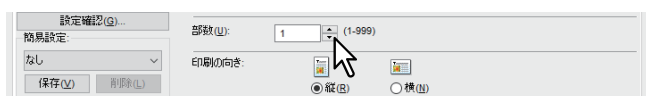
■ 1部またはページごとに分けて印刷する

複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択します。1部ごと出力する [ソート]、ページごとにグループ分けして出力する [グループ]、および縦横交互に出力する [縦横交互排紙] を選択することができます。

1部ごと仕分けして排紙する

ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [ソート] アイコンを選択します。

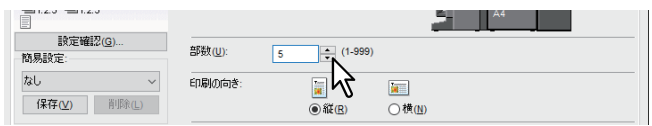


- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと仕分けして排紙します。

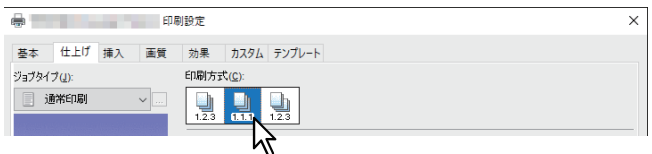
ページごとにグループ分けして排紙する

グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [グループ] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ページごとにグループ分けして出力します。

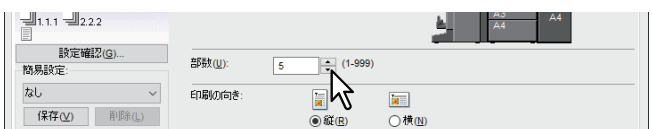
印刷ジョブを縦横交互に出力する

1部ずつ縦横交互に排紙します。

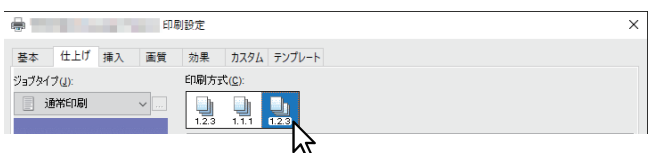
注意

- お使いの機種によっては、縦横交互出力は利用できません。
- 縦横交互出力は、Letter、A4、B5、または16K用紙を使って印刷するとき有効です。
- 使用する用紙が縦／横の両方の向きでセットされている必要があります。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [縦横交互] アイコンを選択します。

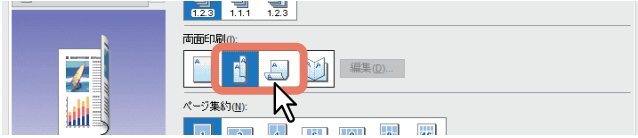


- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと、縦横交互に排紙します。

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷します。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [両面印刷] から印刷文書のとじ向きを選択します。



長辺：用紙の長い辺の方にとじしるを設定し、両面印刷します。
短辺：用紙の短い辺の方にとじしるを設定し、両面印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

補足

- 両面印刷では、製本印刷を設定することもできます。製本印刷については、以下の参照先をご覧ください。
📖 P.32 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)」
- 両面印刷した用紙にホチキス留めやパンチ穴を開けて出力したい場合は、各機能を別途設定します。
📖 P.36 「ホチキス留めにする」
📖 P.36 「パンチ穴を開ける」

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。また、ホチキス機能を使用して印刷した文書の中央をホチキス留め (サドルステッチ処理) し、中折り機能で自動的に中折りとじを出力できます。たとえば、B4サイズで文書を製本印刷した場合、B5サイズの中折りとじを作成します。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折りにとじたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。

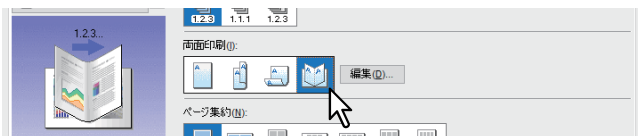
文書サイズを変更せずに製本印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズに設定します。たとえば、B5サイズで作成した文書をB4サイズの用紙に製本印刷すると、B4サイズの中折りとじを作成します。文書サイズと同じサイズの中折りとじを作成するには、次のようなサイズを指定します。

- A4 (文書サイズ) / A3 (用紙サイズ)
- A5 (文書サイズ) / A4 (用紙サイズ)
- B5 (文書サイズ) / B4 (用紙サイズ)
- Letter (文書サイズ) / Ledger (用紙サイズ)

注意

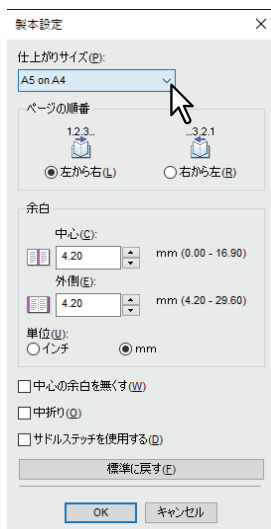
利用できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [両面印刷] から [製本] アイコンを選択します。



- 3 [編集] をクリックします。

4 【仕上がりサイズ】 から仕上がりサイズを選択します。



A5 on A4：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。

A4 on A3：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。

B5 on B4：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。

B6 on B5：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Folio on Folio：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

A6 on A5：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。

Letter - Half on Letter：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

LT on LD：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 LG on LG：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Statement on Statement：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Comp on Comp：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 13LG on 13LG：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

1/2 8.5SQ on 8.5SQ：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

32K on 16K：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

16K on 8K：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

注意

選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。

5 【ページの順番】 からページの印刷順序を選択します。

6 【余白】 で余白幅を設定します。

【中心】：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。16.90 mm（0.67インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。

【外側】：ページの上下左右の余白を設定します。29.60 mm（1.17インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。

【単位】：余白の単位を選択します。

補足

【中心の余白を無くす】を選択すると、【中心】の設定値が無効となり、中央の余白を0 mm（0インチ）に設定できます。

7 用紙の中央部分で中折りして出力する場合は、[中折り] を選択します。

注意

- [中折り] は、サドルステッチフィニッシャーを装着した場合にのみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

8 用紙の中央部分を2か所ホチキス留めして出力する場合は、[サドルステッチを使用する] を選択します。

注意

- [サドルステッチを使用する] は、サドルステッチフィニッシャー装着時のみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

9 [OK] をクリックします。

10 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

11 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

サドルステッチフィニッシャーが装着されており、[中折り] を有効にした場合、印刷ジョブは中折りされて出力されます。サドルステッチフィニッシャーが装着されていない場合には、手動で出力紙の中央に折り目を入れてください。

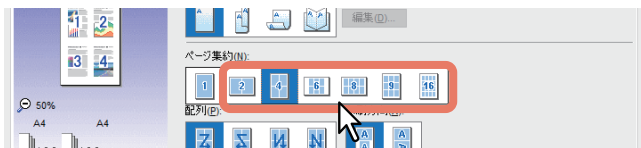
■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

ページ集約印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

補足

ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [ページ集約] からレイアウト方法を選択します。



- 2 in 1 : 2ページを1枚の用紙に印刷します。
- 4 in 1 : 4ページを1枚の用紙に印刷します。
- 6 in 1 : 6ページを1枚の用紙に印刷します。
- 8 in 1 : 8ページを1枚の用紙に印刷します。
- 9 in 1 : 9ページを1枚の用紙に印刷します。
- 16 in 1 : 16ページを1枚の用紙に印刷します。

- 3 [配列] で、用紙にページをどのように並べるかを選択します。



- 左から右：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 右から左：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で左から右：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で右から左：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

補足

[配列] で選択できる項目の種類は、[ページ集約] で選択したページのレイアウト方法により異なります。

- 4 縦横が混在している原稿を印刷するときは、[印刷方向] で印刷する向きを選択します。
印刷画像が同じ方向：原稿方向と同じ向きで縮小して印刷します。
用紙が同じ方向：印刷の向きを原稿方向から90度回転させて印刷します。
- 5 ページごとに境界線を印刷するときは、[周囲に境界線を印刷] を選択します。
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

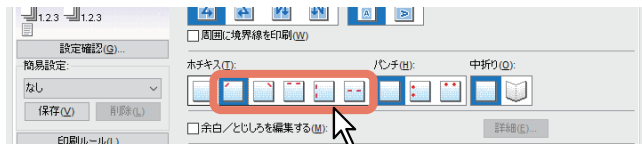
■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

- ホチキス印刷は、フィニッシャー装着時のみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [ホチキス] から留める位置を選択します。



- 上段左：用紙の左上をホチキス留めして排紙します。
- 上段右：用紙の右上をホチキス留めして排紙します。
- 上段（2か所）：用紙の上部2か所をホチキス留めして排紙します。
- 左（2か所）：用紙の左側2か所をホチキス留めして排紙します。
- サドルステッチ：用紙の中央2か所をホチキス留めし中折りして排紙します。

注意

- 選択できる項目は、お使いの機種、用紙サイズおよび用紙の向きにより異なります。
- [サドルステッチ] は、サドルステッチフィニッシャー装着時に有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙をホチキス留めして出力します。

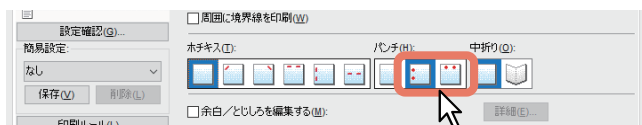
■ パンチ穴を開ける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

- パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [パンチ] から穴の位置を選択します。



- 左：左側2か所にとじ穴を開けて出力します。
- 上段：上部2か所にとじ穴を開けて出力します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙にとじ穴を開けて出力します。

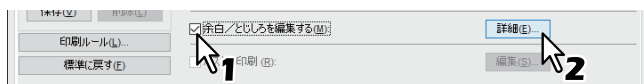
■ 余白を変更する

ページの余白を設定します。通常、お使いのアプリケーションで余白を設定できます。アプリケーションで設定できない場合にご使用ください。

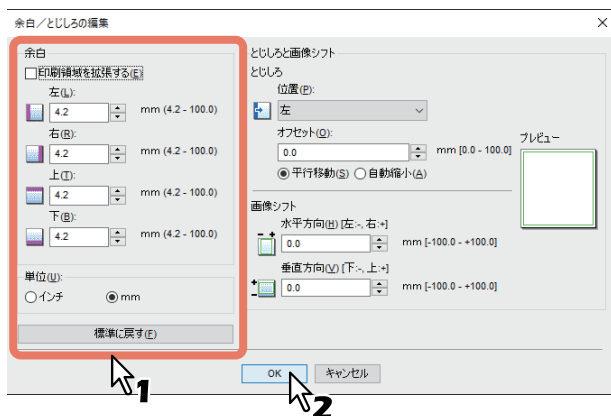
注意

- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [余白/とじしろを編集する] を選択し、[詳細] をクリックします。



- 3 余白を設定し、[OK] をクリックします。



印刷領域を拡張する：印刷領域を拡張する場合に選択します。

注意

本機は縁なし印刷には対応していません。余白を0 mmに設定した場合でも、本機の制限により端まで印刷できない部分があります。

余白：4.2～100 mmの範囲で値を入力します。

単位：[mm] または [インチ] から、値の単位を選択します。

標準に戻す：[余白/とじしろの編集] の設定を初期設定に戻します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ とじしろと画像シフトを設定する

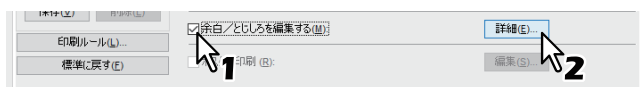
ページの余白とは別に、ホチキス留めやパンチ穴の位置にとじしろを追加することができます。また、印刷イメージを移動することができます。

注意

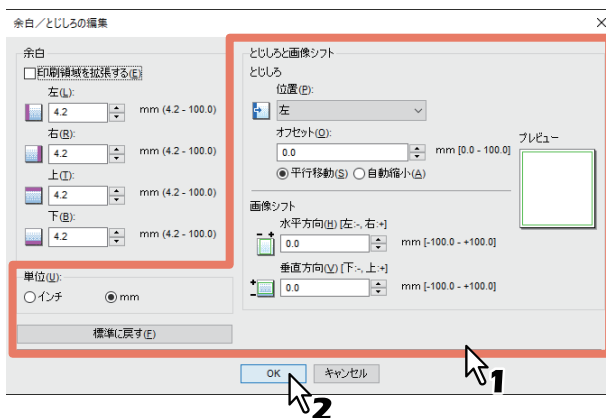
- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- [ポスター印刷] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。
- お使いの機種によっては、ホチキス留めやパンチ印刷を利用できません。

1 [仕上げ] タブを選択します。

2 [余白/とじしろを編集する] を選択し、[詳細] をクリックします。



3 [とじしろ] でとじしろの位置と幅を設定します。
[画像シフト] で印刷イメージのシフト量を設定します。



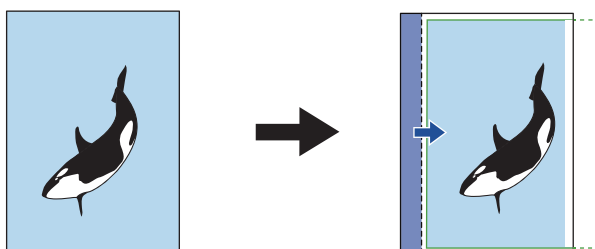
- **位置**：とじしろの位置を [左] / [右] / [上] / [下] から選択します。
[オフセット] が0.1 mm以上でとじしろが設定されます。
- **オフセット**：とじしろ幅を0.0 mm～100 mmの範囲で設定します。

補足

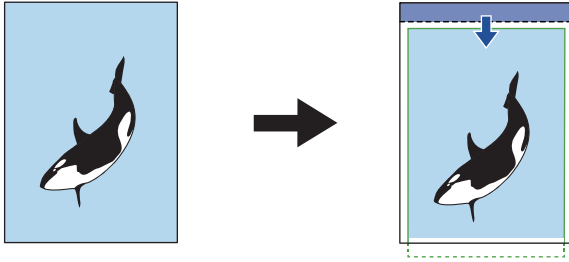
両面印刷の場合、裏面のとじしろは表面とは反対側に作られます。

- **平行移動**：[オフセット] で設定した数値に合わせて印刷イメージが移動します。
とじしろの位置が [左] または [右] に設定されている場合は横方向に移動し、[上] または [下] に設定されている場合は縦方向に移動します。

例：とじしろの位置が [左] に設定されている場合

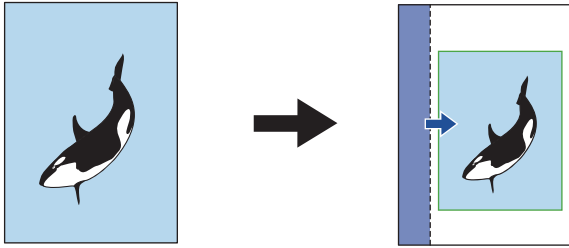


例：とじしろの位置が [上] に設定されている場合



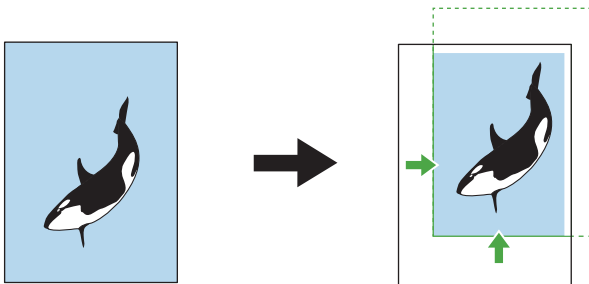
- 自動縮小：用紙に収まるように印刷イメージと印刷領域を自動的に縮小して配置します。

例：とじしろの位置が [左] に設定されている場合



- 水平方向 [左:-, 右:+]：印刷イメージを印刷領域内の右または左方向に移動することができます。-100 ~+100 mmの範囲で数値を入力します。
- 垂直方向 [下:-, 上:+]：印刷イメージを印刷領域内の上または下方向に移動することができます。-100 ~+100 mmの範囲で数値を入力します。

例：水平、垂直方向ともにプラスの数値が設定されている場合



- プレビュー：設定した [とじしろ] と [画像シフト] を表示します。
 帯 (青)：とじしろの位置
 [オフセット] が0.1 mm以上で表示されます。
 矢印 (青)：印刷領域の移動方向
 枠 (緑)：印刷領域
 矢印 (緑)：印刷イメージの移動方向
- 単位：[mm] または [インチ] から、値の単位を選択します。
- 標準に戻す：[余白/とじしろの編集] の設定を初期設定に戻します。

注意

用紙から印刷領域や印刷イメージがはみ出した場合は、はみ出た部分が切り取られて印刷されます。

- 4 [OK] をクリックして [余白/とじしろの編集] ダイアログボックスを閉じます。
- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

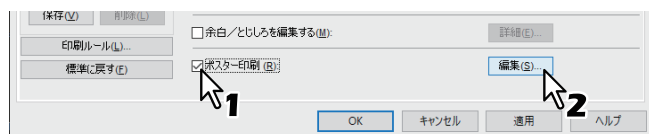
1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。

注意

- ポスター印刷は、ユーザー設定サイズ、ページ集約印刷、両面印刷、スタンプ、オーバーレイ、シート挿入を設定している場合、実行できません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
A4、A3、B4、B5、LT、LD

1 [仕上げ] タブを選択します。

2 [ポスター印刷] を選択し、[編集] をクリックします。



3 [分割枚数] で、何枚の用紙に分割するかを選択し、[OK] をクリックします。



1×2：印刷ジョブを2枚の用紙に分割して印刷します。

2×2：印刷ジョブを4枚の用紙に分割して印刷します。

3×3：印刷ジョブを9枚の用紙に分割して印刷します。

4×4：印刷ジョブを16枚の用紙に分割して印刷します。

注意

- [1×2] は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。
- 選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。
- ポスター印刷を行う場合は、[カスタム] タブの [白紙は印字しない] をオフにしてください。オンのままでポスター印刷を行うと、分割した結果、白紙となったページは印刷されません。


4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。


節約に関する機能

用紙やトナーを節約する機能について説明します。

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。
 P.32 「両面印刷する」

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。
 P.35 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」

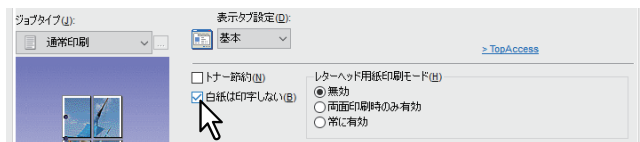
■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- スタンプが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。
- ヘッダーやフッターを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [白紙は印字しない] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

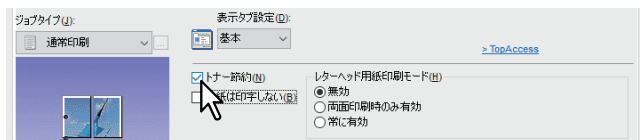
■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

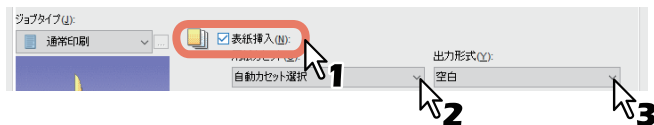
別の用紙を挿入する

原稿の指定したページに表紙や裏表紙、用紙シートを挿入する機能です。種類の違う文書内容を区切るときなどに、色紙や索引用紙などを指定して挿入できます。また、空白シートや印刷したシートを挿入することもできます。

■ 表紙および裏表紙を挿入する

表紙（裏表紙）に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入できます。また、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最初（最後）のページを印刷することができます。

- 1 [挿入] タブを表示します。
- 2 表紙を挿入するときは、[表紙挿入] を選択し、[用紙カセット] ボックスから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。[出力形式] ボックスから表紙の印刷方法を選択します。



出力形式

空白：何も印刷せずに用紙を挿入します。

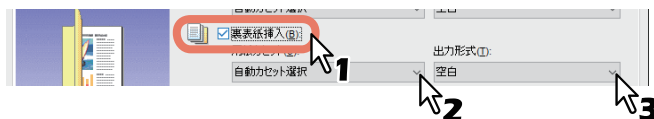
片面印刷：文書の最初のページを用紙の表面に印刷します。

両面印刷：文書の最初の2ページを用紙の両面に印刷します。

注意

- [用紙カセット] で [自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、[手差しトレイ] を選択し、プリンタードライバーの [デバイス設定] タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に [厚紙] を設定します。
- [仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに、[両面印刷] を選択することができます。

- 3 裏表紙を挿入するときは、[裏表紙挿入] を選択し、表紙挿入と同様に [用紙カセット] および [出力形式] を設定します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 指定したページに用紙を挿入する

ページ間へのシート挿入印刷を設定します。指定したページの間違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に指定したページを印刷することができます。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。

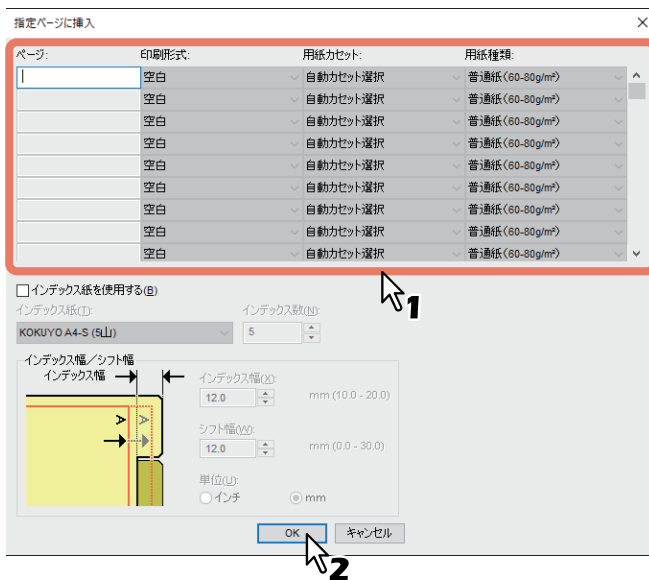
注意

挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

- 1 [挿入] タブを表示します。
- 2 [指定ページに挿入] を選択し、[編集] をクリックします。



- 3 [ページ] ボックスにページを挿入するページ番号を入力し、挿入ページに適用する [印刷形式] [用紙カセット] [用紙種類] をそれぞれ選択して、[OK] をクリックします。

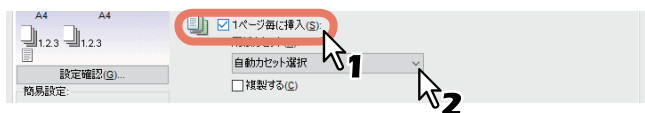


- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1ページごとに用紙を挿入する

印刷ジョブの各ページの間それぞれ用紙を挿入する機能です。たとえば、OHPフィルムの中に空白シートや色紙などを挿入するときなどに便利です。

- 1 **【挿入】 タブを表示します。**
- 2 **【1ページ毎に挿入】 を選択し、【用紙カセット】 から、挿入シートに使用する用紙の給紙元を選択します。**



注意

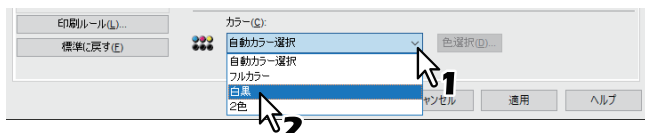
- 【用紙カセット】 で 【自動カセット選択】 を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
 - 厚紙を挿入する場合は、【手差しトレイ】 を選択し、プリンタードライバーの【デバイス設定】 タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に【厚紙】 を設定します。
- 3 **各挿入シートに印刷文書の前ページを印刷する場合は、【複製する】 を選択します。**
挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。
 - 4 **ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。**
 - 5 **【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

■ 印刷色を指定する

□ カラー文書を白黒で印刷する

本機は、カラー印刷同様、白黒印刷を行うこともできます。プリンタードライバーは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒で印刷します。印刷費やカラートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [カラー] で [白黒] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

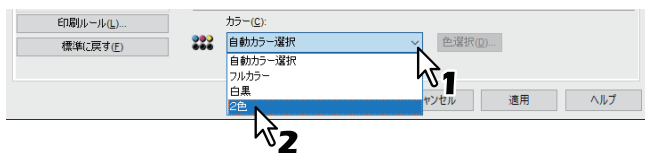
□ カラー文書を2色で印刷する

本機は、カラー文書を2色印刷することもできます。2色印刷を行うと、文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

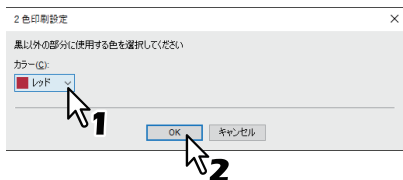
注意

2色印刷の解像度は、[600 dpi] で印刷されます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [カラー] で [2色] を選択します。



- 3 [色選択] をクリックします。
- 4 黒以外の部分に使用する色を選択し、[OK] をクリックします。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

文字を黒で印刷する

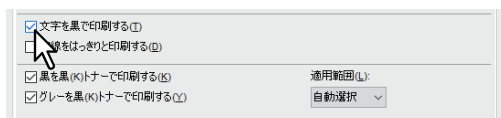
白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。

注意

この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー複合機の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [文字を黒で印刷する] を選択します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

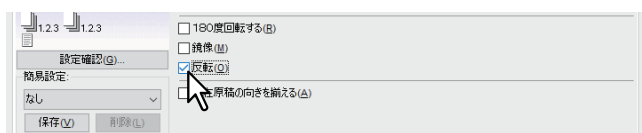
白黒反転させて印刷する

白黒反転させて印刷します。

注意

- この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いの場合のみ有効です。
 - Universal Printer 2 (PostScript)
 - Universal PS3
- [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択した場合のみ有効です。

- 1 [効果] タブを選択します。
- 2 [反転] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 原稿に合わせて画質を選択する

□ 原稿種類を選択する

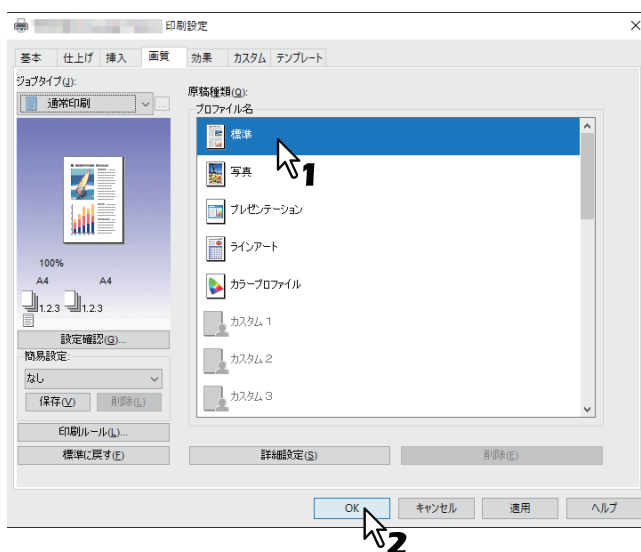
原稿種類に応じて適切な画質を適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、[詳細設定] をクリックして行います。

📖 P.48 「原稿種類を作成する」

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [原稿種類] で、あらかじめ登録されている原稿種類または作成したカスタム原稿種類を選択し、[OK] をクリックします。



標準：通常のカラー文書用の設定です。

写真：写真用の設定です。

プレゼンテーション：プレゼンテーション用の設定です。

ラインアート：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。

カラープロファイル：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。

注意

[基本] タブの [カラー] で [白黒] または [2色] を選択した場合は、[標準] の設定となります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

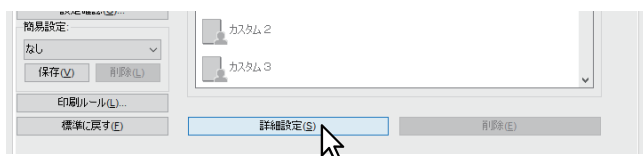
□ 原稿種類を作成する

カスタム原稿種類を作成します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。



- 3 [基本] タブで、[現在の設定を保存する] を選択します。



注意

この機能は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ有効です。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定できません。

- 4 [設定名] に、保存するカスタム原稿種類の名前を入力します。

補足

あらかじめ登録されている原稿種類の設定名（[標準] [写真] [プレゼンテーション] [ラインアート] [カラープロファイル]）を入力しても、あらかじめ登録されている原稿種類の設定は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。

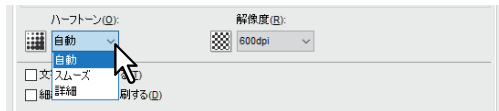
- 5 画質に関する機能を設定します。
設定項目の詳細は、プリンタードライバーヘルプを参照してください。
P.141 「プリンタードライバーヘルプについて」
- 6 [OK] をクリックし、カスタム原稿種類を保存します。

■ 画質を調整したいときは

薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー複合機の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [ハーフトーン] でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



自動：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
詳細：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
スムーズ：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスをなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロ複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [スムージング] を選択します。

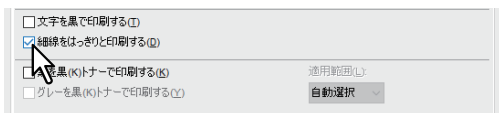


- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー複合機の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [細線をはっきりと印刷する] を選択します。



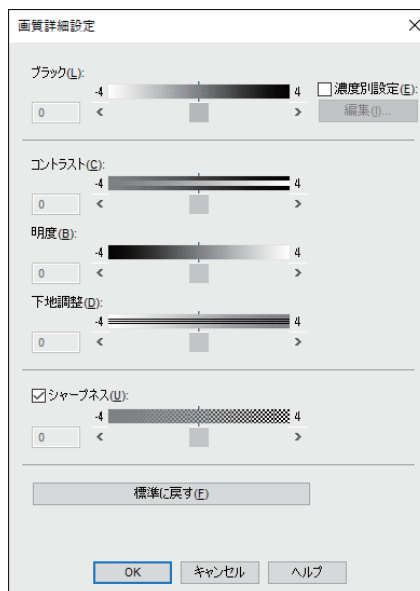
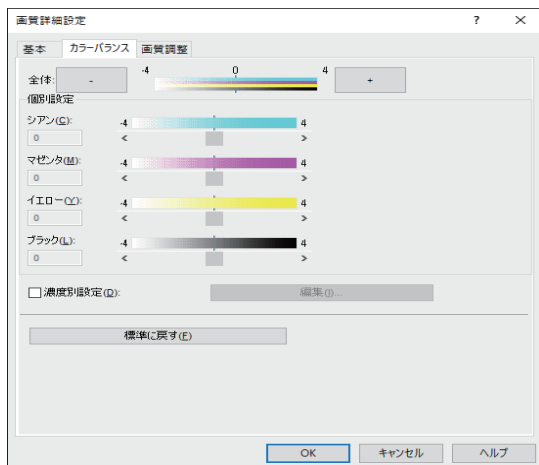
- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

濃度やカラーバランスを調整する

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。
- 3 [カラーバランス] タブ、[画質調整] タブで画質の詳細を設定します。



設定方法は、以下の参照先をご覧ください。

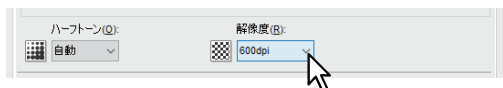
📖 P.109 「[画質] タブ」

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー複合機の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [解像度] で数値を指定します。



600dpi：600 × 600 dpiの解像度で印刷します。

1200dpi：1200 × 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- [1200dpi] は、Universal Printer 2 (PostScript) またはUniversal PS3プリンタードライバーに設定している場合のみ有効となります。
☞ P.137 「カスタマイズ設定：[プリンター言語設定] タブ」
- [画質] タブの [原稿種類] で [写真] または [プレゼンテーション] を選択した場合、[1200dpi] は表示されません。
- [1200dpi] で印刷する場合、[オートトラッピング] 機能は使用できません。
- [1200dpi] を選択した場合、印刷速度が遅くなる場合があります。
- [オートカセットチェンジ] は、お使いの機種およびオプション構成により異なります。
 - 封筒または非定形サイズの内紙をセットしたカセットで [オートカセットチェンジ] を利用する場合は、解像度を [1200 dpi] に設定してください。
 カセットに用紙の長い辺を手前側に向けてセットします。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - カセットに用紙をセットする - 封筒カセット
用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - カセットに用紙をセットする
 - 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの [異方向用紙の許可] は使用できません。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。
設定/登録 - 設定項目 (管理者設定) - プリンター/ファイリングボックス

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷内容を付加する機能

印刷目的に合わせてさまざまな仕上げ機能を設定できます。ここでは、[効果] タブで設定できる下記機能について説明します。

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

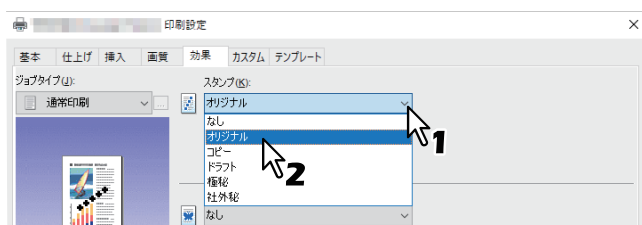
スタンプは、「オリジナル」、「コピー」、「ドラフト」、「日付と時刻」、「極秘」、「社外秘」などの文字列を印刷する文書を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによっては、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記6つのスタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

補足

スタンプはテキストだけです。グラフィックスなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用してください。

□ スタンプを印刷する

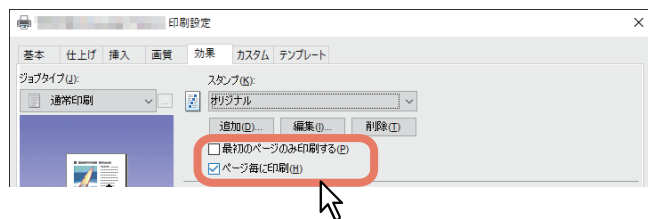
- 1 [効果] タブを表示します。
- 2 [スタンプ] で印刷するスタンプを選択します。



注意

スタンプは新たに作成することができます。
📖 P.53 「スタンプを作成する／編集する」

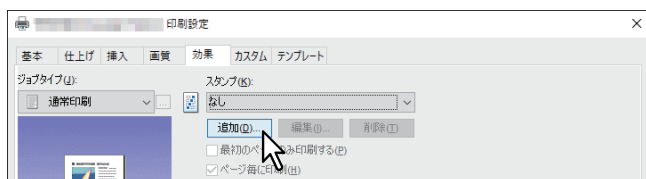
- 3 選択したスタンプを最初のページにのみ印刷する場合は、[最初のページのみ印刷する] を選択します。選択したスタンプをページごとに印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ スタンプを作成する／編集する

- 1 [効果] タブで [追加] をクリックします。既存のスタンプを編集する場合は、目的のスタンプを選択し、[編集] をクリックします。



- 2 「スタンプ」ダイアログボックスで詳細を設定します。



スタンプ名：新規作成または編集するスタンプの名前を入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。

文字：スタンプの種類を選択します。

- テキスト：任意のテキストをスタンプにする場合に選択して、スタンプテキストを入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。
- 日付と時刻：印刷開始時の日時をスタンプにする場合に選択します。
- 動的スタンプ：日付と日時の表示形式を変更する場合に選択します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.121 「スタンプ」

注意

文字数が多いとスタンプが正しく印刷できない場合があります。

位置：アイコンを選択して位置を指定します。

フォント名：フォントを選択します。

スタイル：スタイルを選択します。

フォントサイズ：フォントサイズを入力します。6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。

色：色を選択します。希望する色がない場合は、[その他] をクリックして新たな色を追加します。

注意

- この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。
- [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択している場合は、[色] は無効です。

角度：回転角度を入力します。-90～90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

印刷形式：スタンプテキストの印刷方法を選択します。

- 標準：指定した色で塗りつぶして印刷します。
- 中抜け：中抜きのフォントスタイルで印刷します。
- 透過：文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

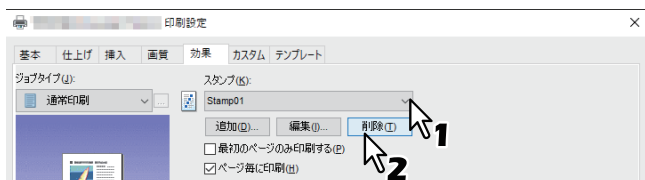
- 3 [OK] をクリックし、設定を保存します。

□ スタンプを削除する

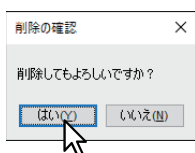
注意

標準で登録されているスタンプも削除することができます。ただし、削除した場合、[標準に戻す] をクリックしても元に戻すことはできません。

1 [スタンプ] で、削除するスタンプを選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



スタンプが削除されます。

■ 別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）

オーバーレイファイルは、印刷する文書にグラフィックスを重ねた状態で用紙に印刷する機能です。

□ オーバーレイファイルを保存する

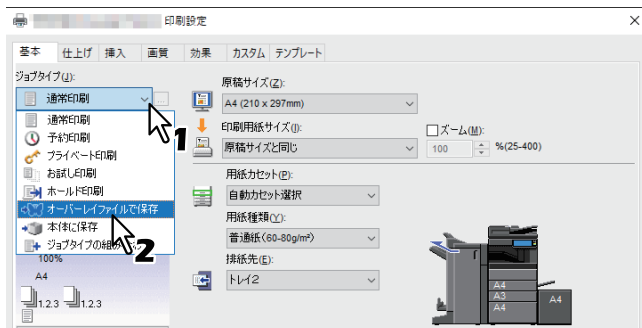
文書をオーバーレイファイルとして最大20個まで保存できます。作成したオーバーレイファイルは、ほかの印刷文書の背面または前面に印刷することができます。

注意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

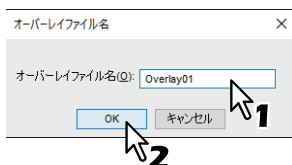
1 【基本】タブを選択します。

2 【ジョブタイプ】で【オーバーレイファイルで保存】を選択します。



3 【ジョブタイプ】の右側の [...] をクリックします。

4 オーバーレイファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。



半角・全角63文字まで入力できます。

5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

6 【プリント】（または【印刷】、【OK】など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

□ オーバーレイファイルを使用する

テキスト、グラフィックス、チャート、表などによっては、構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。スタンプ印刷より時間がかかる場合がありますが、グラフィックスを使用して詳細な表現ができます。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

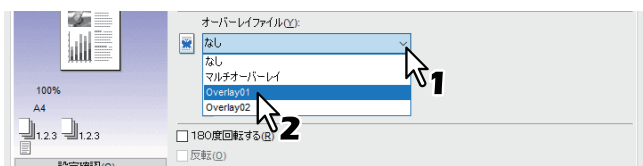
📖 P.55 「オーバーレイファイルを保存する」

注意

- ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

1 [効果] タブを表示します。

2 [オーバーレイファイル] から使用するオーバーレイファイル名を選択します。

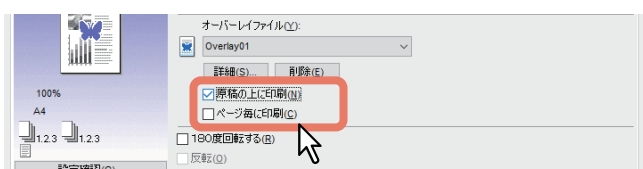


注意

奇数ページと偶数ページに異なるオーバーレイファイルを使用したり、指定したページ範囲にのみオーバーレイファイルを使用したい場合は、[マルチオーバーレイ] を選択して設定します。

📖 P.57 「マルチオーバーレイ」

3 選択したオーバーレイファイルを印刷文書に重ねて印刷する場合は、[原稿の上に印刷] を選択します。選択したオーバーレイファイルをページごとに印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。

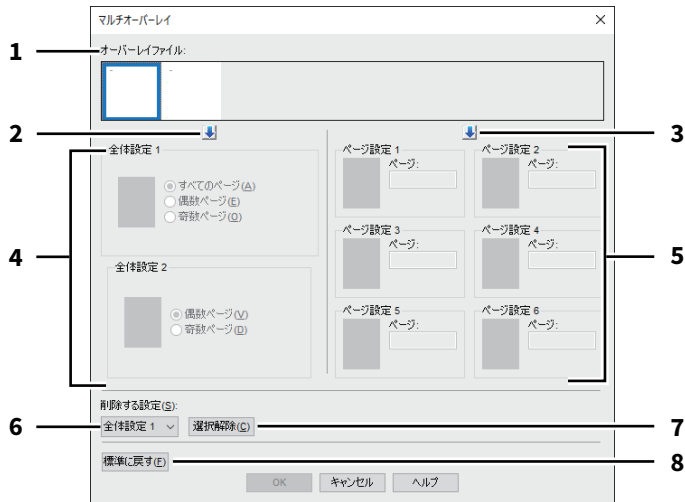


4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

マルチオーバーレイ

[オーバーレイファイル] で [マルチオーバーレイ] を選択するか、任意のオーバーレイを選択しているときに [詳細] をクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。



1. オーバーレイファイル

登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。

補足

オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1～6）にドラッグアンドドロップして設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。

2. [↓] (全体設定)

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[全体設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[全体設定 1] → [全体設定 2] の順に設定します。

3. [↓] (ページ設定)

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[ページ設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[ページ設定 1] → [ページ設定 2] ・ ・ ・ → [ページ設定 6] の順に設定します。

4. 全体設定 1/2

選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。

- **すべてのページ**：オーバーレイファイルを、全ページに使用します。
- **偶数ページ**：オーバーレイファイルを、偶数ページに使用します。
- **奇数ページ**：オーバーレイファイルを、奇数ページに使用します。

注意

- 複数の全体設定を使用し、指定ページが重複した場合、[すべてのページ] の設定よりも、[偶数ページ] / [奇数ページ] の設定が優先されます。
- [全体設定] と [ページ設定] で設定内容が重複した場合、[ページ設定] の設定が優先されます。

5. ページ設定 1/2/3/4/5/6

オーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初と最後のページを「-」でつなぎます。

- **ページ**：オーバーレイファイルを、指定したページに使用します。

注意

複数のページ設定を使用し、指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。

6. 削除する設定

削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。

7. 【選択解除】

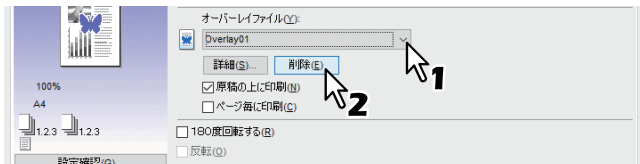
【削除する設定】で選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。

8. 【標準に戻す】

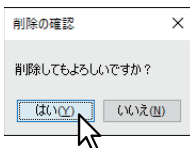
「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスの設定を初期設定に戻します。

□ オーバーレイファイルを削除する

1 【オーバーレイファイル】で、削除するオーバーレイファイルを選択し、【削除】をクリックします。



2 【はい】をクリックします。



オーバーレイファイルが削除されます。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[お試し印刷]、[ホールド印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存]、[ジョブタイプの組み合わせ] があります。

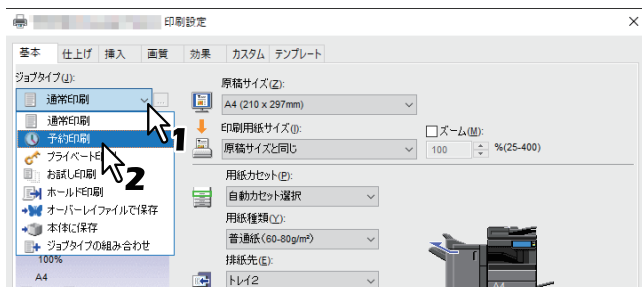
■ 指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）

ジョブを印刷する日付と時間を指定することができます。混雑時を避けて後で印刷を行う場合に便利です。

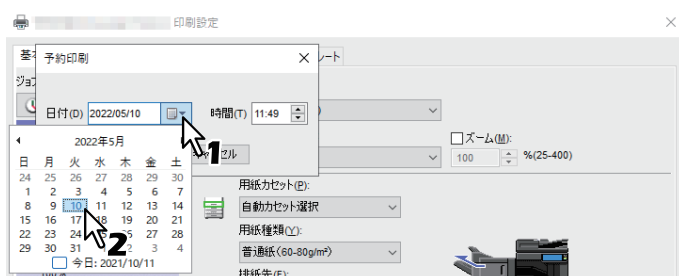
注意

予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピューターの日時を合わせておいてください。

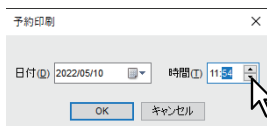
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [予約印刷] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [日付] をクリックし、カレンダー画面を表示させます。カレンダーから印刷を行う日付を指定します。



- 5 [時間] を選択し、[▲] または [▼] をクリックし、印刷を行う時間を指定します。



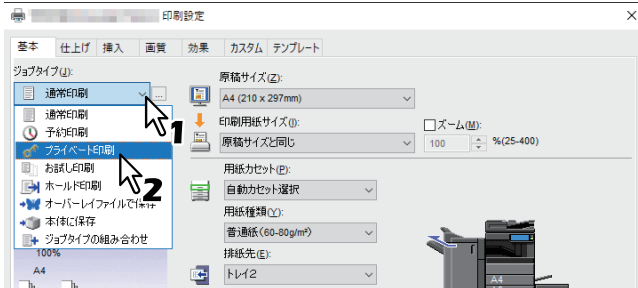
時を変更するには、時の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。分を変更するには、分の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 8 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブがジョブキューに保存され、指定した日時に印刷が実行されます。

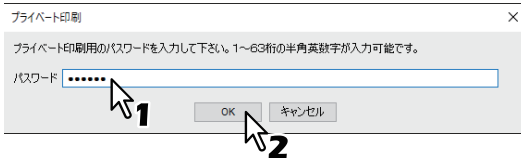
■ 機密文書を印刷する（プライベート印刷）

印刷ジョブにパスワードを設定し、タッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。ほかの人に見られたくない機密文書などを印刷するときに使用します。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【ジョブタイプ】 で【プライベート印刷】を選択します。



- 3 【ジョブタイプ】の右側の [...] をクリックします。
- 4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。

注意

- 1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0×21～0×7EまでのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 【プリント】（または【印刷】、【OK】など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブがタッチパネルのプライベートジョブ一覧に保存されます。
- 7 タッチパネルのホーム画面で【プリント】を押します。
- 8 タッチパネルでジョブタイプから【プライベート印刷】を選択します。

補足

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されていない場合は、ジョブタイプで【プライベート印刷】を選択します。

- 9 目的のユーザー名を選択し、[OK] を押します。

補足

【カスタム】タブの【表示ユーザー名】に任意のユーザー名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザー名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、初期値のログインユーザー名が表示されます。

10 プライベート印刷のパスワードを入力し、[OK] を押します。



- [表示ユーザー名] に初期値のログインユーザー名を使用した場合：
同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- [表示ユーザー名] に任意のユーザー名を入力した場合：
同じユーザー名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

11 プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したい文書名を選択します。

注意

- サムネイル、プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。

補足

-  を押すとプライベート印刷するジョブをリストで表示します。
-  を押すとプライベート印刷するジョブの先頭ページをサムネイル画像で表示します。
- サムネイル一覧表示中およびリスト表示中のジョブを1つだけ選択している場合に、[プレビュー] が有効になります。[プレビュー] を押すとプレビュー画像（最大1000ページ）で一覧表示します。ページを選択すると、そのページの拡大・縮小やページを回転させて表示することができます。
- 2色印刷を行う場合は、サムネイルおよびプレビューを2色で表示することができます。

12 [印刷] を押します。

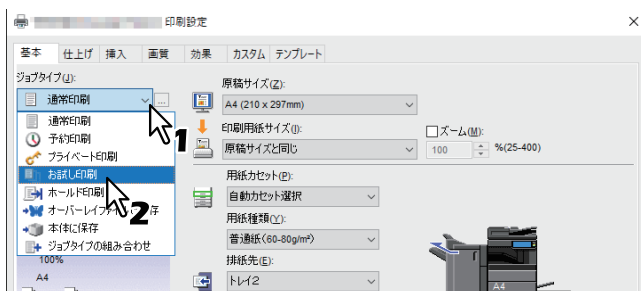
■ 1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）

お試し印刷は、確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。出力結果を確認したうえで、ジョブをそのまま印刷するか削除するかを選択します。

注意

複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [お試し印刷] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
サンプルが1部印刷され、印刷ジョブ（残り部数）は本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから [お試し印刷] を選択します。
- 7 お試し印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択します。
プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したい文書名を選択します。

注意

- サムネイル、プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。

補足

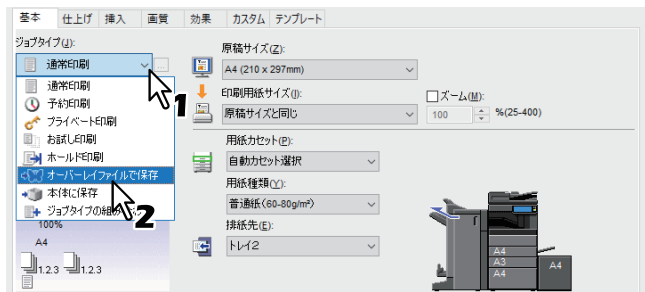
- ☰を押すとお試し印刷するジョブをリストで表示します。
- 🖨️を押すとお試し印刷するジョブの先頭ページをサムネイル画像で表示します。
- サムネイル一覧表示中およびリスト表示中のジョブを1つだけ選択している場合に、[プレビュー] が有効になります。[プレビュー] を押すとプレビュー画像（最大1000ページ）で一覧表示します。ページを選択すると、そのページの拡大・縮小やページを回転させて表示することができます。
- 2色印刷を行う場合は、サムネイルおよびプレビューを2色で表示することができます。

- 8 [印刷] を押します。

■ 保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）

本機のタッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [ホールド印刷] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから [ホールド印刷] を選択します。
- 7 目的のユーザー名を選択し、[OK] を押します。

補足

[カスタム] タブの [表示ユーザー名] に任意のユーザー名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザー名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、コンピューターのログインユーザー名が表示されます。

- 8 ホールド印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択します。

注意

- サムネイル、プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。

補足

- [表示ユーザーコンピューター名] に初期値のログインユーザー名を使用した場合：
選択したユーザーコンピューターが登録したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
- [表示ユーザーコンピューター名] に任意のユーザーコンピューター名を入力した場合：
同じユーザーコンピューター名を使って登録したホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。
- [メニュー] を押すとホールド印刷するジョブをリストで表示します。
- [サムネイル] を押すとホールド印刷するジョブの先頭ページをサムネイル画像で表示します。
- サムネイル一覧表示中およびリスト表示中のジョブを1つだけ選択している場合に、[プレビュー] が有効になります。[プレビュー] を押すとプレビュー画像（最大1000ページ）で一覧表示します。
ページを選択すると、そのページの拡大・縮小やページを回転させて表示することができます。
- 2色印刷を行う場合は、サムネイルおよびプレビューを2色で表示することができます。

- 9 [印刷] を押します。

■ 別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）

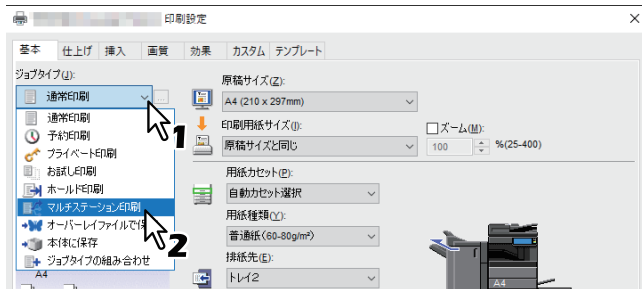
本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

注意

[マルチステーション印刷] 機能を使用するには、マルチステーション印刷オプションが必要です。マルチステーション印刷の設定については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリントサービス設定 - マルチステーション印刷の設定

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [マルチステーション印刷] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
マルチステーション印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 6 タッチパネルで [ジョブタイプ] から [マルチステーション印刷] を選択します。
連携した複合機がグループ分けされている場合は、タッチパネルで [グループ] から複合機が連携しているグループ名を選択します。
- 7 ジョブ一覧画面から印刷したいジョブを選択します。
[印刷設定] を押すと、印刷設定を変更できます。
[再印刷リスト] を押すと、再印刷可能なジョブが表示されます。
[更新] を押すと、本機に送信されてきている印刷ジョブの一覧表示が更新されます。

注意

- サムネイル、プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- 通信先の複合機に電源が入っていない場合や、通信先の複合機から印刷データが送信されなかった場合は、通信に失敗して進捗画面にエラーメッセージが表示されます。[キャンセル] を押すとプレビュー作成処理を中止してジョブリスト一覧画面に戻ります。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。

補足

- ☰ を押すとマルチステーション印刷するジョブをリストで表示します。
- 🖨️ を押すとマルチステーション印刷するジョブの先頭ページをサムネイル画像で表示します。
- サムネイル一覧表示中およびリスト表示中のジョブを1つだけ選択している場合に、[プレビュー] が有効になります。[プレビュー] を押すとプレビュー画像（最大1000ページ）で一覧表示します。
ページを選択すると、そのページの拡大・縮小やページを回転させて表示することができます。
- マルチステーション印刷で送信された2色印刷のファイルは、サムネイルおよびプレビューをカラーで表示します。（2色で表示することができません。）

- 8 [印刷] を押します。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

この機能は、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機の内蔵ストレージへ送信し、保存する機能です。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力したり、ファイリングボックスWebユーティリティを使って、ほかの文書と合成することもできます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザーコンピューターボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダーを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザーでもこれにアクセスすることができます。ユーザーコンピューターボックスは、ユーザーコンピューターが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注意

- 原稿サイズや印刷用紙サイズに以下の用紙サイズを選択した場合、[本体に保存] は使用できません。また、文書の一部にこれらのサイズの用紙が含まれている場合も、印刷ジョブはファイリングボックスに保管されません。
 - カスタム用紙
 - 手差しトレイ不定サイズ用紙
 - インデックス紙
 - 封筒 Com10 (4 1/8 × 9 1/2")
 - 封筒 Monarch (3 7/8 × 7 1/2")
 - 封筒 長形6号 (110 × 220 mm)
 - 封筒 長形3号 (120 × 235 mm)
 - 封筒 洋形4号 (105 × 235 mm)
 - 封筒 角形2号 (240 × 332 mm)
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピューターに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ファイリングボックスに保管された文書は、画像として保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。
- [本体に保存] が選択されている場合、解像度は [600 dpi] になります。

補足

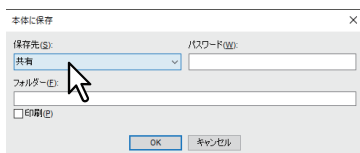
- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - 本機から操作する
- 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - クライアントコンピューターから操作する

□ 共有ボックスに保存する

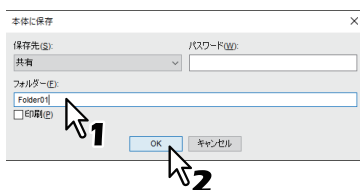
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で [共有] を選択します。



- 5 共有ボックス内のフォルダーを指定する場合は、[フォルダー] にフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。



注意

- 入力したフォルダー名が存在しない場合、新規のフォルダーとしてボックス内に作成されます。
- フォルダー名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダー数の上限は100です。

- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブが保存されます。

□ ユーザーボックスに保存する

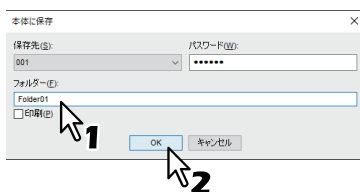
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で保存先のユーザーボックスを選択し、必要に応じて [パスワード] にユーザーボックスのパスワード（最大20桁）を入力します。



- 5 ユーザーボックス内のフォルダーを指定する場合は、[フォルダー] にフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。



注意

- 入力したフォルダー名が存在しない場合は、新規のフォルダーとしてボックス内に作成されます。
- フォルダー名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダー数の上限は100です。

- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブが保存されます。

■ 条件を組み合わせて印刷する

□ ジョブタイプの組み合わせ

この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し+プライベート印刷」、「お試し+ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせて印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。選択した場合は、[ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

注意

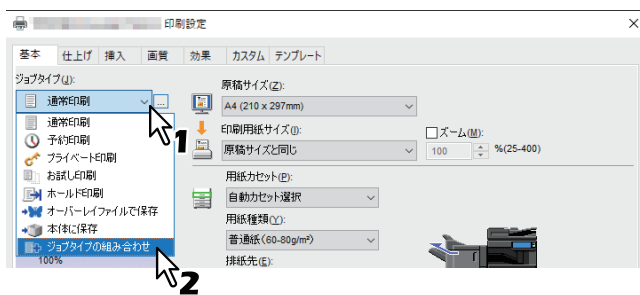
- ・ 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピューターの日時を合わせておいてください。
- ・ 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- ・ 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピューターに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ・ ファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

- ・ 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - 本機から操作する
- ・ 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - クライアントコンピューターから操作する

ジョブタイプの組み合わせで印刷する

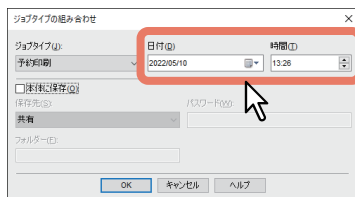
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [ジョブタイプの組み合わせ] を選択します。



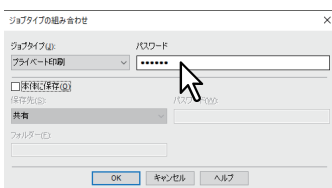
- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。

4 [ジョブタイプ] で、ジョブタイプを選択します。 選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。

- [予約印刷] を選択した場合は、[日付] と [時間] を設定します。



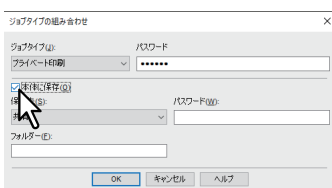
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、パスワードを入力します。



注意

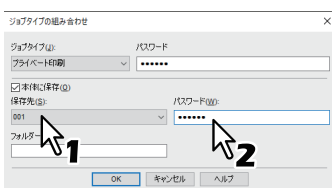
- 1~63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号 (0×21 ~ 0×7EまでのASCIIコードの文字) を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

5 印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、[本体に保存] を選択します。

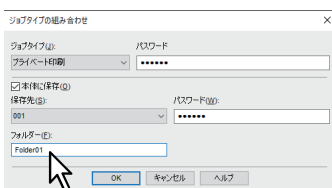


6 [保存先] で、保存先を選択します。

ユーザーボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。



7 選択したボックス内のフォルダーを指定する場合は、[フォルダー] にフォルダー名を入力します。



注意

- 入力したフォルダー名が存在しない場合、新規のフォルダーとしてボックス内に作成されます。
- フォルダー名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダー数の上限は100です。

8 [OK] をクリックします。

9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- [予約印刷] を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.60 「機密文書を印刷する (プライベート印刷)」
- [ホールド印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.63 「保留状態で印刷ジョブを送る (ホールド印刷)」
- [お試し印刷] [お試し+プライベート印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.62 「1部を確認してから残りを印刷する (お試し印刷)」
- [本体に保存] を選択した場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。

複数の複合機がある場合に利用できる機能

ネットワーク上に複数のe-STUDIO Seriesの機体が存在している場合、「出力先デバイス」ダイアログボックスで、出力先や部数を指定することができます。

注意

- ・ [選択したデバイス] でプリンターを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンターを選択してください。
 - ホチキス印刷を行う場合は、ホチキス機能が搭載されたプリンターを選択してください。
 - パンチ印刷を行う場合は、パンチ機能が搭載されたプリンターを選択してください。
 - 大容量給紙装置から印刷を行う場合は、大容量給紙装置が装着されたプリンターを選択してください。
 - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンターを選択してください。
- ・ 選択したプリンターが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われない場合があります。
- ・ 印刷時、選択したプリンターに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード] に設定した部門コードが選択したプリンターで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

補足

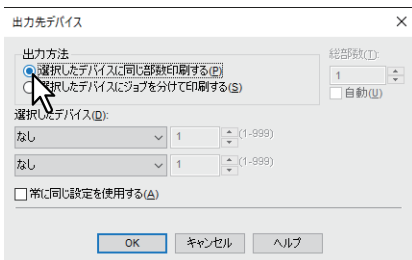
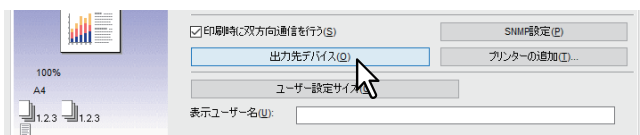
- ・ [常に同じ設定を使用する] を選択すると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」の設定を省略することができます。
- ・ [選択したデバイス] で選択できるプリンターは、プリンターフォルダーに登録されたプリンターの中から選択する必要があります。[カスタム] タブにある [プリンターの追加] を使うと、プリンターを追加することができます。

印刷に使用する機体を変更する

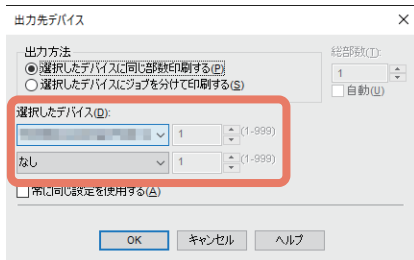
ネットワーク上に複数のe-STUDIO Seriesの機体が存在している場合、印刷に使用する機体を変更することができます。

たとえば、印刷に使おうとした機体が大量のジョブで使用中になってしまった場合、空いている別のe-STUDIO Seriesの機体に印刷ジョブを送信してすぐに印刷することができます。

- 1 [カスタム] タブを表示します。
- 2 [出力先デバイス] をクリックします。
- 3 [選択したデバイスに同じ部数印刷する] を選択します。



4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンターを選択します。



[選択したデバイス] で、複数のプリンターを選択することもできます。この場合、選択したすべてのプリンターにおいて、同じ部数で印刷が行われます。

5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。

6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

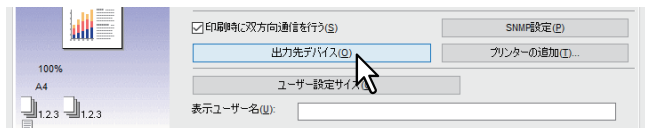
7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する (タンデム印刷)

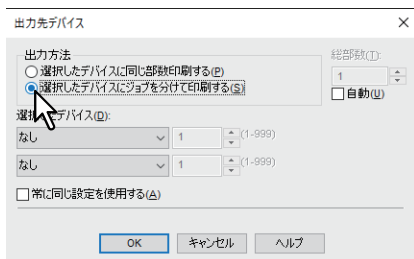
この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。

1 [カスタム] タブを表示します。

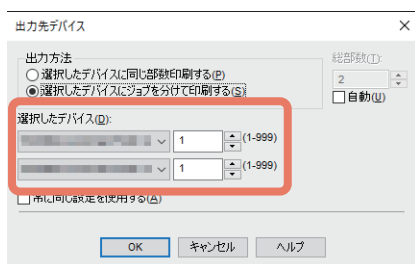
2 [出力先デバイス] をクリックします。



3 [選択したデバイスにジョブを分けて印刷する] を選択します。



- 4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンターを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。



注意

[自動] を選択すると、[総部数] に設定した印刷部数が、選択したプリンターで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。

- 5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

■ 印刷機能の初期値を変える

Windowsのスタートメニューからプリンターフォルダーを表示し、プリンタープロパティのダイアログボックスで設定した印刷機能は、プリンタードライバーの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザー情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で設定します。

- 1 [スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。プリンターフォルダーが表示されます。
- 2 本機プリンタードライバーを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。

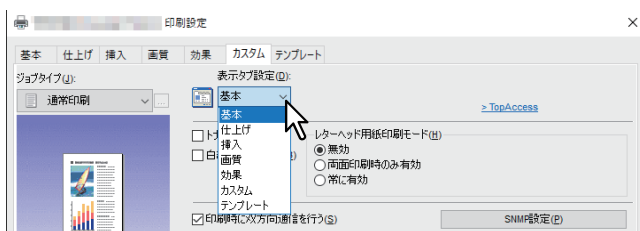


- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- ネットワークからインストールしたドライバーを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 3 表示された画面で、よく使う用紙サイズや本機のオプション構成、ユーザー情報などを設定します。

補足

[カスタム] タブの [表示タブ設定] で、プリンタードライバーを開いたときに、最初に表示されるタブを設定できます。よく使う機能のタブを設定しておく便利です。



■ よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）

簡易設定では、印刷機能の設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

簡易設定を使用するには、まず簡易設定ファイルを保存する必要があります。

📖 P.75 「簡易設定を保存する」

簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。

📖 P.76 「簡易設定を適用する」

簡易設定は必要がなくなったら削除できます。

📖 P.76 「簡易設定を削除する」

補足

初期設定で5個の簡易設定が登録されています。

- 会議資料印刷（白黒）
- 製本印刷（自動判別）
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

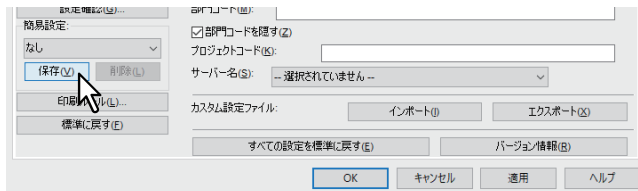
□ 簡易設定を保存する

プリンタードライバの簡易設定は、あらかじめ登録されている5個を含め最大20個まで作成できます。

補足

あらかじめ登録されている簡易設定は同じ名前の上書き保存、または削除することができます。

- 1 各タブで、印刷目的に合わせ印刷機能を設定します。
- 2 簡易設定の【保存】をクリックします。



- 3 簡易設定名を入力し、【OK】をクリックします。



ファイル名は、半角・全角63文字以内で入力します。

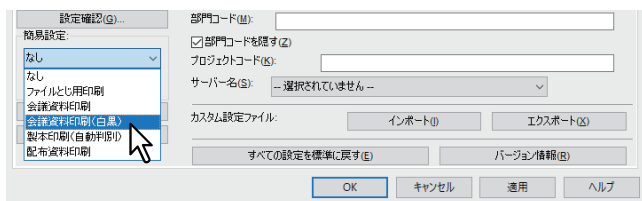
補足

- 簡易設定名がすでに使われている場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、【OK】をクリックします。
- 20個を超えて簡易設定を保存した場合には、設定内容が【一時保存】として保存されます。【一時保存】に簡易設定名を作成するには、不要な簡易設定を1つ削除し、【一時保存】を選択して【保存】をクリックします。
- 簡易設定名に【なし】を設定することはできません。

- 4 簡易設定が保存されます。

□ 簡易設定を適用する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択します。



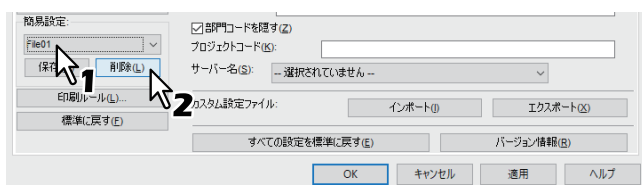
選択した簡易設定ファイルの設定が、自動的に反映されます。

注意

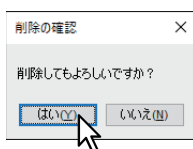
[簡易設定] から [なし] を選択しても、初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、各タブの [標準に戻す] をクリックします。[デバイス設定] タブを除くすべてのタブを初期設定に戻す場合は、[カスタム] タブの [すべての設定を標準に戻す] をクリックします。

□ 簡易設定を削除する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



■ 簡易設定をテンプレートに割り当てる

簡易設定をテンプレートボタンに割り当てておくと、印刷時に「テンプレート」ダイアログボックスを自動的に表示できます。テンプレートボタンを選択するだけで、ボタンに割り当てられた簡易設定を反映させることができます。

補足

- 初期設定で5個の簡易設定がテンプレートボタンに登録されています。
 - 会議資料印刷（白黒）
 - 製本印刷（自動判別）
 - 配布資料印刷
 - 会議資料印刷
 - ファイルとじ用印刷
- あらかじめ登録されているテンプレートボタンは削除することができます。

テンプレートボタンを使用するには、まず簡易設定をテンプレートボタンに割り当てる必要があります。また、印刷の実行時に、テンプレートボタンの選択画面が表示されるように設定します。

📖 P.77 「テンプレートボタンに割り当てる」

テンプレートボタンを選択して、割り当てられている簡易設定を適用することができます。

📖 P.78 「テンプレートボタンで設定して印刷する」

テンプレートボタンは削除できます。

📖 P.79 「テンプレートボタンの割り当てを削除する」

□ テンプレートボタンに割り当てる

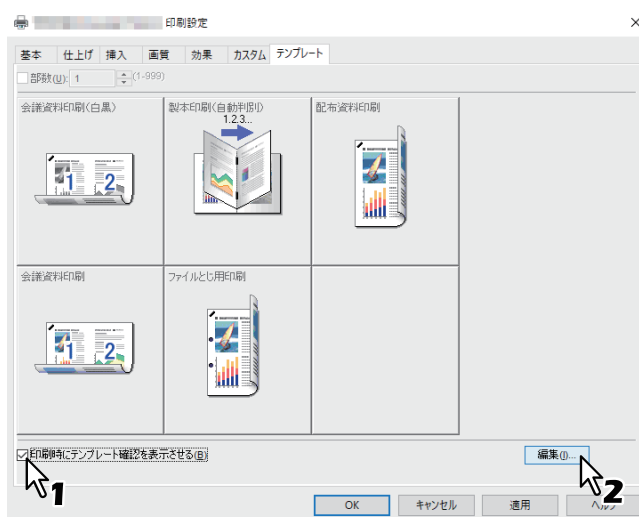
テンプレートボタンは、あらかじめ登録されている5個を含め最大6個まで作成できます。

1 登録したい印刷設定を簡易設定として保存します。

📖 P.75 「簡易設定を保存する」

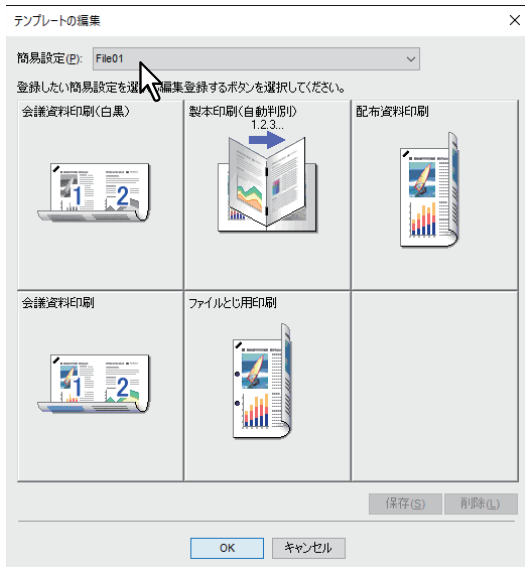
2 [テンプレート] タブを選択します。

3 [印刷時にテンプレート確認を表示させる] を選択し、[編集] をクリックします。



印刷の実行時にテンプレートダイアログボックスが表示されるようになります。

4 [簡易設定] で、割り当てる簡易設定を選択します。



5 割り当てをするテンプレートボタンを選択します。

補足

すでに登録されているテンプレートボタンを選択した場合は、設定内容が上書きされます。

6 [保存] をクリックし、[OK] をクリックします。

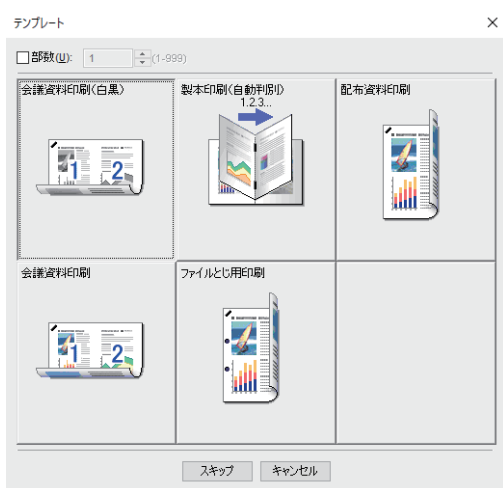
選択した簡易設定が、選択したテンプレートボタンに割り当てられます。

7 [テンプレート] タブの [OK] をクリックします。

割り当てた内容が登録されます。

テンプレートボタンで設定して印刷する

1 印刷を実行すると、自動的に「テンプレート」ダイアログボックスが表示されます。



2 適用するテンプレートボタンを選択します。

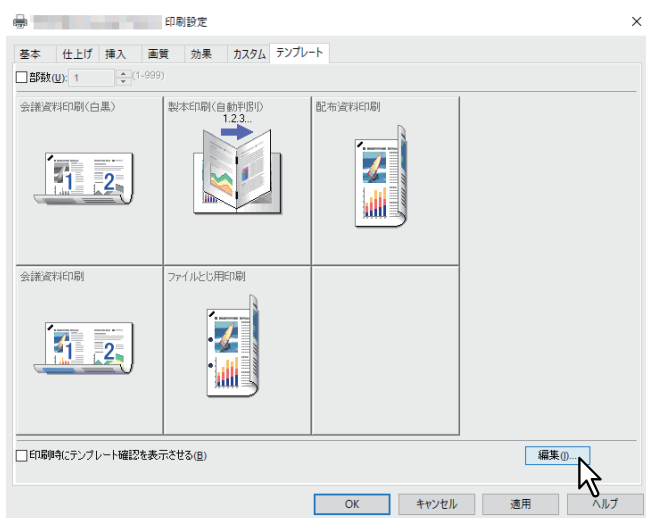
選択した簡易設定で、印刷が行われます。

補足

- [部数] を選択すると、印刷部数を設定できます。
- [スキップ] をクリックすると、簡易設定を適用せずに印刷することができます。

□ テンプレートボタンの割り当てを削除する

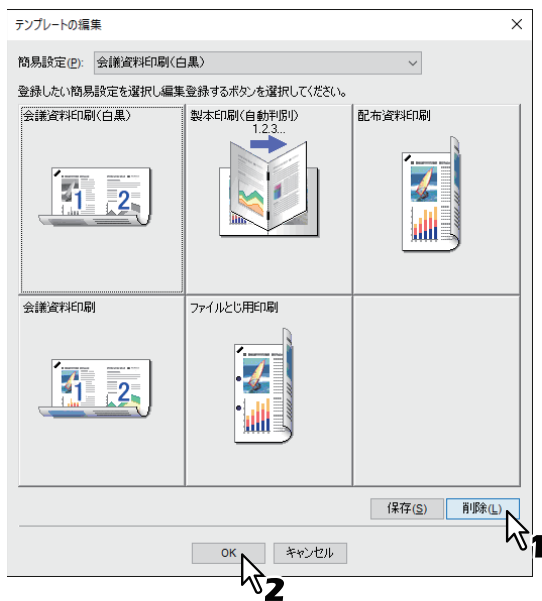
- 1 [テンプレート] タブを選択します。
- 2 [編集] をクリックします。



- 3 割り当てを削除するテンプレートボタンを選択します。



4 [削除] をクリックし、[はい] をクリックして [OK] をクリックします。



選択したテンプレートボタンから簡易設定の割り当てが削除され、未設定の状態になります。

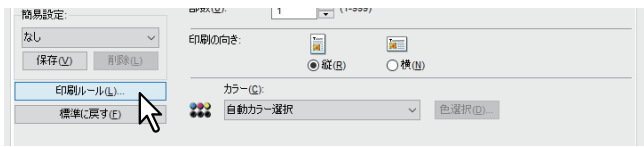
■ 簡易設定をアプリケーションに割り当てる

簡易設定を各アプリケーションに割り当てておくことができます。

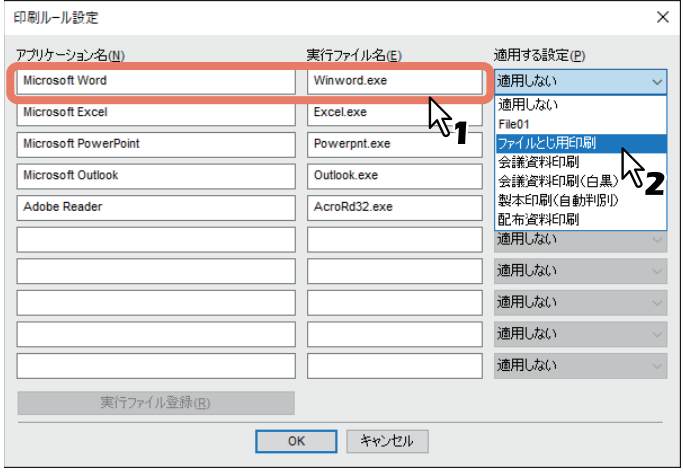
補足

- 初期設定で5個のアプリケーションが登録されています。
 - Microsoft Word
 - Microsoft Excel
 - Microsoft PowerPoint
 - Microsoft Outlook
 - Adobe Reader
- 初期設定で5個の簡易設定が適用する設定に登録されています。
 - 会議資料印刷（白黒）
 - 製本印刷（自動判別）
 - 配布資料印刷
 - 会議資料印刷
 - ファイルとじ用印刷
- 簡易設定の保存・削除については、以下の参照先をご覧ください。
 〓 P.75 「よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）」

1 [印刷ルール] をクリックします



2 アプリケーション名、実行ファイル名を入力し、割り当てる簡易設定を選択します。



補足

[実行ファイル登録] をクリックすると、アプリケーション名の実行ファイル名が正しいか判定します。
 [OK] をクリックするとダイアログに表示されているプリンタードライバーが検索した実行ファイル名に置き換わります。

3 [OK] をクリックします。

オプション機器やユーザー認証の設定

■ プリンターのオプション機器を設定する

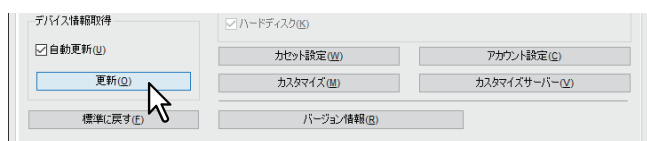
初期設定ではプリンタードライバーのインストール時に、自動でオプション構成情報を取得します。本機とお使いのコンピューターが双方向通信できない場合は、オプション構成をプリンタードライバーに手動で設定する必要があります。

補足

[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定できません。

□ オプション機器を自動で更新する

本機と双方向通信できる場合は、[デバイス設定] タブで [更新] をクリックすると本機のオプション構成情報を取得できます。[自動更新] を選択すると、プリンタードライバーの [デバイス設定] タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。



□ オプション機器を手動で設定する

本機とお使いのコンピューターが双方向通信できない場合の手順です。

注意

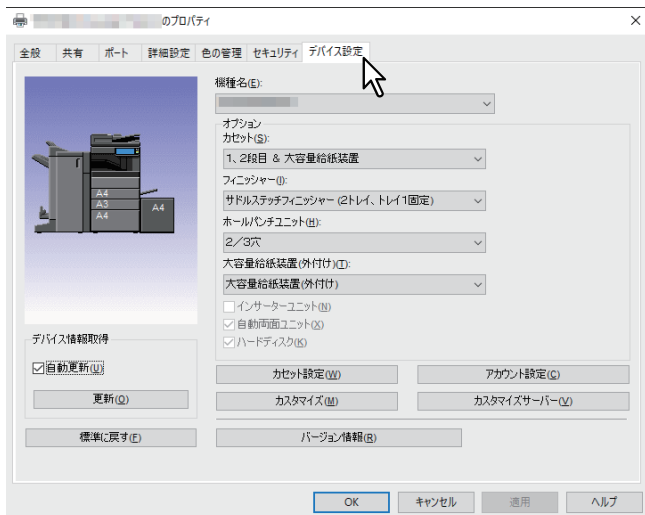
Administrators（管理者）でログインする必要があります。

- 1 [スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。プリンターフォルダーが表示されます。
- 2 本機プリンタードライバーを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。



- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- ネットワークからインストールしたドライバーを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 [デバイス設定] タブを選択し、以下のオプションを設定します。



機種名：機種名を選択します。選択した機種名に合わせて、設定項目が切り替わります。

注意

- [共通] を選択すると、プリンタードライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数の e-STUDIO Series に共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタードライバを、e-STUDIO Series などの他機種でも利用したい場合などに便利です。
- Universal Printer 2 プリンタードライバを汎用モデルとして利用する場合には機能制約があります。

オプション：以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

- **カセット**：給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）、追加給紙カセット（4段目カセット）、または大容量給紙装置が装着されているかを設定します。
- **フィニッシャー**：フィニッシャー、サドルステッチフィニッシャー、インナーフィニッシャー、またはインナートレイが装着されているかを設定します。
- **ホールパンチユニット**：ホールパンチユニットが装着されているかを設定します。
- **大容量給紙装置（外付け）**：大容量給紙装置（外付け）または大容量給紙装置（外付け & 拡張）が装着されているかを設定します。
- **インサーターユニット**：インサーターが装着されているかを設定します。
- **自動両面ユニット**：自動両面ユニットが装着されているかを設定します。
- **ハードディスク**：内蔵ストレージが装着されているかを設定します。

補足

- 設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。
- 本機とお使いのコンピューターが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。

4 [カセット設定] をクリックします。

5 以下のオプションを設定し、[OK] をクリックします。

	用紙サイズ	用紙種類	使用目的
1段目カセット	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
2段目カセット	A3	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
3段目カセット	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
4段目カセット	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置 (外付け)	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置 (拡張)	A4	普通紙 (60-80g/m ²)	なし
手差しトレイ	自動選択	普通紙 (60-80g/m ²)	なし

ドライバー用紙カセット優先

標準に戻す

OK キャンセル

1段目カセット：1段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

2段目カセット：2段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

3段目カセット：3段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

4段目カセット：4段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

大容量給紙装置：大容量給紙装置にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

大容量給紙装置 (外付け)：大容量給紙装置 (外付け) にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

大容量給紙装置 (拡張)：大容量給紙装置 (拡張) にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

手差しトレイ：用紙種類、および使用目的を選択します。

ドライバー用紙カセット優先：アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタードライバーの給紙元設定を優先して使用する場合に選択します。

補足

設定できる項目は、お使いの機種およびオプション構成により異なります。

6 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

■ 部門管理機能を利用する

部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザーは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザーの印刷ジョブを確認できます。

本機が部門コードで管理されている場合、ユーザーは印刷時に部門コードを入力する必要があります。

部門管理の設定は、TopAccess管理者設定で行います。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [ユーザー管理] - [ユーザー管理] の概要説明 - [部門管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

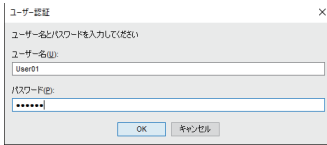
補 足

- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。1～63桁まで設定できます。
- TopAccess管理者設定の[部門コードなし印刷ジョブ]の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、間違った部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが[部門コードの使用を強制する]に設定されている場合は、間違った部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが[部門コードの使用を強制する]に設定されている場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが[印刷]の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが[削除]の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。

■ ユーザー認証機能を利用する

印刷ごとにユーザー名とパスワードを入力する

共有コンピューターなどから印刷する際に、印刷ごとにユーザー名とパスワードの入力が必要になるよう設定します。

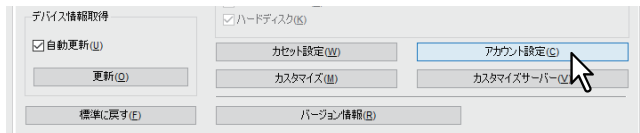


1 [デバイス設定] タブを選択します。

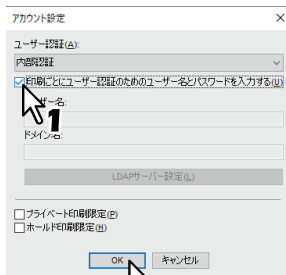
注意

[デバイス設定] タブは、プリンタードライバーのプロパティをプリンターフォルダーから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [印刷ごとにユーザー認証のためのユーザー名とパスワードを入力する] を選択して、[OK] をクリックします。



□ LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する

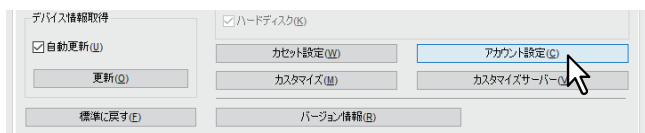
LDAP認証に使用するLDAPサーバーを設定します。

1 [デバイス設定] タブを選択します。

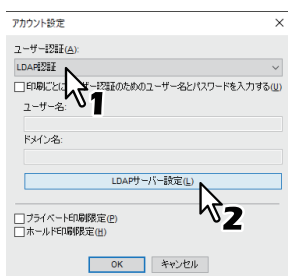
注意

[デバイス設定] タブは、プリンタードライバーのプロパティをプリンターフォルダーから表示したときに表示されます。

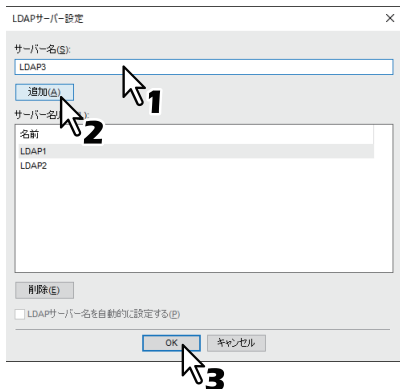
2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [ユーザー認証] で [LDAP認証] を選択し、[LDAPサーバー設定] をクリックします。



4 [サーバー名] を入力し、[追加] をクリックして [OK] をクリックします。



補足

[サーバー名を自動で設定する] は、登録されているLDAPサーバーが1つのときに選択できます。この設定を有効にすると認証サーバーを自動的に設定できます。また印刷時の [LDAPサーバー選択] ダイアログボックスは表示されません。

■ 注意事項について

- 本機のユーザー管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザー管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピューターにログインしたときに入力したユーザー名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタードライバーに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザー名が登録されている必要があります。ユーザー名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザー認証強制的設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザー認証強制やRaw印刷ジョブの設定については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セキュリティ] 項目説明一覧 - 認証 - ユーザー認証設定

また、Windowsドメイン認証を使用している場合は、コンピューターがドメインにログインしている必要があります。

- ブラック無制限機能が有効な場合は、カラーのみ部門管理ができます。[基本] タブの [カラー] ボックスで [自動カラー選択]、[フルカラー]、[2色] を選択して印刷する場合は、部門コードを入力する必要があります。[白黒] を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。
- いくつかの印刷機能は、プリンタードライバーとアプリケーション両方で設定できます（例：丁合機能など）。ただし、アプリケーションで丁合機能を設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合には、プリンタードライバーのソートモード機能で設定し、アプリケーションでは設定を行わずに印刷してください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷機能もあります。プリンタードライバーとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

Universal PS3プリンタードライバー使用時の注意点

- Adobe Acrobatから印刷する際、用紙サイズに合わせて印刷をする機能は無効になります。PostScriptで用紙サイズに合わせて印刷を行う場合は、Universal Printer 2プリンタードライバーを使用し、[デバイス設定] タブの [カスタマイズ] で、[プリンター言語設定] タブの [プリンター言語] を [PostScript] に設定して印刷してください。
- 以下の機能のいずれかを設定すると、アプリケーションのパススルー動作を無視してプリンタードライバー側で印刷データを生成するため、アプリケーション側で印刷データを生成するような場合でも、正常な印刷結果を得ることができます。
 - オーバーレイファイルで保存
 - オーバーレイイメージ付きの印刷
 - ページ集約
 - 製本
 - 1ページ毎に挿入（複製）
 - テンプレート
 - 印刷用紙サイズ
 - 画像倍率（拡大／縮小）
 - ポスター印刷
 - タンデム印刷

□ Windows用PPDファイルが必要なときは

インストールディスクには、Windowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンター固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

PPDファイルのコピー方法については、以下の参照先をご覧ください。

インストール - プリンタードライバーのインストール (Windows) - Windows用PPDファイルのコピー

プリンタードライバーの機能概要

プリンタードライバーで設定できる印刷機能について説明します。

注意

[挿入]、[画質]、[効果]、[テンプレート] の各タブは、プラグイン機能で設定を有効にした場合のみ表示されます。設定方法は、プリンタードライバーヘルプを参照してください。

📖 P.141 「プリンタードライバーヘルプについて」

補足

- 各タブの設定値の詳細はプリンタードライバーヘルプを参照してください。
📖 P.141 「プリンタードライバーヘルプについて」
- 以下のタブはOSに依存する設定項目です。これらの設定方法や詳細については、お使いになるOSの取扱説明書やヘルプを参照してください。
 - [全般] タブ
 - [共有] タブ
 - [ポート] タブ
 - [詳細設定] タブ
 - [色の管理] タブ
 - [セキュリティ] タブ

■ プリンタードライバーの設定

印刷機能を設定する方法はいくつかありますが、印刷にどのような効果をもたらすかは、設定方法により異なります。また、表示されるタブも、プリンタープロパティのダイアログボックスの表示方法により異なります。

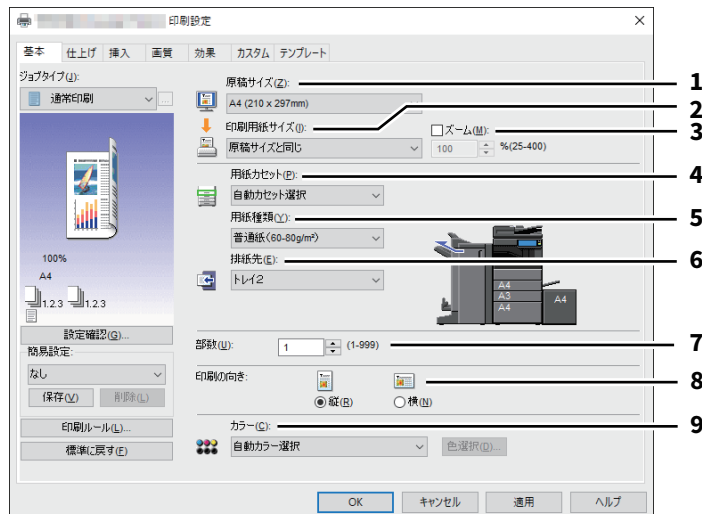
- 印刷機能の初期値を設定する場合
プリンターフォルダーからプリンタープロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、プリンタードライバーの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザー情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で印刷機能を設定します。
📖 P.74 「印刷機能の初期値を変える」
- 印刷ジョブごとに印刷機能を設定する場合
アプリケーションの「プリント」（印刷）ダイアログボックスからプリンタープロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、現在の印刷ジョブのみに適用されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると元の設定に戻ります。
📖 P.15 「印刷方法」

■ [基本] タブ

基本的な印刷操作に関する設定を行います。

注意

お使いになる機種によっては、設定できる項目が異なります。



	項目名	機能説明
1	原稿サイズ	原稿のサイズを選択します。使用できる原稿サイズは、機種により異なります。
	補足	標準原稿サイズ以外に、カスタム原稿サイズを選択できます。カスタム原稿サイズは、[カスタム] タブで設定します。 📖 P.124 「[カスタム] タブ」
2	印刷用紙サイズ	印刷に使用する用紙サイズを選択します。 [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択すると、「インデックス紙設定」ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.93 「インデックス紙設定」
	補足	<ul style="list-style-type: none"> • お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。 • 標準用紙サイズ以外に、ユーザー設定サイズを選択できます。ユーザー設定サイズは、[カスタム] タブで設定します。 📖 P.124 「[カスタム] タブ」 • ユーザー設定サイズを使用する場合、カセットにセットされているユーザー設定サイズを手動で選択する必要があります。
3	ズーム	拡大／縮小印刷するときにチェックボックスをオンにして、倍率を指定します。

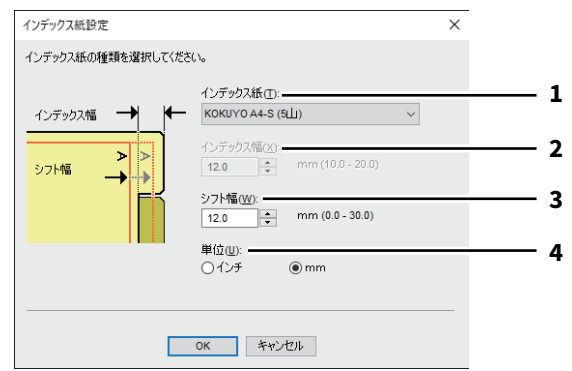
	項目名	機能説明
4	用紙カセット	印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択します。右横の本機プレビューで、各給紙元に設定されている用紙サイズが確認できます。また、給紙元を選択すると、選択した給紙元が緑色の囲みで表示されます。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手差しトレイから給紙する場合、原稿の向きと手差しトレイにセットした用紙の向きが違っていても、原稿と用紙のサイズが同じならば、原稿の内容が90度回転して原稿どおりに印刷されます (A4、B5、Letter、16Kサイズのみ)。たとえば、A4縦向きの原稿を印刷するとき、手差しトレイにA4横向きの用紙がセットされていれば、正しく印刷されます。 • 選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および [デバイス設定] タブの設定により異なります。 • 特殊紙やインデックス紙など、手差しトレイからの給紙が必要となる用紙種類が設定された場合、[用紙カセット] の設定が自動的に [手差しトレイ] に変更され、確認のダイアログボックスが表示されることがあります。 • [デバイス設定] タブのカセット用紙サイズが本機にセットされた用紙サイズと異なる場合、[用紙カセット] の設定を無視し、タッチパネルの [状況確認] が点滅して、正しいサイズの用紙を手差しトレイにセットするよう求めるメッセージが表示されることがあります。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 右横の本機プレビュー上で、給紙元に設定したいカセットを直接クリックして選択することもできます。 • [手差しトレイ] を選択して印刷した場合は、印刷すると本機のタッチパネルの [状況確認] が点滅しますので、[状況確認] を押して印刷ジョブで用紙サイズを確認後、用紙をセットして [スタート] ボタンを押してください。 	
5	用紙種類	印刷に使用する用紙の種類を選択します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各用紙種類が対応する用紙坪量は、お使いになる機種により異なります。用紙坪量の詳細については、以下の参照先をご覧ください。 本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類 • [特殊紙1]、[特殊紙2]、[特殊紙3] で使用できる用紙については、サービスエンジニアにお問い合わせください。 • [印刷用紙サイズ] ボックスで [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択すると、[用紙種類] ボックスには [インデックス紙] が表示されます。この場合、ほかの用紙種類は選択できません。 • [印刷用紙サイズ] ボックスで [封筒] を選択すると、[用紙種類] ボックスには [封筒] が表示されます。この場合、ほかの用紙種類は選択できません。 • [ユーザータイプ1] ~ [ユーザータイプ10] は使用しないでください。 <p>補足</p> <p>各用紙種類に対する推奨紙については、以下の参照先をご覧ください。 本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類</p>	

	項目名	機能説明
6	排紙先	印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。右横の本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。
	<p>注意</p> <p>サドルステッチフィニッシャーを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は[サドルトレイ]に固定されます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 右横の本機プレビュー上で、排紙先に設定したいトレイを直接クリックして選択することもできます。 フィニッシャー装着時、イニシャライズ動作を抑えたい場合は、[トレイ1]に設定してください。 	
7	部数	印刷部数を指定します。
8	印刷の向き	用紙カセットで選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。
9	カラー	カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。
	<p>補足</p> <p>[2色]を選択した場合は、[色選択]をクリックして、黒以外の箇所を何色で印刷するかを選択します。[レッド]、[グリーン]、[ブルー]、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ホワイト]いずれかを指定できます。</p>	

□ インデックス紙設定

注意

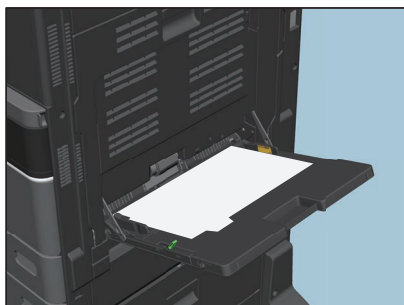
お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。



	項目名	機能説明
1	インデックス紙	<p>インデックス紙の製品名を選択します。</p> <p>A4 インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • KOKUYO A4-S (5mm) • King JIM A4-S (5mm) <p>Letter インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Blanks USA copy Tabs (5mm) LT + 1/2" Tab • Blanks USA copy Tabs (8mm) LT + 1/2" Tab
	注意	上記以外のインデックス紙を使ってインデックス紙印刷を行う場合は、[カスタム] を選択しインデックス幅を手動で設定します。
2	インデックス幅	インデックス部分の幅を入力します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
3	シフト幅	印刷イメージをシフトする幅を入力します。たとえば、A4 インデックス紙のインデックスにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にインデックスに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをインデックスの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。
4	単位	インデックス幅およびシフト幅の単位を選択します。

注意

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するインデックス紙のインデックスに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。
- インデックス紙は手差しトレイから給紙します。インデックスが外側になるように手差しトレイにインデックス紙をセットしてください。



- インデックス紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、インデックスの正しい位置に印刷されません。インデックス紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。

□ ジョブタイプの組み合わせ

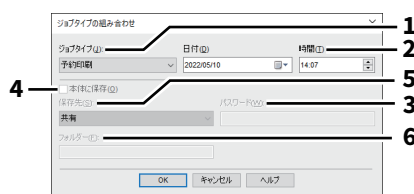
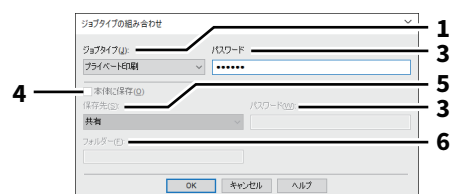
この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し+プライベート印刷」、「お試し+ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせることで印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。選択した場合は、「ジョブタイプ」ボックス右端の [...] をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

注意

- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピューターの日時を合わせておいてください。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピューターに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタードライバーを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。管理方法については、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - 本機から操作する - ユーザーボックス/フォルダーを管理する
- 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。ファイリングボックスWebユーティリティを使った管理方法については、以下の参照先をご覧ください。
ファイリングボックス - クライアントコンピューターから操作する - 文書を管理する



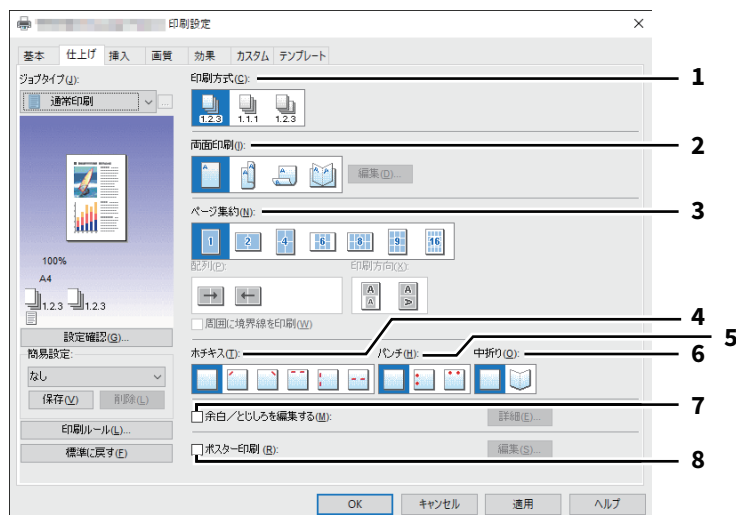
	項目名	機能説明
1	ジョブタイプ	<p>ジョブタイプを選択します。選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [予約印刷] を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。 • [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。 • [ホールド印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。 • [お試し印刷] [お試し+プライベート印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。 • [本体に保存] のチェックボックスをオンにした場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。
2	日付/時間	[予約印刷] を選択した場合は、[日付] と [時間] を設定します。
3	パスワード	[プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、パスワードを入力します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1~63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号 (0x21 ~ 0x7E までのASCIIコードの文字) を使用できます。 • ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。このパスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。 	
4	本体に保存	印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、[本体に保存] チェックボックスをオンにします。
5	保存先	[保存先] ボックスで、保存先を選択します。ユーザーボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。
6	フォルダー	選択したボックス内のフォルダーを指定する場合は、[フォルダー] ボックスにフォルダー名を入力します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力したフォルダー名が存在しない場合、新規のフォルダーとしてボックス内に作成されます。 • フォルダー名は最大64文字まで入力できます。 • フォルダーの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。 	

■ [仕上げ] タブ

印刷仕上げに関する設定を行います。

注意

設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。

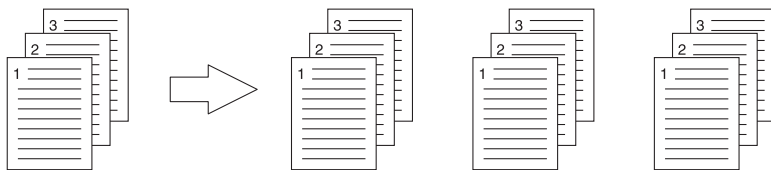


	項目名	機能説明
1	印刷方式	複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.97 「印刷方式」
2	両面印刷	用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.98 「両面印刷」 [製本] アイコン選択時に、[編集] をクリックすると、[製本設定] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.103 「製本設定」
3	ページ集約	複数のページを1枚の用紙に印刷します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.99 「ページ集約」
4	ホチキス	部ごとに用紙をホチキス留めする場合は、留め位置を選択します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.99 「ホチキス」
5	パンチ	印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、パンチ位置を選択します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.101 「パンチ」
6	中折り	用紙を中折りして出力します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.101 「中折り」
7	余白/とじしろを編集する	ページの余白およびとじしろを設定する場合にチェックボックスをオンにして [詳細] をクリックし、上下左右の余白およびとじしろの設定します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.102 「余白/とじしろを編集する」
8	ポスター印刷	1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。この機能をオンにした場合は [編集] をクリックして、分割枚数を設定します。 📖 P.102 「ポスター印刷」

□ 印刷方式

複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。

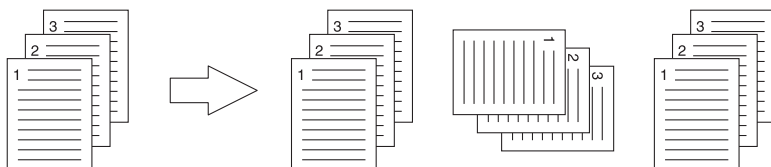
- **ソート**：ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。



- **グループ**：グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。



- **縦横交互**：1部ずつ縦横交互に排紙します。



注意

- お使いの機種によっては、[縦横交互] は設定できません。
- [グループ] および [縦横交互] は、印刷部数を2部以上指定したときにのみ有効です。
- [縦横交互] は、用紙サイズに [Letter]、[A4]、[B5]、[16K] を選択したときにのみ有効です。あらかじめ [Letter]、[A4]、[B5]、[16K] サイズの異なる方向の用紙をカセットまたは、大容量給紙装置にセットしておきます。

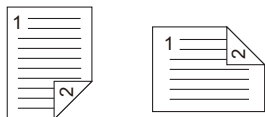
□ 両面印刷

用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。

- **なし**：片面に印刷します。
- **長辺**：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

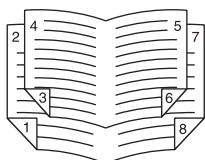


- **短辺**：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。



- **製本**：本や雑誌のようなページ構成で印刷します。選択した場合は、[編集] をクリックしてどのように製本印刷するかを設定します。

📖 P.103 「製本設定」



注意

- この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。
- 利用できる用紙サイズは、お使いの機種によって異なります。
- [基本] タブの [印刷用紙サイズ] ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、両面印刷はできません。
 - はがき
 - A6
 - A4 インデックス紙
 - Letter インデックス紙
 - A3ノビ (13 × 19")
 - 封筒 COM10
 - 封筒 Monarch
 - 封筒 長形6号
 - 封筒 長形3号
 - 封筒 洋形4号
 - 封筒 角形2号
- [基本] タブの [用紙種類] ボックスで以下の用紙種類が選択されている場合、両面印刷はできません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャーの装着状況により異なる場合があります。
 - OHPフィルム
 - 厚紙4
 - 厚紙4 (うら)

□ ページ集約

複数のページを1枚の用紙に印刷します。

- 配列
ページ集約印刷を行う際の配列を選択します。
- 周囲に境界線を印刷
チェックボックスをオンにすると、ページごとに境界線を印刷します。
- 印字方向
縦横の向きが混在した原稿を印刷する場合、縮小して原稿方向と同じ向きで印刷するか、縮小せずに原稿を90度回転させて印刷するか選択します。

注意

お使いの機種によっては、縦横が混在している原稿を印刷することができません。

補足

両面印刷で [製本] を設定した場合は、[2 in 1] 設定のみ選択することができます。

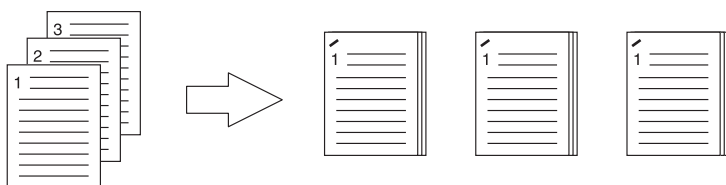
□ ホチキス

部ごとに用紙をホチキス留めする場合は、留め位置を選択します。

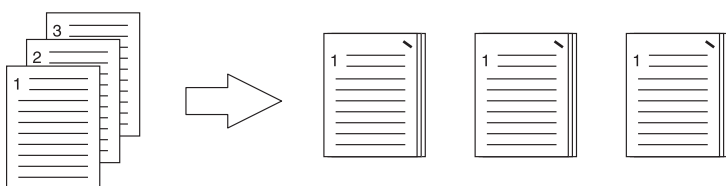
注意

お使いの機種によって利用できません。

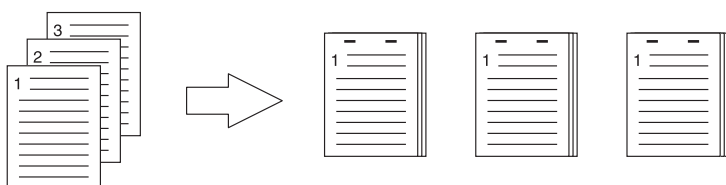
- **なし**：ホチキス留めをしません。
- **上段左**：部ごとに用紙の左上をホチキス留めして出力します。



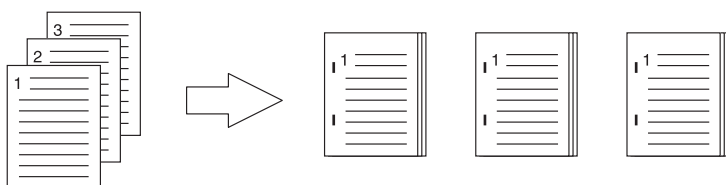
- **上段右**：部ごとに用紙の右上をホチキス留めして出力します。



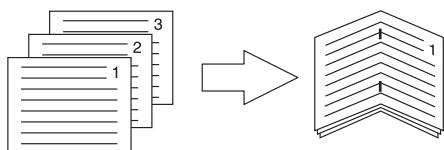
- **上段 (2か所)**：部ごとに用紙の上部2か所をホチキス留めして出力します。



- **左 (2か所)**：部ごとに用紙の左側2か所をホチキス留めして出力します。



- **サドルステッチ**：用紙の中央2か所をホチキス留めし中折りして出力します。この設定を選択すると、ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、単純に中折りとじして出力します。



注意

- ホチキス印刷は、フィニッシャー装着時のみ実行できます。
- [サドルステッチ] は、サドルステッチフィニッシャー装着時のみ有効です。
- グループ印刷や製本印刷が設定されている場合、ホチキス印刷は実行できません。
- [基本] タブの [印刷用紙サイズ] ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、ホチキス印刷は実行できません。
 - A5
 - A6
 - はがき
 - 305 × 457 mm
 - 12×18"
 - A4 インデックス紙
 - Letter インデックス紙
 - Statement
 - A3ノビ (13 × 19")
 - 320 × 450 mm
 - 320 × 460 mm
 - 封筒 COM10
 - 封筒 Monarch
 - 封筒 長形6号
 - 封筒 長形3号
 - 封筒 洋形4号
 - 封筒 角形2号
 - ユーザー設定サイズ
- [基本] タブの [用紙種類] ボックスで以下の用紙種類が選択されている場合、ホチキス印刷は実行できません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャーの装着状況により異なる場合があります。
 - 厚紙4
 - 特殊紙1
 - 特殊紙2
 - 特殊紙3
 - 薄紙
 - OHPフィルム
 - 厚紙4 (うら)
 - 特殊紙1 (うら)
 - 特殊紙2 (うら)
 - 特殊紙3 (うら)
 - 薄紙 (うら)

補足

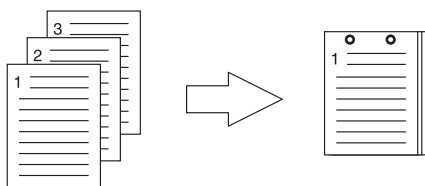
[サドルステッチ] は、すでにデータ上で製本された文書に対してサドルステッチ印刷を行う場合に使用します。通常のページ順の文書から製本印刷を行う場合は、[両面印刷] で [製本] を設定します。サドルステッチを使用した場合は、「製本設定」ダイアログボックスの [サドルステッチを使用する] チェックボックスをオンにしてください。

□ パンチ

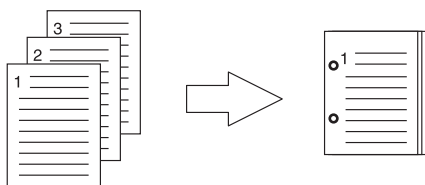
印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、パンチ位置を選択します。

注意

- パンチ印刷は、パンチユニット装着時のみ実行できます。
 - お使いの機種によって利用できません。
 - 製本印刷が設定されている場合、パンチ印刷は実行できません。
 - 選択できるパンチ位置は、用紙サイズにより異なります。
- **なし**：パンチ処理をしません。
 - **上段**：用紙の上部2か所にとじ穴を開けて排紙します。



- **左**：用紙の左側2か所にとじ穴を開けて排紙します。

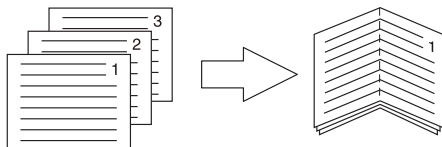


□ 中折り

用紙を中折りして出力します。

注意

- この機能は、本機にサドルステッチフィニッシャーが装着されている場合のみ実行できます。
 - お使いの機種によって利用できません。
- **なし**：用紙の中折りをしません。
 - **中折り**：用紙の中央で中折りします。



補足

〔中折り〕は、あらかじめデータ上で製本された文書に対して、中折り印刷を行う場合に使用します。製本印刷を行う場合は、〔両面印刷〕で〔製本〕を設定します。中折りを使用する場合は、〔両面印刷〕で〔製本〕を設定して〔編集〕をクリックし、「製本設定」ダイアログボックスを開き、〔中折り〕チェックボックスをオンにしてください。

📖 P.103 「製本設定」

□ 余白/とじしろを編集する

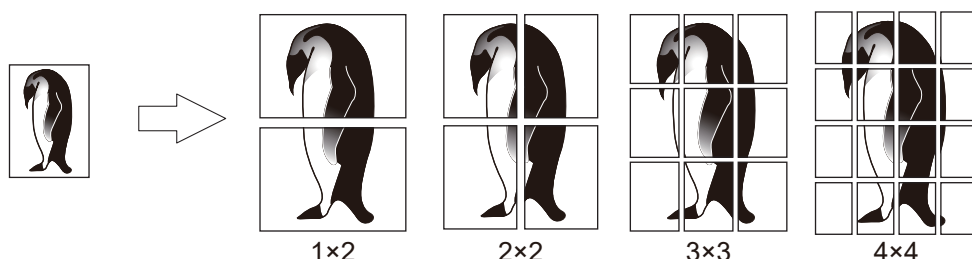
余白/とじしろを設定する場合にチェックボックスをオンにして [詳細] をクリックし、上下左右の余白およびとじしろを設定します。

注意

- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能は、アプリケーションが余白機能をサポートしていない場合にご使用ください。アプリケーションで余白が設定できる場合は、この機能は使用せずにアプリケーションの機能をご使用ください。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

□ ポスター印刷

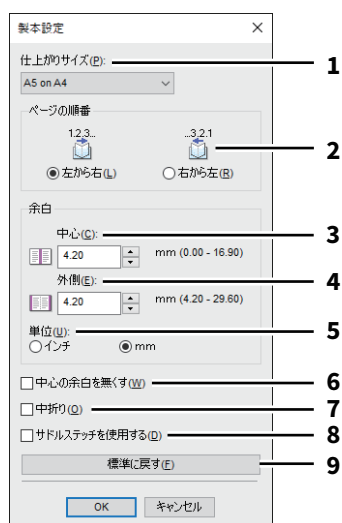
1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。この機能をオンにした場合は [詳細] をクリックして、分割枚数を設定します。



注意

- ユーザー設定サイズ、ページ集約印刷、両面印刷、スタンプ、オーバーレイ、シート挿入の各機能を設定している場合、ポスター印刷を実行することはできません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] が以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。ただし、お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
A4、A3、B4、B5、LT、LD
- [1x2] は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。

製本設定



	項目名	機能説明
1	仕上がりサイズ	出力される仕上がりサイズを選択します。
2	ページの順番	ページを左から右の順序で印刷するか、右から左の順序で印刷するかを選択します。
3	余白 - 中心	見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。
4	余白 - 外側	ページの上下左右の余白を設定します。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。
5	余白 - 単位	余白の単位を選択します。
6	中心の余白を無くす	用紙の中央の余白を0 mm (0インチ) に設定します。 このとき [余白-中心] に設定されていた値は、無効となります。
7	中折り	用紙の中央部分で中折りして出力します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> お使いの機種によって利用できません。 [中折り] は、以下の仕上がりサイズを指定したときにのみ使用できます。 [A5 on A4]、[A4 on A3]、[B5 on B4]、[Letter - Half on Letter]、[LT on LD]、[1/2 LG on LG]、[16K on 8K]
8	サドルステッチ	用紙の中央部分を2か所ホチキス留めして出力します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> お使いの機種によって利用できません。 [サドルステッチ] は、以下の仕上がりサイズを指定したときにのみ使用できます。 [A5 on A4]、[A4 on A3]、[B5 on B4]、[Letter - Half on Letter]、[LT on LD]、[1/2 LG on LG]、[16K on 8K] [サドルステッチを使用する] は、サドルステッチフィニッシャー装着時のみ有効です。
9	[標準に戻す]	「製本設定」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

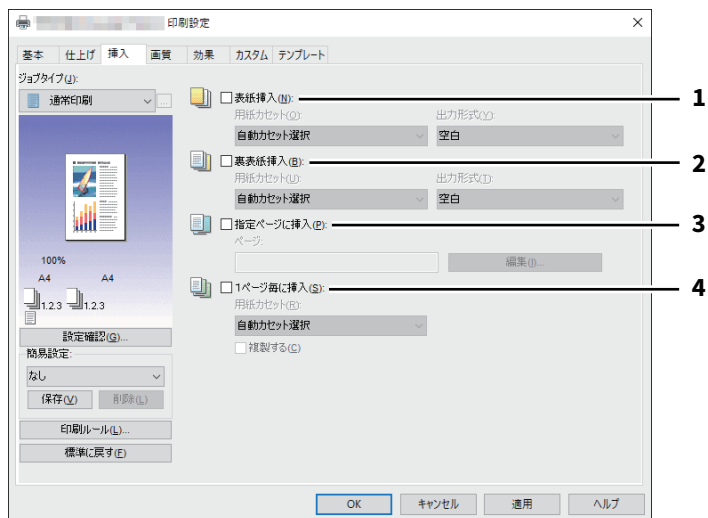
■ [挿入] タブ

表紙や裏表紙、空白シートを挿入して印刷する設定を行います。


📖 P.106 「指定ページに挿入」

注意

- インデックス紙印刷が設定されている場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] は実行できません。
- 同じサイズの下紙を挿入するときは、本機の給紙元カセットの下紙種類を変更するか、[基本] タブで下紙カセットを選択しないと、挿入するカセットからすべて印刷されてしまいますので注意してください。
- ジョブタイプで [本体に保存] を選択した場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] の設定は無効となります。



	項目名	機能説明
1	表紙挿入	<p>表紙印刷を設定します。異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 表紙に使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 出力形式 表紙の印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。 - 片面印刷：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。 - 両面印刷：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
	注意	<p>[仕上げ] タブで両面印刷を設定したときに [片面印刷] を選択すると、表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。</p>

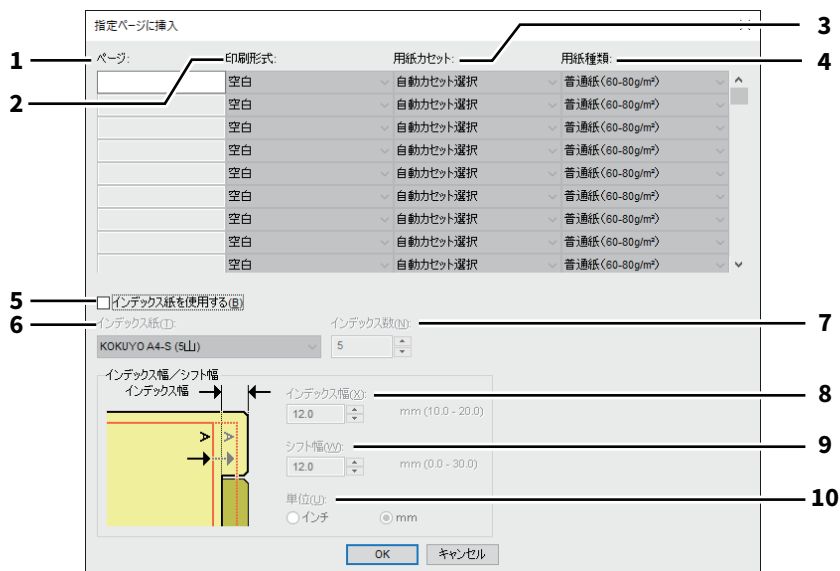
	項目名	機能説明
2	裏表紙挿入	<p>裏表紙印刷を設定します。異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に文書の最後のページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 出力形式 裏表紙の印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。 - 片面印刷：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。 - 両面印刷：文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [仕上げ] タブで両面印刷を設定したときに [片面印刷] を選択すると、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。 • [両面印刷] を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。 	
3	指定ページに挿入	<p>指定したページの間異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に指定したページを印刷します。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。[編集] をクリックして挿入方法を設定します。</p> <p> P.106 「指定ページに挿入」</p>
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1ページ毎に挿入] と同時に設定することはできません。 • 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。 	
4	1ページ毎に挿入	<p>印刷ジョブの各ページの間、異なる給紙元から給紙した用紙を挿入します。OHPフィルムの間に色シートをそれぞれ挿入するときなどに便利な機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 複製する 挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージを印刷します。OHPフィルムの間の紙にそれぞれ印刷するときなどに便利な機能です。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [表紙挿入] [裏表紙挿入] と組み合わせて1ページごとに挿入を行った場合、表紙および裏表紙の後ろには用紙は挿入されません。 • [指定ページに挿入] と同時に設定することはできません。 	

□ 指定ページに挿入

指定したページの間異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に指定したページを印刷します。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。[編集] をクリックして挿入方法を設定します。

注意

- [1ページ毎に挿入] と同時に設定することはできません。
- 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

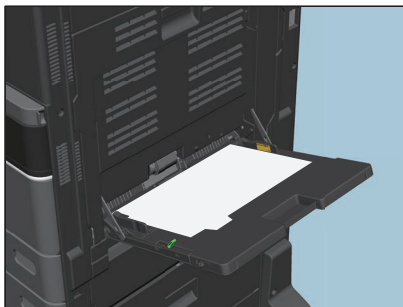


項目名	機能説明
1 ページ	シートを挿入するページ番号を入力します。 [印刷形式] ボックスで [空白] が選択されていると、白紙シートが入力したページ番号の前にそれぞれ挿入されます。 [片面印刷] が選択されている場合は、指定したページが挿入シートに印刷されます。 [両面印刷] が選択されている場合は、指定したページおよび次のページが挿入シートの両面に印刷されます。
2 印刷形式	挿入シートの印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を指定したページに挿入します。 • 片面印刷：指定したページを別の用紙の表面にのみ印刷します。 • 両面印刷：指定したページと次のページを別の用紙に両面印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
3 用紙カセット	挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。
4 用紙種類	指定した挿入ページに使用する用紙種類を選択します。
5 インデックス紙を使用する	指定したページの間インデックス紙を挿入したり、インデックス紙に指定したページを印刷します。
注意	お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。

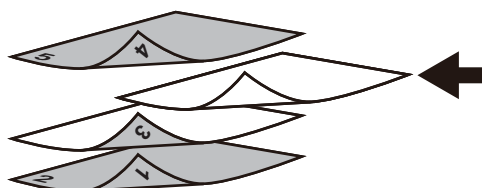
	項目名	機能説明
6	インデックス紙	インデックス紙の製品名を選択します。 A4 インデックス紙を選択した場合: ・ KOKUYO A4-S (5山) ・ King JIM A4-S (5山) Letter インデックス紙を選択した場合: ・ Blanks USA copy Tabs (5山) LT + 1/2" Tab ・ Blanks USA copy Tabs (8山) LT + 1/2" Tab
	注意	上記以外のインデックス紙を使ってインデックス紙印刷を行う場合は、[カスタム] を選択しインデックス数やインデックス幅を手動で設定します。
7	インデックス数	インデックス紙のインデックスの総数を1~10で選択します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
8	インデックス幅	インデックスの幅を入力します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
9	シフト幅	印刷イメージをシフトする幅を入力します。たとえば、A4 インデックス紙のインデックスにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にインデックスに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをインデックスの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。
10	単位	インデックス幅およびシフト幅の単位を選択します。

注意

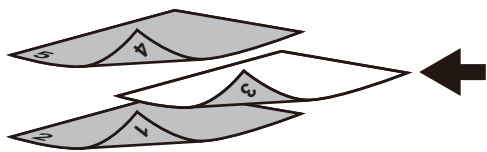
- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するインデックス紙のインデックスに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。
- インデックス紙は手差しトレイから給紙します。インデックスが外側になるように手差しトレイにインデックス紙をセットしてください。



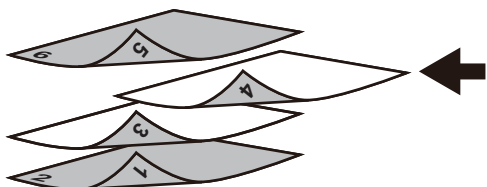
- インデックス紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、インデックスの正しい位置に印刷されません。インデックス紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で [空白] を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、次に白紙シートが挿入され、その次の表面から引き続き印刷されます。



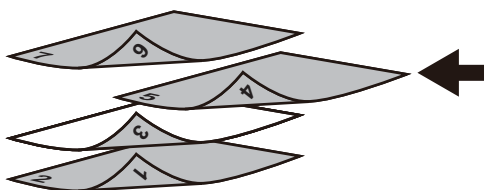
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で「片面印刷」を選択すると、指定したページ（下図の例：3ページ）は挿入シートの表面に印刷され、シートの裏面はblankとなります。



- 両面印刷を設定時に、印刷形式で「片面印刷」を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずblankページとなり、挿入された用紙の表面に指定したページが印刷され、その次の表面から引き続き印刷されます。



- 両面印刷を設定時、印刷形式で「両面印刷」を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずblankページとなり、挿入された用紙の両面に指定したページと次のページが印刷され、それ以降のページはその次の表面から引き続き印刷されます。



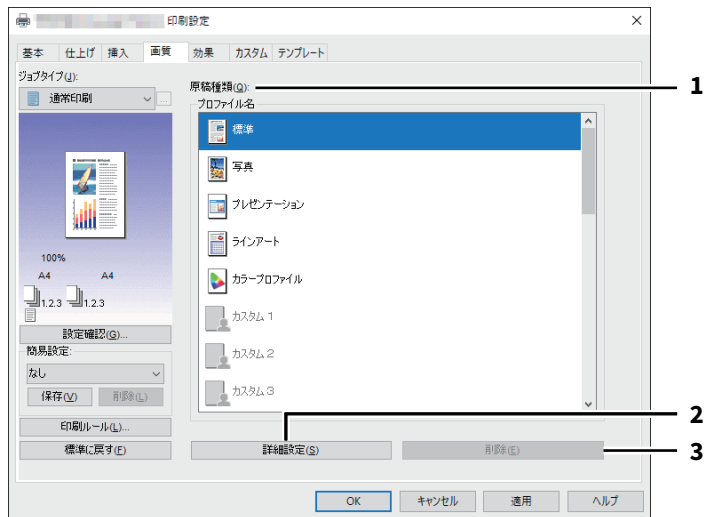
■ [画質] タブ

ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書の種類に応じた適切な画質を選択できます。

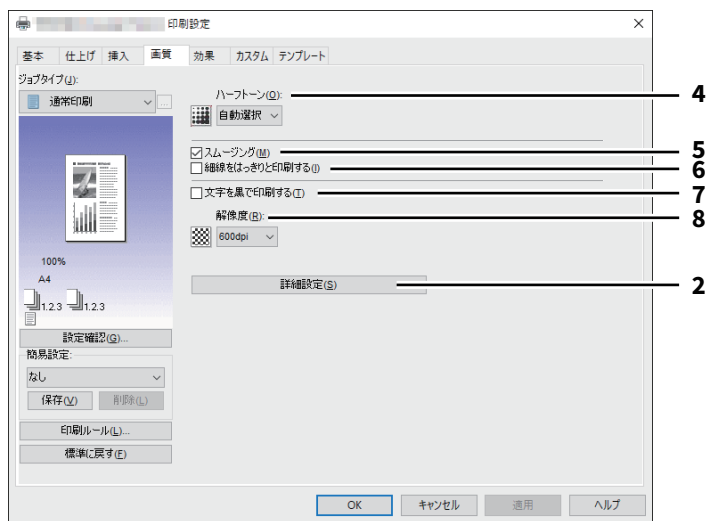
注意

お使いになる機種によっては、設定できる項目が異なります。

カラー複合機の場合



モノクロ複合機の場合

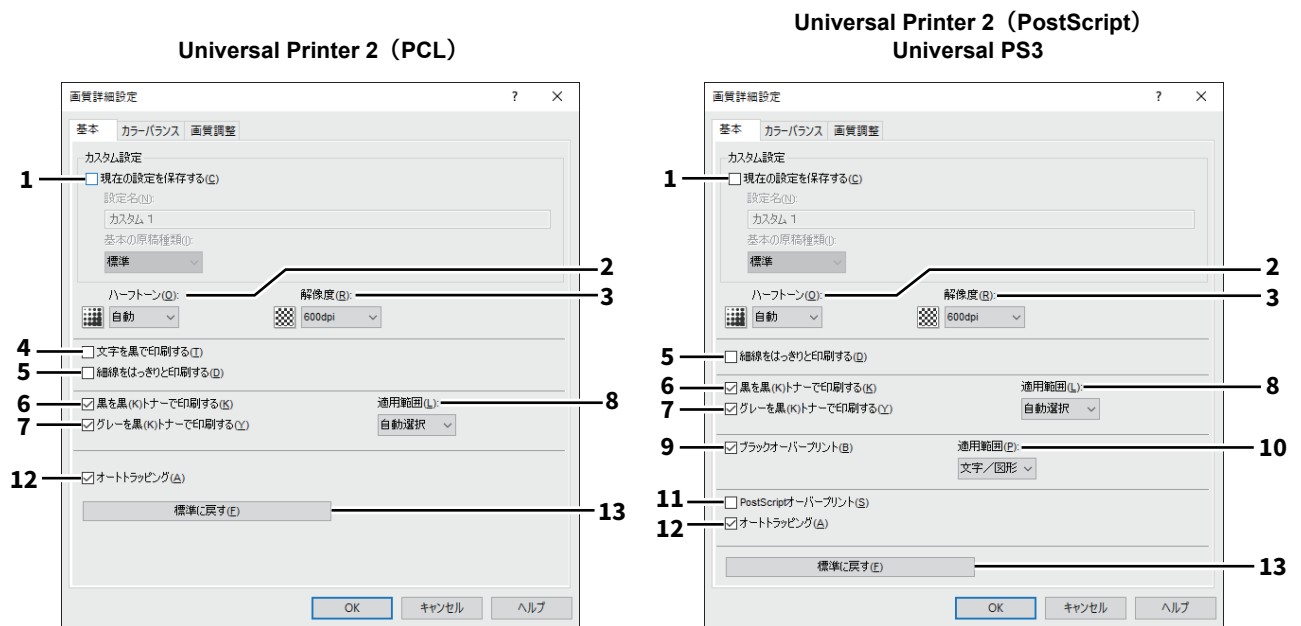


	項目名	機能説明
1	原稿種類	<p>原稿種類に応じて適切な画質を適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、[詳細設定] をクリックして行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準：通常のカラー文書を印刷するのに適切な画質を適用します。 • 写真：写真を印刷するのに適切な画質を適用します。 • プレゼンテーション：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切な画質を適用します。 • ラインアート：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切な画質を適用します。 • カラープロファイル：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。以下のプリンタードライバをお使いの場合のみ表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Universal Printer 2 (PostScript) - Universal PS3
	注意	[基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] または [2色] を選択した場合は、[標準] の設定となります。
2	[詳細設定]	<p>原稿種類をカスタマイズします。クリックすると「画質詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。最大20個まで、カスタム原稿種類を作成することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.111 「画質詳細設定：[基本] タブ」 📖 P.114 「画質詳細設定：[カラーバランス] タブ」 📖 P.115 「画質詳細設定：[画質調整] タブ」 📖 P.116 「画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ」
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • モノクロ機の場合は、[画質詳細設定] 画面が表示されます。機能については、以下の参照先をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.111 「画質詳細設定：[基本] タブ」 • モノクロ機の [濃度別設定] については、以下の参照先をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.114 「画質詳細設定：[カラーバランス] タブ」 • 新しいカスタム原稿種類は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバのプロパティを表示した場合のみ作成できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバのプロパティを表示した場合は、新しいカスタム原稿種類を作成することはできません。
3	[削除]	選択したカスタム原稿種別を削除します。
4	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
5	スムージング	テキストやグラフィックスをなめらかに印刷します。
	注意	この機能は、お使いの機種がモノクロ複合機の場合にのみ設定できます。
6	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷します。
7	文字を黒で印刷する	白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。

	項目名	機能説明
8	解像度	印刷の解像度を設定します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • [1200dpi] は、Universal Printer 2 (PostScript) またはUniversal PS3プリンタードライバーに設定している場合のみ有効となります。 □ P.137 「カスタマイズ設定：[プリンター言語設定] タブ」 • [画質] タブの [原稿種類] で [写真] または [プレゼンテーション] を選択した場合、[1200dpi] は表示されません。 • [1200dpi] で印刷する場合、オートトラッピング機能は使用できません。
	補足	<p>[1200dpi] について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。 • 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。 • 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。

□ 画質詳細設定：[基本] タブ

[基本] タブでは、以下の機能を設定できます。

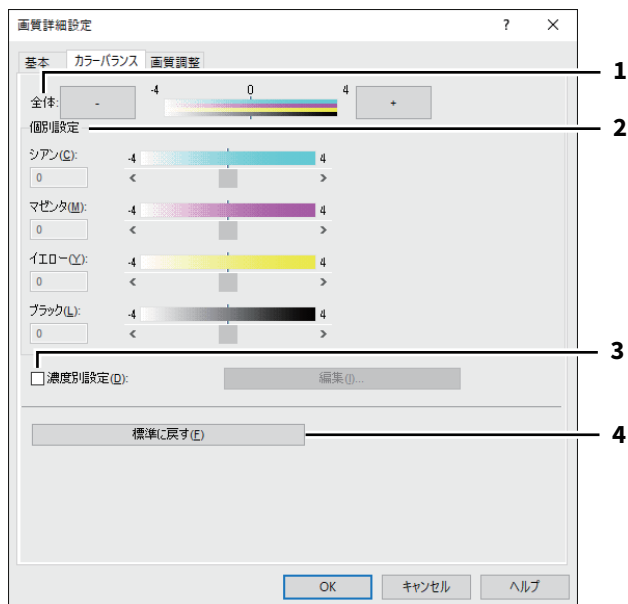


	項目名	機能説明
1	現在の設定を保存する	設定をカスタム原稿種類として保存します。チェックボックスをオフにした場合は、選択したカスタム原稿種類を未定義の状態に戻します。カスタム原稿種類は最大で20個まで作成することができます。
	<p>注意</p> <p>このチェックボックスは、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバのプロパティを表示した場合のみ有効です。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。</p> <p>設定名</p> <p>保存するカスタム原稿種類の設定名を入力します。</p> <p>補足</p> <p>基本の原稿種類（[標準] [写真] [プレゼンテーション] [ラインアート] [カラープロファイル]）と同じ設定名を入力しても、基本の原稿種類は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。</p> <p>基本の原稿種類</p> <p>設定するカスタム原稿種類のベースとなる原稿種類を選択します。</p>	
2	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
3	解像度	印刷の解像度を設定します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [画質] タブの [原稿種類] で [写真] または [プレゼンテーション] を選択した場合、[1200dpi] は表示されません。 • [1200dpi] で印刷する場合、[オートトラッピング] 機能は使用できません。 <p>補足</p> <p>[1200dpi] について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。 • 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。 • 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。 	
4	文字を黒で印刷する	白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 (PCL) • Universal Printer 2 (PostScript) 	
5	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷します。
6	黒を黒 (K) トナーで印刷する	黒の箇所を黒トナーで印刷します。
7	グレーを黒 (K) トナーで印刷する	グレースケールの箇所を黒トナーで印刷します。
	<p>注意</p> <p>[黒を黒 (K) トナーで印刷する] が無効の場合、この機能も無効です。</p>	
8	適用範囲	[黒を黒 (K) トナーで印刷する] と [グレーを黒 (K) トナーで印刷する] を適用する範囲を選択します。

	項目名	機能説明
9	ブラックオーバープリント	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントします。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 (PostScript) • Universal PS3 	
10	適用範囲	<p>[ブラックオーバープリント] を適用する範囲を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文字：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。 • 文字/図形：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 (PostScript) • Universal PS3 	
11	PostScriptオーバープリント	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリントを有効にして印刷します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、Universal PS3プリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。</p>	
12	オートトラッピング	版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し版ズレを目立たなくします。
	<p>注意</p> <p>この機能は、[基本] タブの [カラー] ボックスで [自動カラー選択]、[フルカラー] または [2色] を選択して印刷する場合に有効です。</p>	
13	[標準に戻す]	[標準] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。

□ 画質詳細設定：[カラーバランス] タブ

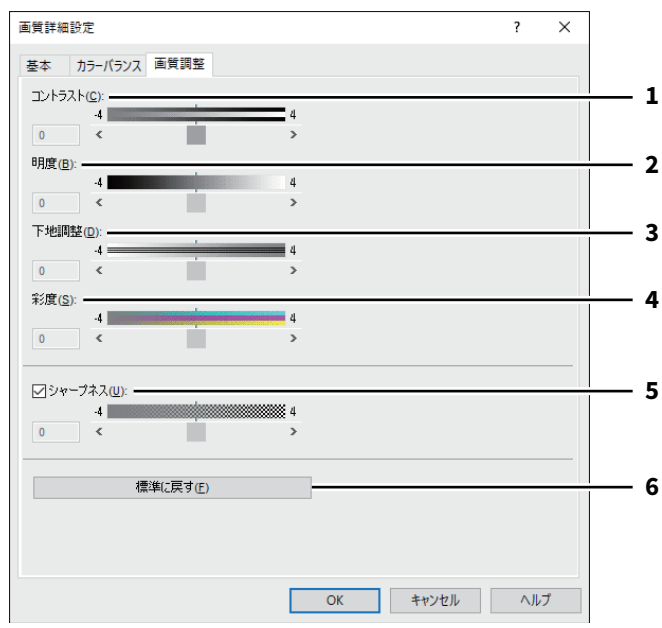
[カラーバランス] タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。



	項目名	機能説明
1	全体	全色の印字濃度をまとめて調整します。
2	個別設定	各トナーの印字濃度を設定します。
3	濃度別設定	各色の濃度をより詳細に設定します。[編集] をクリックして「濃度別カラーバランス設定」ダイアログボックスを表示し、濃度別の設定を行います。
4	[標準に戻す]	[カラーバランス] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。

□ 画質詳細設定：[画質調整] タブ

[画質調整] タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。

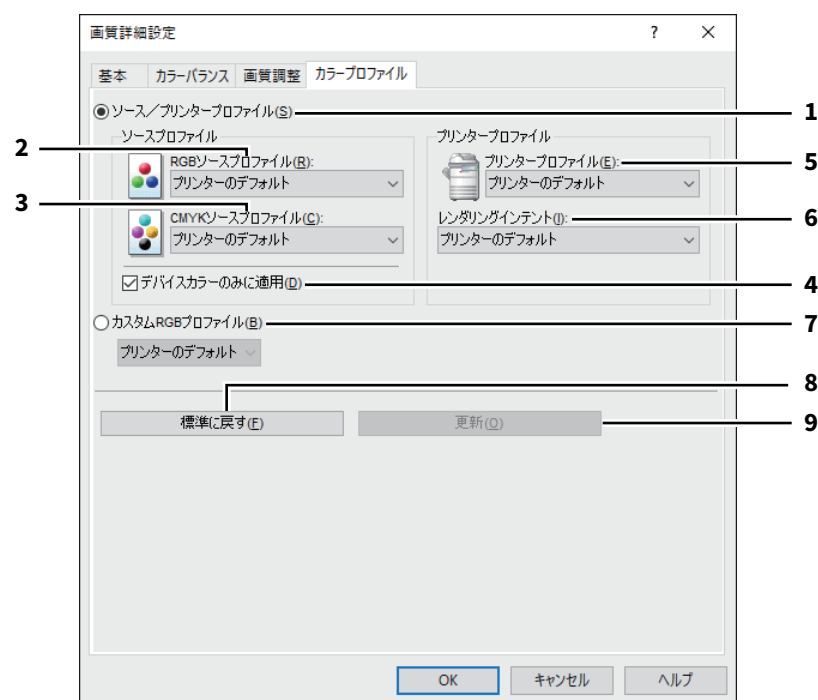


	項目名	機能説明
1	コントラスト	印字のコントラストを調整します。
2	明度	印字の明るさを調整します。
3	下地調整	下地濃度を調整します。
4	彩度	印刷の彩度を調整します。
5	シャープネス	シャープネスフィルターを使用します。
	注意 解像度を [1200 dpi] で印刷する場合、シャープネスフィルターは使用できません。	
6	[標準に戻す]	[画質調整] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。

□ 画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ

[カラープロファイル] タブでは、以下の機能を設定できます。

本機のカラープロファイル情報は更新されている場合があります。本機と双方向通信ができる場合は、[カラープロファイル] タブを開いて、[更新] をクリックしてカラープロファイル情報を更新してください。



	項目名	機能説明
1	ソース／プリンタープロファイル	ソースプロファイルおよびプリンタープロファイルを使用する場合に選択します。
2	RGBソースプロファイル	RGBソースプロファイルを選択します。
3	CMYKソースプロファイル	CMYKソースプロファイルを選択します。
4	デバイスカラーのみに適用	画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先します。
5	プリンタープロファイル	プリンタープロファイルを選択します。
6	レンダリングインテント	印刷時のカラースペース変換処理を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターのデフォルト：本機に設定されたデフォルトプロファイルに従って、カラースペース変換が行われます。 • 知覚的：写真画像に適しています。 • 相対的：[知覚的] よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。 • 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックスに適しています。 • 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。
7	カスタムRGBプロファイル	カスタムRGBプロファイルを使用する場合に選択します。
8	[標準に戻す]	[カラープロファイル] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。
9	[更新]	クリックすると、本機に設定された最新のカラープロファイル情報を取得し、情報を更新します。本機と双方向通信できる場合のみ有効です。

注意

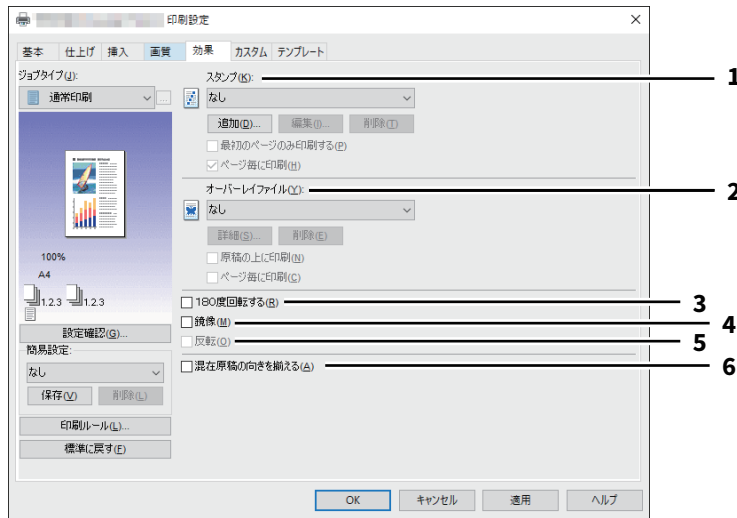
RGBソースプロファイル、CMYKソースプロファイル、プリンタープロファイル、およびレンダリングインテントの初期設定では、[プリンターのデフォルト] が選択されています。[プリンターのデフォルト] を選択した場合は、本機に設定されたデフォルトプロファイル (TopAccess管理者設定の [セットアップ] メニューにある [ICCプロファイル] サブメニューで、デフォルトプロファイルに設定されたプロファイル) に従って、カラースペース変換が行われます。

■ [効果] タブ

印刷ジョブの体裁をより整える設定を行います。

📖 P.121 「スタンプ」

📖 P.123 「オーバーレイファイル」



	項目名	機能説明
1	スタンプ	使用または編集するスタンプを選択します。プリンタードライバには、標準で [極秘] [社外秘] [ドラフト] [オリジナル] [コピー] [日付と時刻] のスタンプが登録されています。また、新たに作成したスタンプを最大14個まで保存することもできます。
	<ul style="list-style-type: none"> • [追加] 新しいスタンプを作成します。[追加] をクリックすると [スタンプ] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.121 「スタンプ」 • [編集] [スタンプ] ボックスで選択したスタンプを編集します。[追加] をクリックすると [スタンプ] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.121 「スタンプ」 • [削除] [スタンプ] ボックスで選択したスタンプを削除します。 <p>注意</p> <p>標準で登録されているスタンプも削除することができます。ただし、削除した場合、元に戻すことはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最初のページのみ印刷する 選択したスタンプを文書の最初のページにのみ印刷します。 • ページ毎に印刷 スタンプを各ページに印刷します。ページ集約印刷時は、縮小された各ページにスタンプを印刷します。ページ集約印刷時にスタンプを用紙に印刷する場合は、この機能をオフにします。 	

	項目名	機能説明
2	オーバーレイファイル	文書にオーバーレイファイルを印刷します。スタンプはテキストのみですが、この機能は印刷文書の背面にグラフィックスなどのイメージを印刷することができます。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ページ集約印刷時にオーバーレイファイルを選択した場合は、1ページのレイアウトに対してオーバーレイファイルが印刷されます。 オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。 <p>補足</p> <p>印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するときは、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。オーバーレイファイルを作成するには、[ジョブタイプ] で [オーバーレイファイルで保存] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [詳細] 偶数と奇数ページでオーバーレイファイルの種類を変えたり、指定したページにだけオーバーレイファイルを使用したい場合など、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。 [オーバーレイファイル] ボックスで [マルチオーバーレイ] を選択しているときにクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。 P.57 「マルチオーバーレイ」 [削除] [オーバーレイファイル] ボックスで選択したオーバーレイファイルを削除します。 <p>注意</p> <p>[なし]、[マルチオーバーレイ] は削除できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿の上に印刷 印刷文書に重ねてオーバーレイファイルを印刷します。 ページ毎に印刷 ページ集約や製本で複数のページを1枚の用紙に印刷する際に、オーバーレイファイルを各ページに印刷します。 	
3	180度回転する	ページ全体を180度回転させて印刷します。
	<p>注意</p> <p>[180度回転する] と [混合原稿の向きを揃える] を同時に使用することはできません。</p>	
4	鏡像	ページ全体を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Universal Printer 2 (PostScript) 	
5	反転	白黒反転させて印刷します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、[基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] を選択した場合のみ有効です。 この機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> - Universal Printer 2 (PostScript) - Universal PS3 	

	項目名	機能説明
6	混在原稿の向きを揃える	<p>原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合に、印刷結果の縦横の向きをそろえることができます。</p> <p>原稿が以下の組み合わせの場合にチェックボックスをオンにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き • A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き • LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き • LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き • B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き • B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き • 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き • 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き <p>注意</p> <p>[180度回転する] を選択している場合は、この機能は無効です。</p>

□ スタンプ

[追加] または [編集] をクリックすると、「スタンプ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、スタンプの新規作成や既存のスタンプの編集をします。



項目名	機能説明
1	スタンプ名 新規作成または編集するスタンプの名前を入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。入力したスタンプ名は、[効果] 画面の [スタンプ] から選択できるようになります。
2	文字 スタンプの種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • テキスト：任意のテキストをスタンプにする場合に選択して、スタンプテキストを入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。 • 日付と時刻：印刷開始時の日時をスタンプにする場合に選択します。 • 動的スタンプ：日付と日時の表示形式を変更する場合に選択します。[動的スタンプ] を選択して、表示された [動的スタンプの編集] 画面から複数の表示形式を組み合わせる表示させることができます。 P.122 「動的スタンプの編集」 <p>補足</p> <p>「動的スタンプの編集」画面は、 をクリックして表示させることもできます。</p> <p>注意</p> <p>文字数が多いとスタンプが正しく印刷できない場合があります。</p>
3	フォント名 スタンプテキストのフォントを選択します。
4	スタイル スタンプテキストのスタイルを選択します。
5	フォントサイズ スタンプテキストのフォントサイズを指定します。 6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。
6	色 スタンプテキストの色を選択します。ボックスに希望する色がない場合は、[その他] をクリックして新たな色を追加します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。 • [基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] を選択している場合は、この機能は無効です。
7	位置 スタンプの位置を調整します。
8	角度 スタンプテキストの回転角度を指定します。 -90~90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

	項目名	機能説明
9	標準	スタンプを指定した色で塗りつぶして印刷します。
10	中抜け	スタンプを中抜きのフォントスタイルで印刷します。
11	透過	スタンプが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。 透過率は、0～100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。
12	[標準に戻す]	「スタンプ」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

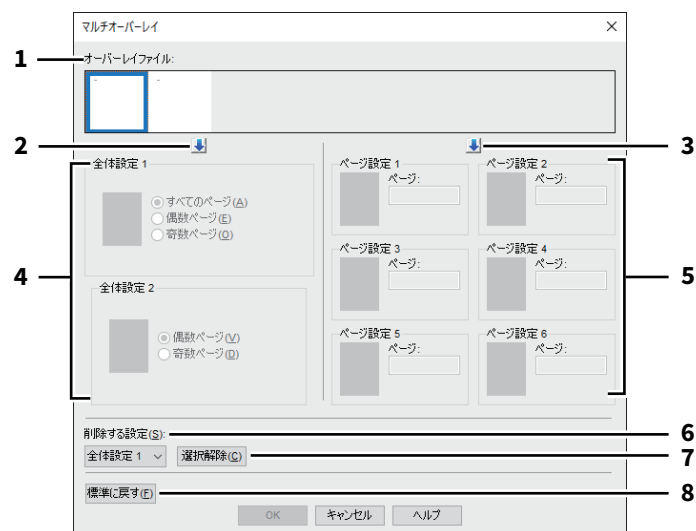
□ 動的スタンプの編集



	項目名	機能説明
1	テキストボックス	選択された日付と日時の表示形式を表示します。（最大256文字）
2	リストボックス	使用できる形式の一覧を表示します。
3	追加	リストボックスから表示形式を選択して [追加] をクリックすることでテキストボックスに表示します。表示形式の選択と追加を繰り返し行うことで、複数の表示形式をつなげた日付と時刻のスタンプを作成できます。
	補足	[追加] をクリックする代わりに、リストボックスの表示形式をダブルクリックでテキストボックスに表示させることができます。
4	プレビュー	印刷するスタンプのサンプルを表示します。

□ オーバーレイファイル

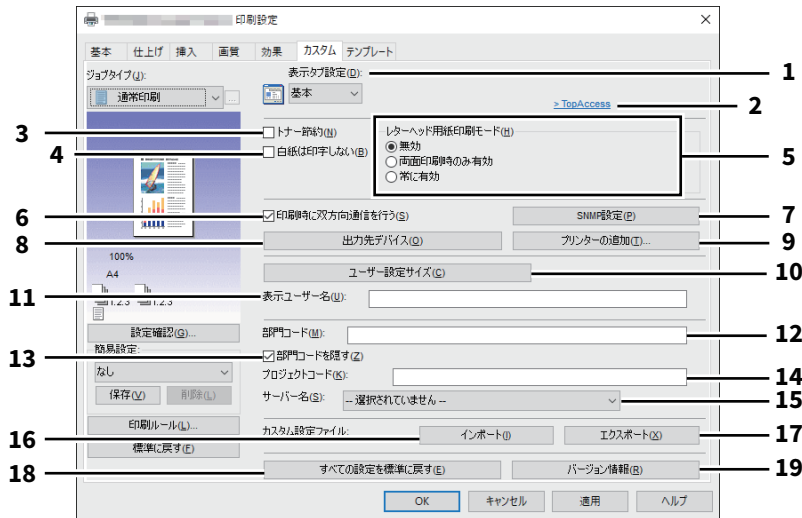
どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。



	項目名	機能説明
1	オーバーレイファイル	登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。
	補足	オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1-6）にドラッグアンドドロップして、直接設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。
2	[↓]（全体設定）	選択したオーバーレイファイルを、[全体設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[全体設定 1] → [全体設定 2] の順に設定します。
3	[↓]（ページ設定）	選択したオーバーレイファイルを、[ページ設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[ページ設定 1] → [ページ設定 2] …… → [ページ設定 6] の順に設定します。
4	全体設定 1/2	選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> 複数の全体設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、[すべてのページ] の設定よりも、[偶数ページ] / [奇数ページ] の設定が優先されます。 [全体設定] と [ページ設定] で設定内容が重複した場合、[ページ設定] の設定が優先されます。
5	ページ設定 1/2/3/4/5/6	選択したオーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初のページと最後のページを「-」でつなぎます。
	注意	複数のページ設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。
6	削除する設定	削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。
7	[選択解除]	[削除する設定] ボックスで選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。
8	[標準に戻す]	「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

■ [カスタム] タブ

表示タブ設定やトナー節約、白紙は印字しない、ユーザー設定サイズなど、特殊な機能について設定します。

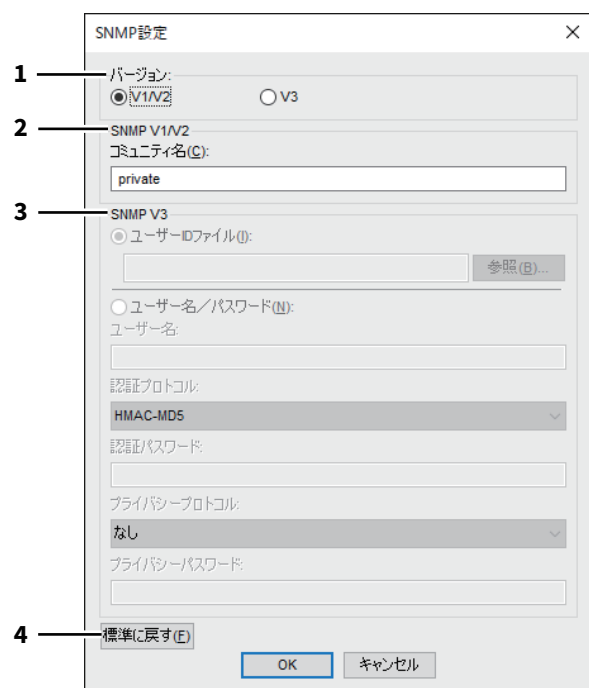


項目名	機能説明
1 表示タブ設定	プリンタードライバーを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。
注意 アプリケーションの印刷設定から [カスタム] タブを開いて設定した場合、設定はプリンタードライバーを閉じると消去され初期設定に戻ります。設定を保持したい場合はプリンターフォルダーからプリンタードライバーの設定をしてください。	
2 TopAccess (リンク)	クリックすると、Webブラウザを起動してTopAccessを表示します。
3 トナー節約	トナー節約モードで印刷します。
注意 トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。	
4 白紙は印字しない	印刷原稿の白紙ページを印刷しません。 スタンプが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。 ヘッダーやフッターを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。
5 レターヘッド用紙印刷モード	片面にイラストが印刷されている用紙を、表と裏を使い分けて印刷を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効：レターヘッド用紙印刷モードを無効にします。 • 両面印刷時のみ有効：両面印刷の場合のみ、レターヘッド用紙印刷モードで印刷します。 • 常に有効：片面および両面印刷のいずれの場合もレターヘッド用紙印刷モードで印刷します。
注意 [常に有効] に設定した場合、印刷速度が遅くなる場合があります。	
6 印刷時に双方向通信を行う	印刷時に本機との双方向通信を行い、情報を取得します。

	項目名	機能説明
7	[SNMP設定]	SNMP設定の変更または確認を行います。 📖 P.127 「SNMP設定」
	注意 [SNMP設定] は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定できません。	
8	[出力先デバイス]	印刷に使用する機体を変更したり、1つの印刷ジョブを2台の機体に分散させて印刷（タンデム印刷）することができます。 📖 P.130 「出力先デバイス（タンデム印刷）」
9	[プリンターの追加]	ネットワーク上にあるe-STUDIO Seriesの機体を検索して、[プリンター]に追加することができます。 📖 P.128 「プリンターの追加」
10	[ユーザー設定サイズ]	ユーザー設定サイズを定義します。 📖 P.129 「ユーザー設定サイズ」
	注意 <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザー設定サイズ] は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定できません。 • [ユーザー設定サイズ] は、管理者権限で操作する場合のみ設定が可能です。 	
11	表示ユーザー名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧やホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザー名を入力します。
	補足 <ul style="list-style-type: none"> • [表示ユーザー名] の初期設定は、コンピューターのログインユーザー名です。[表示ユーザー名] を入力しない場合は、ログインユーザー名がプライベート印刷ジョブ一覧／ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。 • [表示ユーザー名] は、プライベート印刷ジョブ一覧およびホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピューターのログインユーザー名が表示されます。 	
12	部門コード	ユーザーの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
13	部門コードを隠す	部門コードを伏せ字で表示します。
14	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。使用するプロジェクトコードについては、管理者にお問い合わせください。
15	サーバー名	必要に応じて指定したいLDAPサーバーを選択します。LDAPサーバーは、[デバイス設定] タブから [アカウント設定] > [LDAPサーバー設定] ダイアログボックスを開いて設定します。 📖 P.131 「[デバイス設定] タブ」

	項目名	機能説明
16	[インポート]	<p>テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザー設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をプリンタードライバーにインポートします。</p> <p>インポート方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インポート] をクリックします。 • 「ファイルを指定」ダイアログボックスが表示されますので、インポートするファイル (*.cfu : Universal Printer 2、*.cfp : Universal PS3) を選択し、[開く] をクリックします。 • ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。
	<p>注意</p> <p>[インポート] は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。</p>	
17	[エクスポート]	<p>テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザー設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をエクスポートします。</p> <p>エクスポート方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • [エクスポート] をクリックします。 • 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、保存先とファイル名を指定し、[保存] をクリックします。
	<p>注意</p> <p>[エクスポート] は、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。</p>	
18	[すべての設定を標準に戻す]	[デバイス設定] タブを除くすべてのタブの印刷設定を初期設定に戻します。
	<p>注意</p> <p>[デバイス設定] タブを変更するには、プリンターフォルダーから管理者権限で操作する必要があります。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。</p> <p>📖 P.131 「[デバイス設定] タブ」</p>	
19	[バージョン情報]	クリックすると、プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

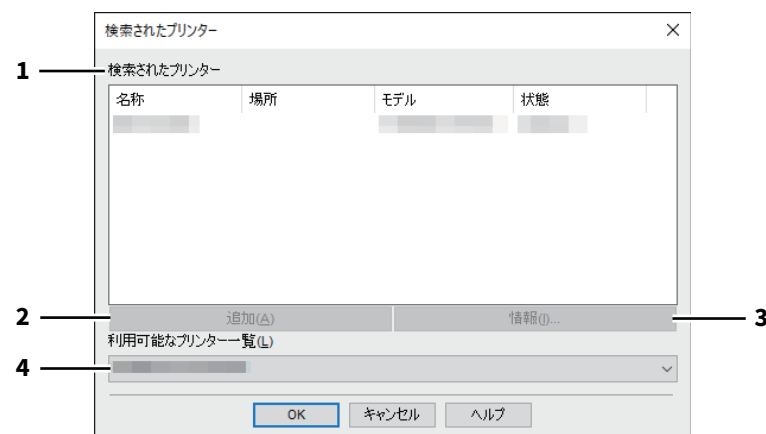
□ SNMP設定



	項目名	機能説明
1	バージョン	<p>お使いの弊社複合機に設定されているSNMPバージョンを確認し、以下の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • V1/V2 : SNMPV1およびV2を有効にします。 • V3 : SNMPV3を有効にします。 • V1/V2/V3 (「検索設定」ダイアログボックスのみ) : SNMPV1、V2、およびV3を有効にします。
2	SNMP V1/V2	<p>コミュニティ名 : お使いの弊社複合機に「private」(初期設定)以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合に、コミュニティ名を変更します。</p>
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPV1/V2環境下でお使いの弊社複合機を検出するには、複合機に設定されているSNMPコミュニティ名を正しく指定することが必要です。詳しくは、管理者にお問い合わせください。 • コミュニティ名を変更するには、管理者の権限が必要です。Administrators (管理者) でログインし、プリンタードライバーのプロパティを開く必要があります。

	項目名	機能説明
3	SNMP V3	<p>SNMP V3を有効にした場合、以下の項目を選択して認証方法を設定します。</p> <p>ユーザー IDファイル：ユーザー IDファイルでの認証を行います。[参照]をクリックしてユーザー IDファイルを指定してください。</p> <p>ユーザー名/パスワード：ユーザー名およびパスワードでの認証を行います。この認証方法を使用する場合は、以下の項目を入力または選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名 • 認証プロトコル • 認証パスワード • プライバシープロトコル • プライバシーパスワード
	注意	SNMP V3を有効にする場合は、事前にネットワーク管理者から認証方法についての確認を行ってください。
4	[標準に戻す]	クリックすると、設定値をすべてリセットして初期設定に戻します。

□ プリンターの追加



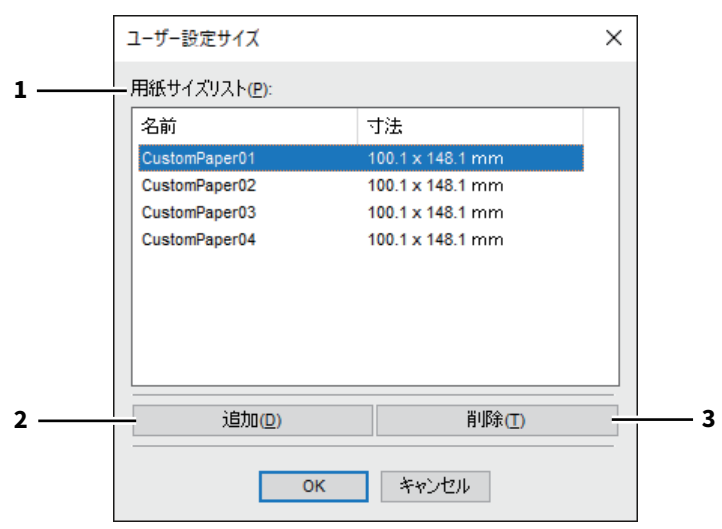
	項目名	機能説明
1	検索されたプリンター	ネットワーク上で検索されたe-STUDIO Seriesの機体が表示されます。名称、設置場所、モデル名、状態を確認することができます。
2	[追加]	[検索されたプリンター] で選択したプリンターを、プリンターフォルダーに追加します。
3	[情報]	[検索されたプリンター] で選択したプリンターの基本情報を表示します。カラー印刷機能の有無、両面印刷機能の有無、ホチキス機能の有無、印刷速度、解像度、およびセットされている用紙の種類を確認することができます。
4	利用可能なプリンター一覧	プリンターフォルダーに登録されているe-STUDIO Seriesのプリンターが表示されます。

□ ユーザー設定サイズ

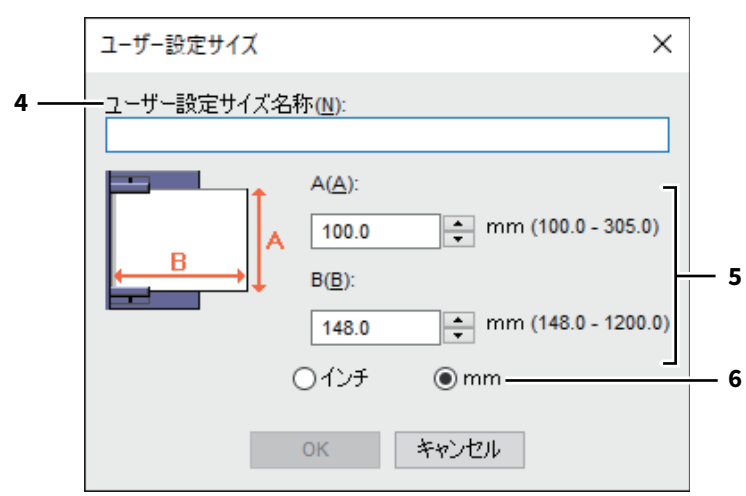
カスタムサイズの用紙を設定します。
 ここで定義したユーザー設定サイズは、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] で選択できます。

補足

定義したユーザー設定サイズの設定は、Universal Printer 2 (PCL6) / Universal PS3 プリンタードライバーの間で共用できます。



「ユーザー設定サイズ」ダイアログボックス



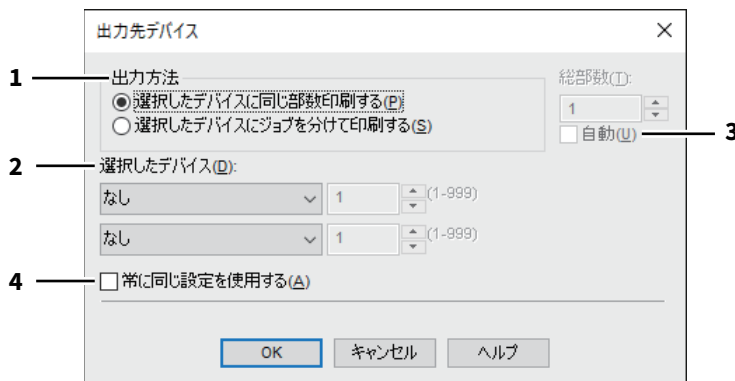
項目名	機能説明
1 用紙サイズリスト	定義するユーザー設定サイズ名称を選択します。
2 [追加]	クリックすると、「ユーザー設定サイズ」ダイアログボックスが表示されます。
3 [削除]	[用紙サイズリスト] で選択したユーザー設定サイズを削除し、初期設定の状態に戻します。
4 ユーザー設定サイズ名称	ユーザー設定サイズの名称を入力します。ここで設定した名前が、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] に表示されます。
5 用紙寸法	用紙の横幅 (A) および縦幅 (B) を指定します。
6 単位	用紙寸法の単位を切り替えます。

注意

- 横幅 (A) または縦幅 (B) いずれかは、定形サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。横幅 (A) と縦幅 (B) いずれも定形サイズとの差異が7 mm未満だった場合、定形サイズとして扱われます。
- 横幅 (A) が縦幅 (B) よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを [横] に変更して印刷してください。

□ 出力先デバイス (タンデム印刷)

この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。



項目名	機能説明
1 出力方法	[選択したデバイスに同じ部数印刷する] または [選択したデバイスにジョブを分けて印刷する] のいずれかを指定します。
2 選択したデバイス	印刷に使用したいプリンターを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [選択したデバイス] でプリンターを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンターを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ホチキス印刷を行う場合は、ホチキス機能が搭載されたプリンターを選択してください。 - パンチ印刷を行う場合は、パンチ機能が搭載されたプリンターを選択してください。 - 大容量給紙装置から印刷を行う場合は、大容量給紙装置が装着されたプリンターを選択してください。 - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンターを選択してください。 • [選択したデバイス] で選択できるプリンターは、プリンターフォルダーに登録されたプリンターの中から選択する必要があります。[カスタム] タブにある [プリンターの追加] を使うと、プリンタードライバー上からプリンターを追加することができます。 <small>📖 P.128 「プリンターの追加」</small> 	
3 自動	チェックボックスをオンにすると、[総部数] に設定した印刷部数が、選択したプリンターで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。
4 常に同じ設定を使用する	チェックボックスをオンにすると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」ダイアログボックスによる出力先の設定を省略することができます。

注意

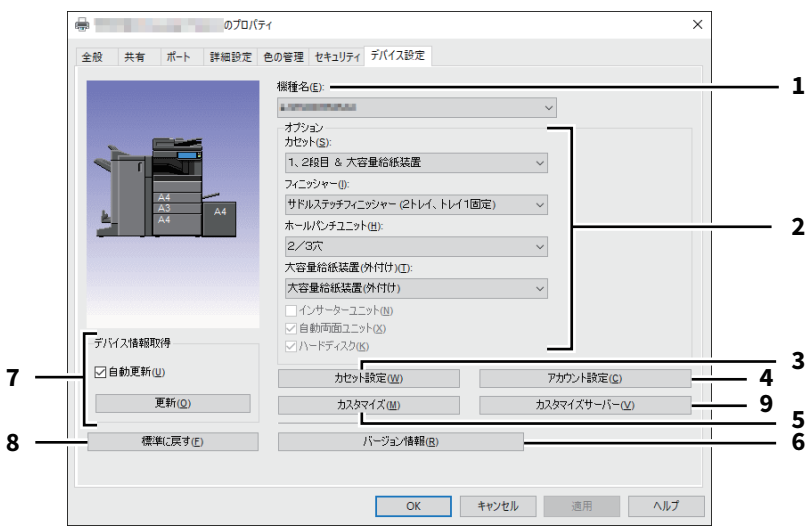
- 選択したプリンターが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われ
ない場合があります。
- 印刷時、選択したプリンターに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コー
ド] に設定した部門コードが選択したプリンターで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管
理は行われません。

■ [デバイス設定] タブ

本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。装着されたオプション機器を使用するには、[デ
バイス設定] タブでオプション構成を設定する必要があります。

注意

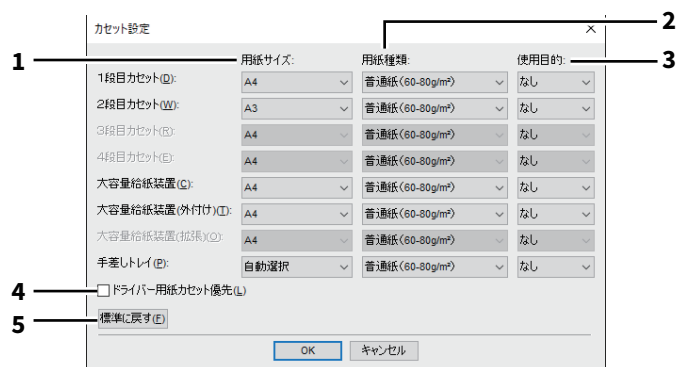
[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダーからプリンタードライバーのプロパティを表示
した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタードライバー
のプロパティを表示した場合は、設定できません。



項目名	機能説明
1 機種名	お使いになる機体のモデル名を選択します。
注意	[共通] を選択すると、プリンタードライバー上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタードライバーを、e-STUDIO Seriesの他機種でも利用したい場合などに便利です。
2 オプション	装着されているオプション機器を選択します。
3 [カセット設定]	各カセットの用紙サイズ、用紙種類、使用目的を設定します。 P.132 「カセット設定」
4 [アカウント設定]	ユーザー認証の有効/無効、およびプライベート/ホールド印刷限定機能を設定します。 P.133 「アカウント設定」
5 [カスタマイズ]	PCL6やPostScript固有の機能を設定したり、プラグイン設定やプリンタードライバーの表示言語を変更することができます。 P.135 「カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ」 P.136 「カスタマイズ設定：[言語] タブ」 P.137 「カスタマイズ設定：[プリンター言語設定] タブ」 P.138 「カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ」

	項目名	機能説明
6	[バージョン情報]	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。
7	デバイス情報取得	本機と双方向通信を行い、オプション構成の情報を取得します。 自動更新 チェックボックスをオンにすると、プリンタードライバーの [デバイス設定] タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。 [更新] 本機からシステム構成の情報を直ちに取得し、情報を更新します。
	補 足	<ul style="list-style-type: none"> 本機と双方向通信ができない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、「プリンターのアドレスが不明です。検索しますか?」というメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、「ローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。本機を検索すると、双方向通信によるオプション構成の取得が可能となります。 本機とお使いのコンピューターが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。
8	[標準に戻す]	[デバイス設定] タブで表示されている本機の構成を、初期設定に戻します。
9	[カスタマイズサーバー]	カスタマイズした印刷機能の設定を、カスタマイズサーバーからダウンロードして適用します。
	補 足	<ul style="list-style-type: none"> 事前にカスタマイズパッケージを生成し、カスタマイズサーバーに保存しておく必要があります。 カスタマイズサーバーの設定についての詳細は、サービスエンジニアにお問い合わせください。

□ カセット設定

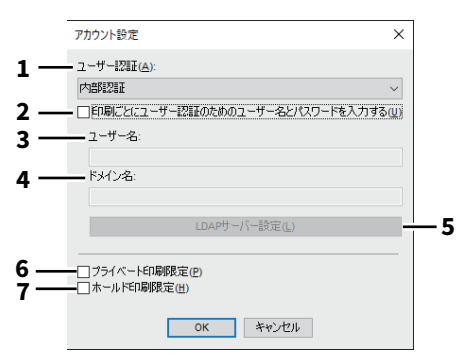


	項目名	機能説明
1	用紙サイズ	各カセットにセットされている用紙サイズを選択します。
2	用紙種類	各カセットにセットされている用紙の用紙種類を選択します。
3	使用目的	各カセットにセットされている用紙の使用目的を選択します。使用目的を選択すると、印刷設定に従って、設定した使用目的のカセットを優先的に使用します。
4	ドライバー用紙カセット優先	アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタードライバーの給紙元設定を優先して使用します。
5	[標準に戻す]	[カセット設定] ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

□ アカウント設定

補足

本機との双方向通信が有効な場合、下記アカウント情報は本機から自動的に取得され、「アカウント設定」ダイアログボックスに表示されます。

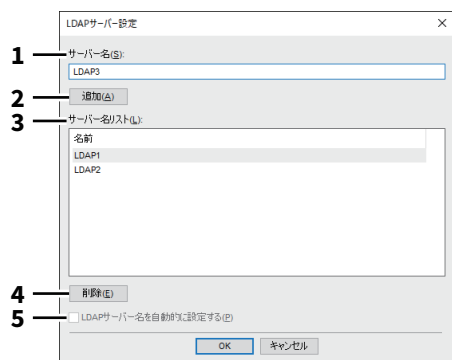


項目名	機能説明
1 ユーザー認証	ユーザー認証機能の設定状況を選択します。お使いの弊社複合機の設定に合わせてください。
2 印刷ごとにユーザー認証のためのユーザー名とパスワードを入力する	印刷を実行する際にユーザー名とパスワードの入力が必要となります。 [ユーザー認証] ボックスでいずれかのユーザー認証機能を選択した場合に有効です。
補足 このオプションは、すべてのユーザー認証機能（内部認証、Windowsドメイン認証、LDAP認証）と組み合わせて使用できます。	
3 ユーザー名	コンピューターのログインユーザー名が表示されます。
4 ドメイン名	本機が属するドメイン名が表示されます。
5 LDAPサーバー設定	クリックすると [LDAPサーバー設定] ダイアログボックスが表示されます。このオプションは、[ユーザー認証] ボックスで [LDAP認証] を選択した場合に有効です。 📖 P.134 「LDAPサーバー設定」
6 プライベート印刷限定	プライベート印刷限定機能を有効にします。
7 ホールド印刷限定	ホールド印刷限定機能を有効にします。

補足

- プライベート印刷限定機能およびホールド印刷限定機能の詳細や設定については、以下の参照先をご覧ください。
TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリンター設定 - 一般設定
- [デバイス設定] タブでアカウント設定を変更した後、プリンターフォルダーから印刷設定を開いて設定の確認を行ってください。または、アプリケーションから印刷する際に印刷プロパティを開いて内容を確認してください。

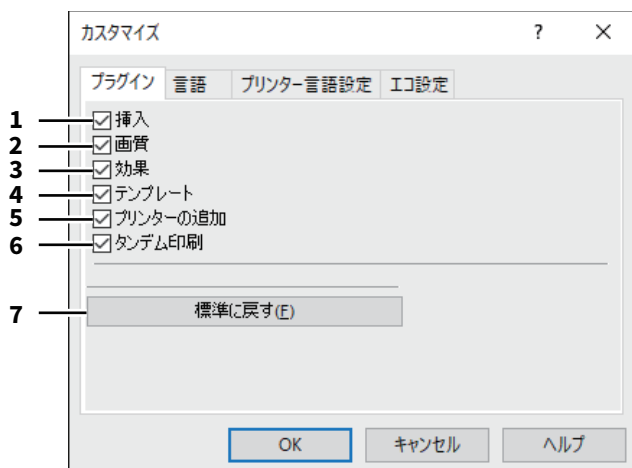
□ LDAPサーバー設定



	項目名	機能説明
1	サーバー名	任意のLDAPサーバーを指定する場合は、[サーバー名] ボックスにサーバー名を入力します。
2	[追加]	[サーバー名] ボックスに入力したLDAPサーバーを [サーバー名リスト] に登録します。
3	サーバー名リスト	登録されたLDAPサーバーが表示されます。
4	[削除]	サーバー名リストからLDAPサーバーを削除します。削除したいサーバーを選択し、このボタンをクリックしてください。
5	サーバー名を自動的に設定する	登録されているLDAPサーバーが1つのときに選択できます。この設定を有効にすると認証サーバーを自動的に設定できます。また印刷時の [LDAPサーバー選択] ダイアログボックスは表示されません。

□ カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ

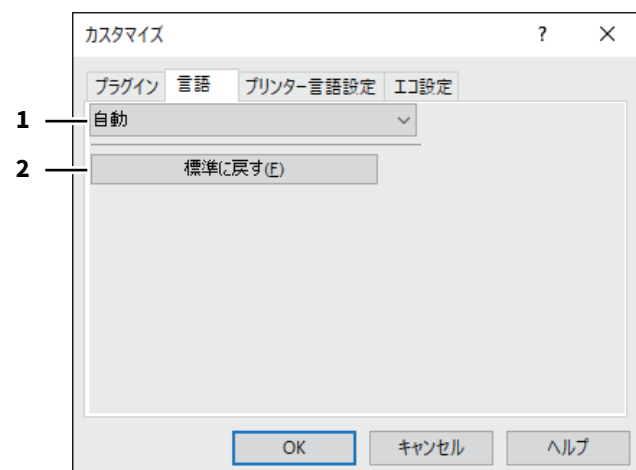
プラグイン設定の有効／無効を切り替えることができます。



	項目名	機能説明
1	挿入	[挿入] タブを有効にします。 📖 P.104 「[挿入] タブ」
2	画質	[画質] タブを有効にします。 📖 P.109 「[画質] タブ」
3	効果	[効果] タブを有効にします。 📖 P.118 「[効果] タブ」
4	テンプレート	[テンプレート] タブを有効にします。 📖 P.139 「[テンプレート] タブ」
5	プリンターの追加	[カスタム] タブの [プリンターの追加] 設定を有効にします。 📖 P.124 「[カスタム] タブ」 📖 P.128 「プリンターの追加」
6	タンデム印刷	[カスタム] タブの [出力先デバイス] 設定を有効にします。 📖 P.124 「[カスタム] タブ」
7	[標準に戻す]	[プラグイン] タブで表示されている設定を、初期設定の状態に戻します。

□ カスタマイズ設定：[言語] タブ

プリンタードライバーの表示言語を切り替えます。



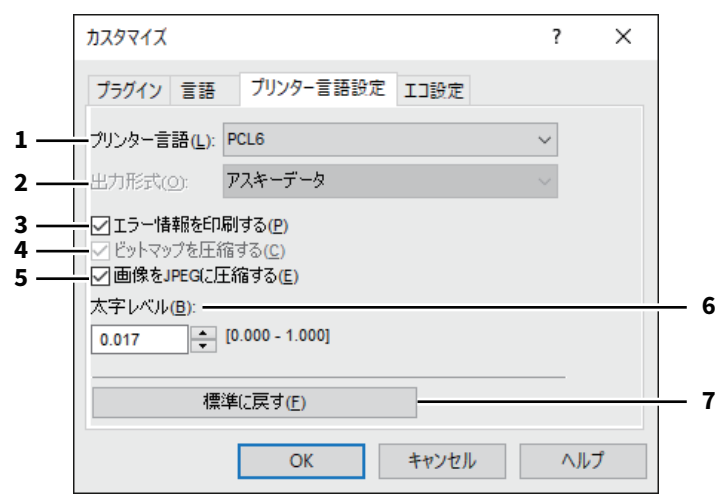
	項目名	機能説明
1	言語	お使いになる言語を選択します。
	補 足 初期値は [自動] に設定されています。[自動] は、Windowsの地域の設定から最適な言語を自動的に判別して表示します。	
2	[標準に戻す]	[言語] タブで表示されている設定を初期設定に戻します。

□ カスタマイズ設定：[プリンター言語設定] タブ

注意

プリンター言語設定機能は、以下のプリンタードライバーをお使いになる場合のみ有効です。

- Universal Printer 2
- Universal PS3

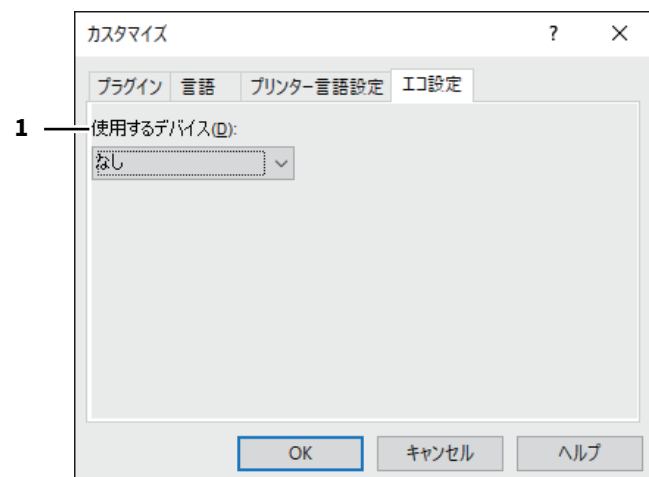


	項目名	機能説明
1	プリンター言語	印刷に使用するPDLを選択します。Universal Printer 2プリンタードライバーを使用している場合のみ、設定を変更することができます。Universal PS3プリンタードライバーを使用している場合は [PostScript] に固定となります。
	注意	Universal Printer 2プリンタードライバーで [PostScript] を選択した場合は、アプリケーションからのPostScriptパススルー出力による印刷はできません。PostScriptはGDIを経由して生成されるので、RGBカラースペース限定となります。Adobe IllustratorなどPostScriptを直接生成できるアプリケーションからパススルー印刷を行いたい場合は、Universal PS3プリンタードライバーを使用してください。
2	出力形式	PostScript印刷の出力形式を選択します。[プリンター言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
	注意	EPS形式は、通常は文書に取り込むための画像を作成する場合に使用する形式です。[Encapsulated PostScript (EPS) 形式] を選択すると、文書の1ページのみしか印刷されません。
3	エラー情報を印刷する	印刷中に発生したPostScriptエラー情報を出力します。[プリンター言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
4	ビットマップを圧縮する	圧縮したビットマップデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタードライバーをお使いで、[プリンター言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
5	画像をJPEGに圧縮する	圧縮したJPEGデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタードライバーをお使いで、[プリンター言語] で [PCL6] を選択した場合のみ設定を変更することができます。
6	太字レベル	文字の太さを調整します。初期設定は、「0.017」です。
	注意	お使いのフォントによっては、出力結果に正しく反映されない場合があります。

	項目名	機能説明
7	[標準に戻す]	[プリンター言語設定] タブで表示されている設定を、初期設定に戻します。

□ カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ

用紙を節約するために出力先のデバイスを切り替えます。



	項目名	機能説明
1	使用するデバイス	用紙を節約するために使用する出力先のデバイスを選択します。

注意

- 使用するデバイスはプリントサーバーまたはクライアントコンピューターに追加しておく必要があります。
- 使用するデバイスをプリントサーバーに追加する場合は、追加するデバイスを共有する必要があります。または、追加するデバイスのプロパティ画面から [セキュリティ] タブを選択し、[このプリンターの管理] を許可してください。
- [出力先デバイス] 画面で [選択したデバイス] としてデバイスが選択されている場合、印刷時にデバイスの切り替え画面は表示されません。
- 使用するデバイスが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われないう場合があります。
- 印刷時、使用するデバイスに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード] に設定した部門コードが使用するデバイスで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

補足

本機能は出力先のデバイスを切り替えるものであり、印刷時には、ジョブを送信したプリンタードライバーの印刷設定とプリンター言語設定が使用されます。

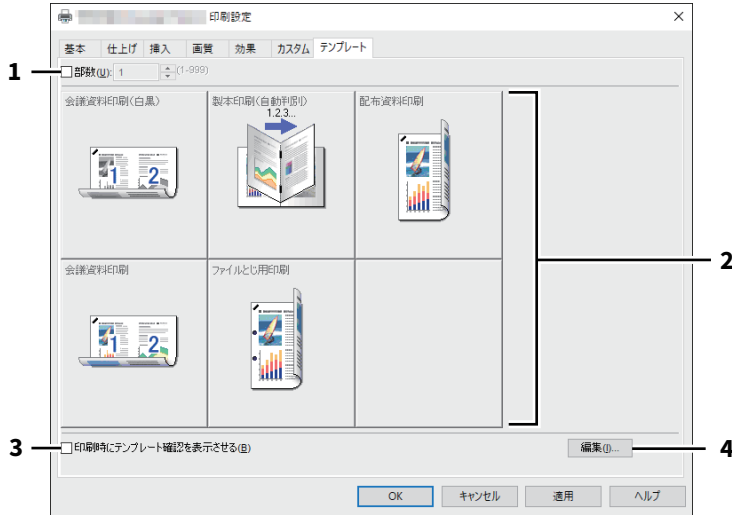
■ [テンプレート] タブ

よく使う印刷設定などを簡易設定として登録しておくことができます。

補足

テンプレートボタンを利用するには、簡易設定の登録が必要です。

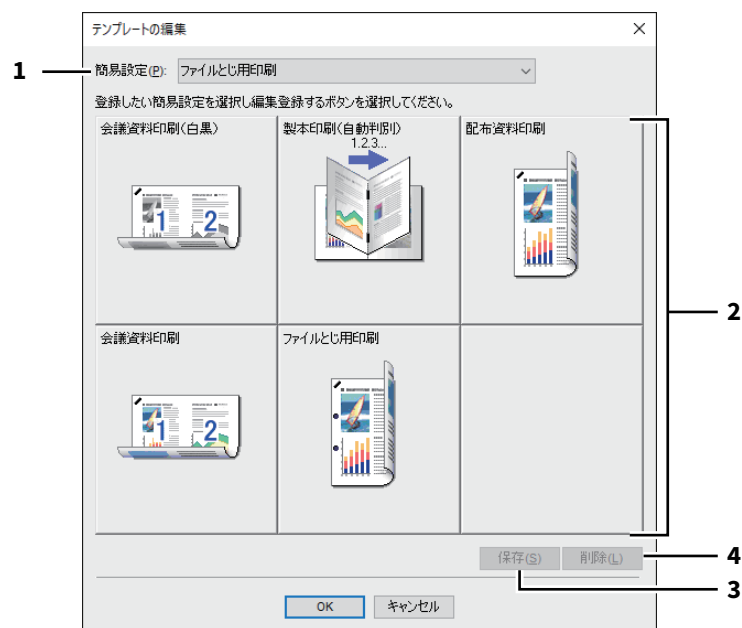
📖 P.75 「簡易設定を保存する」



	項目名	機能説明
1	部数	印刷部数を指定します。
2	テンプレートボタン	クリックすると、ボタンに割り当てられた簡易設定がプリンタードライバの各設定に反映されます。
3	印刷時にテンプレート確認を表示させる	印刷の実行時に「テンプレート」ダイアログボックスが自動的に表示されるようになります。
4	[編集]	テンプレートボタンを編集します。 📖 P.140 「テンプレートの編集」

□ テンプレートの編集

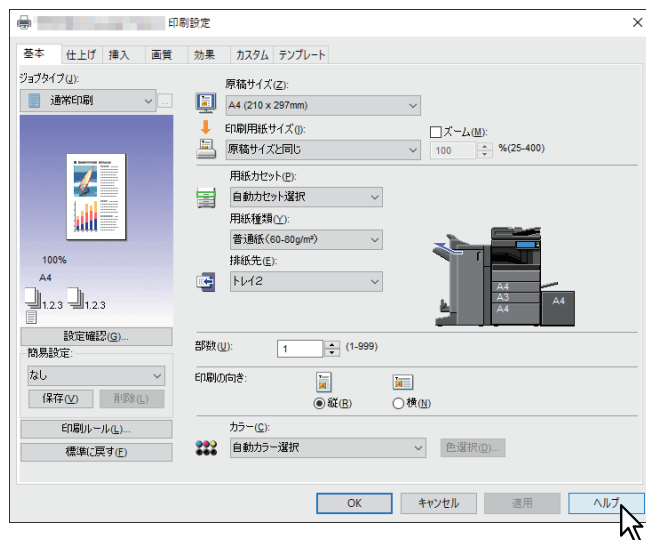
テンプレートボタンの設定内容を編集します。



	項目名	機能説明
1	簡易設定	テンプレートボタンに割り当てる簡易設定を選択します。
2	テンプレートボタン	編集するテンプレートボタンを選択します。
3	[保存]	選択した簡易設定を、選択したテンプレートボタンに割り当てます。
4	[削除]	選択したテンプレートボタンの設定内容を削除します。
	注意	[削除] をクリックしても、簡易設定の登録内容は削除されません。

■ プリンタードライバーヘルプについて

プリンタードライバー画面で [ヘルプ] ボタンをクリックすると、プリンタードライバーのヘルプが表示されます。



macOSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順	145
印刷方法	145
部門コードやユーザー名の入力が必要なときは	146
用紙や倍率に関する設定	147
定形用紙を選ぶ	147
さまざまな用紙を使って印刷する	150
拡大、縮小する	153
印刷の向きを変える	154
排紙先を選択する	155
レイアウトや仕上がりに関する設定	156
1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）	156
両面印刷する	157
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）	158
複数ページを1枚の用紙に印刷する	159
ページの順番を逆にして印刷する	160
奇数（または偶数）ページのみを印刷する	160
ホチキス留めにする	161
パンチ穴を開ける	163
用紙の中央で中折りして印刷する	164
節約に関する機能	165
両面印刷する	165
複数ページを1枚の用紙に印刷する	165
白紙は印刷しないようにする	165
トナーを節約する	166
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	167
表紙および裏表紙を挿入する	167
バナーページを挿入する	168
色や画質に関する設定	169
印刷色を指定する	169
印刷時の版ズレを防ぐ	172
原稿に合わせて画質を選択する	173
画質を調整したいときは	175
印刷内容を付加する機能	181
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）	181

本体にジョブを保存してから出力する	182
機密文書やサンプル印刷を設定する	182
本体のボックスに保存する（本体に保存）	183
印刷設定の保存	184
設定内容の確認/注意事項	185
印刷設定の内容や消耗品を確認する	185
注意事項について	185
プリンタードライバーの機能概要	186
プリンタードライバーの表示方法	186
「ページ設定」ダイアログボックス	186
「プリント」ダイアログボックス	187

基本的な印刷手順

PPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのmacOSのアプリケーションから印刷を行うことができます。詳細は以下の参照先をご覧ください。

インストール - プリンタードライバのインストール (macOS) - プリンターのインストール - Mac PPDファイルのインストール

注意

OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なる場合や利用できない機能があります。

印刷方法

すべてのプリンターはシステム環境設定のプリンターとファクスで管理されており、プリンターを印刷前に切り替える必要はありません。

プリンタリストにプリンターを追加すれば、「ページ設定」ダイアログボックスまたは「プリント」ダイアログボックスからすべてのプリンターを直接選択できます。

印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定します。

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションにより異なる場合があります。また、アプリケーションによっては [ファイル] メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [対象プリンタ] から本機を選択し、ページ設定を行います。



- 3 [OK] をクリックし、設定を保存します。
- 4 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 5 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションにより異なることがあります。

6 【プリント】 をクリックします。

補 足

【プリセット】 で【現在の設定をプリセットとして保存】 を選択し、設定内容に名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、【プリセット】 で使用するプリセットを選択します。

■ 部門コードやユーザー名の入力が必要なときは

本機が部門コードで管理されている場合、印刷時に部門コードを入力する必要があります。部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザーは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザーの印刷ジョブを確認できます。

補 足

- 部門コードおよびプロジェクトコードは1～63桁の英数字で指定します。プロジェクトコードについては、サービスエンジニアにお問い合わせください。
- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューの【部門コード】を選択して、右横のボックスに部門コードを入力します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】 をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 定形用紙を選ぶ

印刷目的に合わせて用紙を設定します。

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションにより異なることがあります。また、アプリケーションによっては「ファイル」メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

□ 用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 アプリケーションの「ファイル」メニューで「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。
- 2 「ページ属性」メニューの「用紙サイズ」で、使用する用紙のサイズを選択します。



- 8.5" SQ (8 1/2 × 8 1/2") 216 × 216 mm
- 8K (270 × 390 mm) 217 × 391mm
- 12 × 18"
- 13 × 19"
- 13" LG (8 1/2 × 13") 216 × 330 mm
- 16K (195 × 270 mm) 195 × 271 mm
- 305 × 457 mm
- 320 × 450 mm
- 320 × 460 mm
- A3 (297 × 420 mm)
- A4 (210 × 297 mm)
- A5 (148 × 210 mm)
- A6 (105 × 148 mm)
- Computer (10 1/8 × 14") 257 × 356 mm
- Folio (210 × 330 mm)
- JIS B4 (257 × 364 mm)
- JIS B5 (182 × 257 mm)
- Ledger (11 × 17")
- はがき (100 × 148 mm)
- ステートメント (5 1/2 × 8 1/2")
- リーガル (8 1/2 × 14") 279 × 432 mm
- レター (8 1/2 × 11")
- 封筒 #10 (4 1/8 × 9 1/2")
- 封筒 DL (110 × 220 mm)
- 封筒 モナーク (3 7/8 × 7 1/2")
- 封筒 洋形4号 (105 × 235 mm)
- 封筒 角形2号 (240 × 332 mm)
- 封筒 長形3号 (120 × 235 mm)

注意

- 以下の機種をお使いの場合は、[305 × 457 mm]、[12 × 18"]、[320 × 450 mm] および [320 × 460 mm] の使用はできません。
 - e-STUDIO2020AC/2021AC
 - e-STUDIO2528A/3528A/4528A
- 以下の機種をお使いの場合は、[320 × 450 mm] および [320 × 460 mm] で両面印刷はできません。
 - e-STUDIO2020AC/2021AC
 - e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC
 - e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A
- 設定できる項目は、お使いになる機種により異なります。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 5 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 給紙元を選択する

用紙の給紙元を選択します。はじめのページと残りのページに異なった給紙元を設定することもできます。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [給紙] メニューで給紙元を指定します。



すべてのページ：すべてのページに同じ給紙元を使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

補 足

OSのバージョンによっては、表示される画面が異なります。

先頭ページのみ／残りのページ：先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【用紙種類】ボックスで用紙種類を指定します。はじめのページと残りのページに異なった用紙種類を設定することもできます。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

- 郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【用紙サイズ】で【はがき】を選択し、【OK】をクリックします。



- 3 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 4 【仕上げ】メニューの【用紙種類】で【厚紙2】を選択します。

注意

e-STUDIO2528A/3528A/4528Aをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 5 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 7 はがきの下側（後端）を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。
- 8 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。
手差しトレイへのはがきセット方法の詳細、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備（e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series） - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - はがきを手差しトレイにセットする
用紙の準備（e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series） - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - はがきを手差しトレイにセットする
- 9 タッチパネルの【状況確認】を押します。
- 10 用紙種類の選択画面で、【厚紙2】を押します。

注意

e-STUDIO2528A/3528A/4528Aをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 11 【スタート】ボタンを押します。

□ カスタム用紙サイズを登録して印刷する

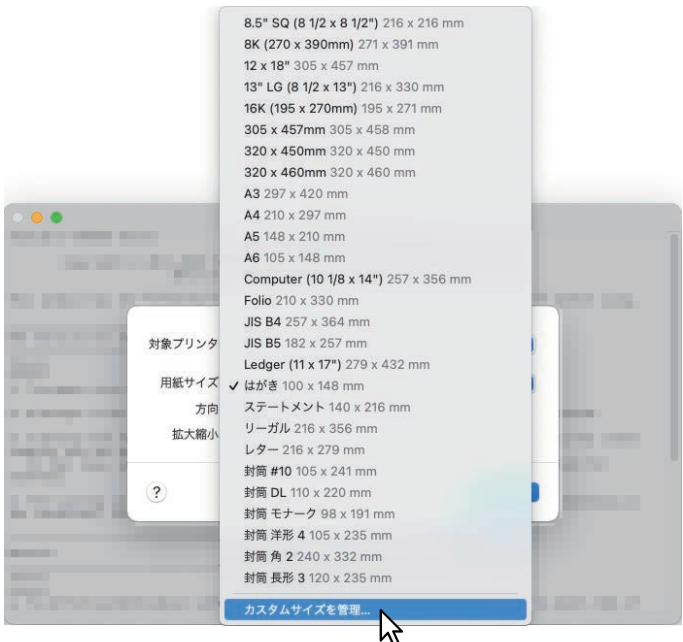
カスタムサイズの内紙を登録する方法を説明します。

注意

- 定形サイズより長いカスタムサイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - 非定形サイズの用紙を手差しトレイにセットする
用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - 手差しトレイに用紙をセットする - 非定形サイズの用紙を手差しトレイにセットする
- 設定できるカスタム用紙サイズについては、以下の参照先をご覧ください。
本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類

カスタム用紙サイズを作成する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [用紙サイズ] で [カスタムサイズを管理] を選択します。



3 [+] をクリックします。

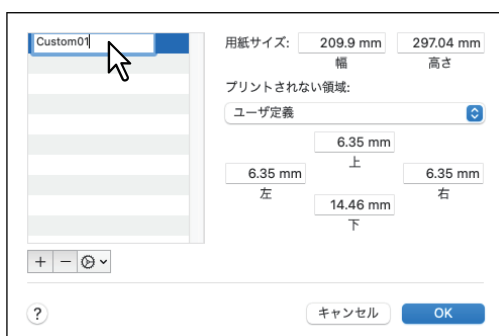


新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

補足

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、[複製] をクリックします。

4 追加されたカスタム用紙サイズ名をダブルクリックし、カスタム用紙サイズ名を変更します。



5 [プリントされない領域] メニューから本機のプリンター名を選択し、[用紙サイズ] ボックスに幅と高さを入力します。



補足

- OSのバージョンによっては、[用紙サイズ] に幅と高さを入力し、[プリントされない領域] で本機プリンター名を選択します。
- 余白設定は、[プリントされない領域] で本機プリンター名を選択したときに自動的に入力される値を使用してください。
- 作成したカスタム用紙サイズは、[-] をクリックすると削除することができます。

6 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定が保存され、[ページ属性] メニューの [用紙サイズ] で選択できるようになります。

📖 P.147 「用紙サイズを指定する」

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小します。倍率は手動で設定することもできます。

□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【用紙サイズに合わせる】を選択し、用紙サイズを選択します。



補足

文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷したいときは、【縮小のみ】を選択します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

拡大縮小の倍率を手動で設定します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【拡大縮小】の倍率を入力します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】をクリックします。
- 4 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 5 【プリンタ】から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【レイアウト】メニューの【ページの方向を反転】または【左右反転】を選択します。



【ページの方向を反転】をオンにすると、用紙の上端が本機のタッチパネル側に排紙されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【排出先】で排紙先を選択します。



排紙先

- **プリンターのデフォルト**：デフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンター設定ページにある「Raw印刷ジョブ_排紙トレイ」に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：上部の排紙トレイに排紙します。
- **横トレイ**：横排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイの上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイの下段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャーの上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャーの下段排紙トレイに排紙します。

注意

- 選択できる排紙先は、お使いになる機種、およびオプションの装着状態により異なります。
- フィニッシャーの種類によっては、指定した排出先でホチキスやパンチがされない場合があります。
- 出力先に【プリンターのデフォルト】を選んだ場合、本機の設定により、ホチキスやパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- 【トレイ1】および【トレイ2】は、フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャー装着時のみ有効です。
- 【横トレイ】は、フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャー未装着時のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

レイアウトや仕上がりに関する設定

■ 1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）

部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

注意

「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションにより異なることがあります。

□ 「用紙処理」メニューで丁合を設定する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【丁合い】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

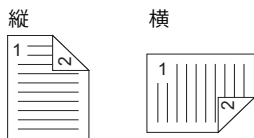
■ 両面印刷する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [レイアウト] メニューの [両面] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

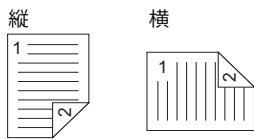


両面

- **長辺とじ**：用紙の長い辺をとじるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きにより異なります。



- **短辺とじ**：用紙の短い辺をとじるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きにより異なります。

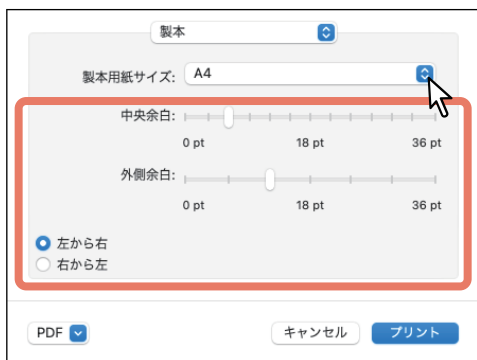


- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【製本】メニューで【製本用紙サイズ】から製本前の用紙サイズを選択します。
- 3 製本の詳細を設定します。



中央余白（036 pt）：見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。スクロールバーを使って3 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

外側余白（036 pt）：ページの上下左右の余白を選択します。スクロールバーを使って6 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

左から右/右から左：製本印刷の向きを選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 5 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトします（ページ集約印刷）。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【レイアウト】メニューを設定します。



ページ数/枚：複数ページを1枚の用紙に印刷します。指定した用紙サイズに収まるように自動的に縮小して印刷します。

- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- **4**：4ページを1枚の用紙に印刷します。
- **6**：6ページを1枚の用紙に印刷します。
- **9**：9ページを1枚の用紙に印刷します。
- **16**：16ページを1枚の用紙に印刷します。

レイアウト方向：ページをレイアウトする方向を設定します。【ページ/数】でページ集約印刷を選択したときに設定できます。

- **左上から右下へ（横方向優先）**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（横方向優先）**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **左上から右下へ（縦方向優先）**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（縦方向優先）**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

境界線：各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。

- **なし**：枠線を付けずにページ集約印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてページ集約印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてページ集約印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ページの順番を逆にして印刷する

逆順印刷を設定します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【ページの順序】で【逆送り】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 奇数（または偶数）ページのみを印刷する

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【プリントするページ】（または【プリント】）で【奇数ページのみ】または【偶数ページのみ】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

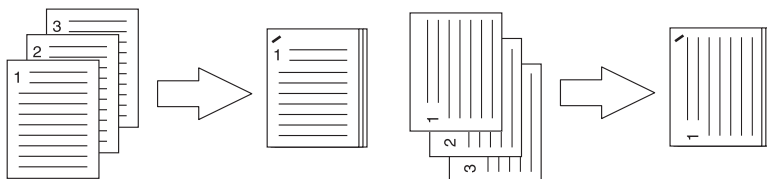
- ホチキス印刷は、フィニッシャー装着時のみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【ホチキス】でホチキス留めの位置を指定します。

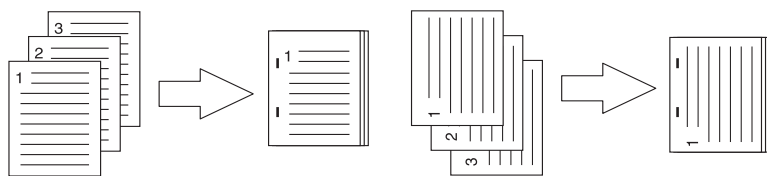


ホチキス

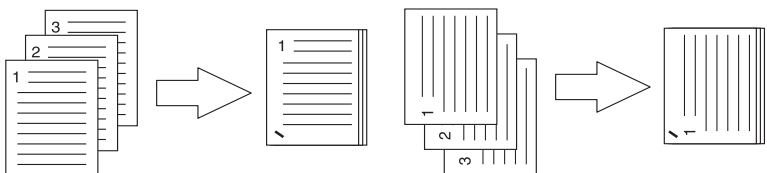
- **オフ**：ホチキス留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をホチキス留めします。または、横型文書の右上部をホチキス留めします。



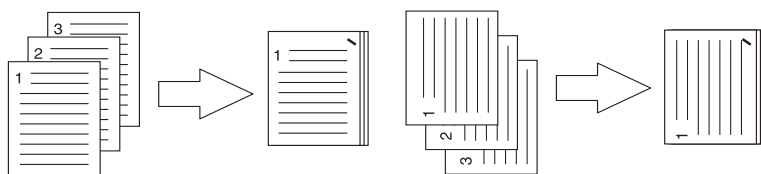
- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の上部を2か所ホチキス留めします。



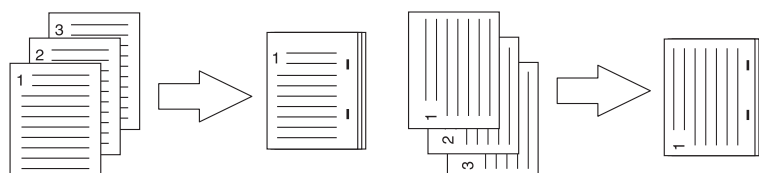
- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をホチキス留めします。または、横型文書の左上部をホチキス留めします。



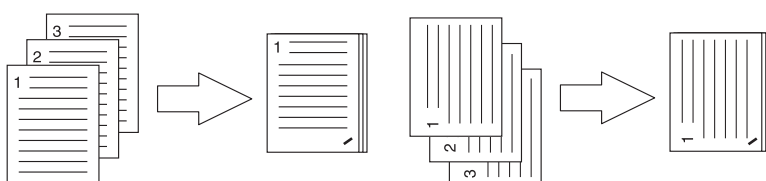
- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をホチキス留めます。または、横型文書の右下部をホチキス留めます。



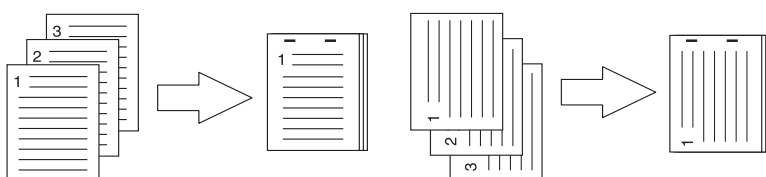
- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ホチキス留めます。または、横型文書の下部を2か所ホチキス留めます。



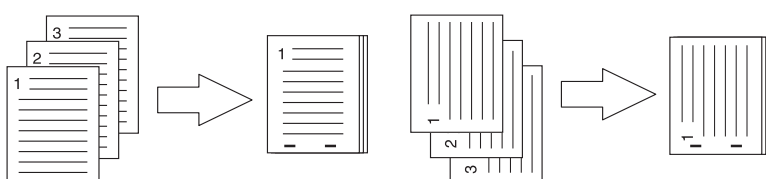
- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をホチキス留めます。または、横型文書の左下部をホチキス留めます。



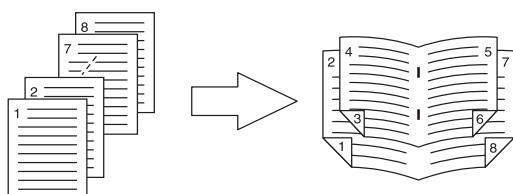
- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ホチキス留めます。または、横型文書の右側を2か所ホチキス留めます。



- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ホチキス留めます。または、横型文書の左側を2か所ホチキス留めます。



- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：製本印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ホチキス留めます。この機能は、製本印刷を実行するときのみ選択してください。



注意

【中央（縦置き）／中央（横置き）】は、サドルステッチフィニッシャー装着時にのみ有効です。お使いの機種によっては利用できません。

3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■パンチ穴を開ける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

- パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

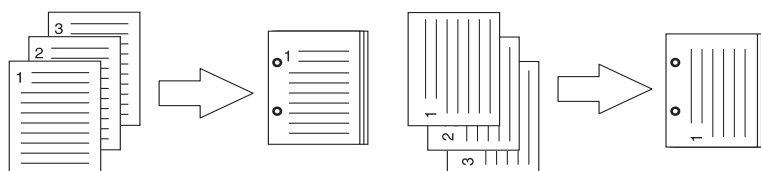
1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。

2 【仕上げ】メニューの【パンチ】でパンチ穴の位置を指定します。

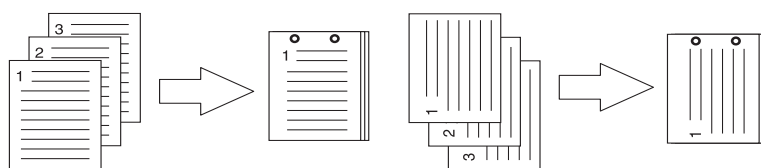


パンチ

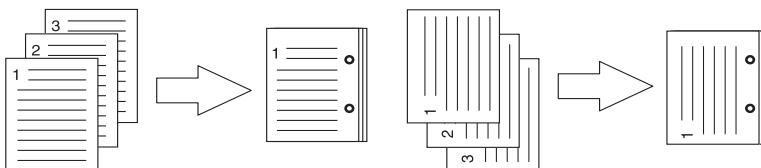
- **オフ**：パンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴あけ**：縦型文書の左側にパンチ処理をします。または、横型文書の上部にパンチ処理をします。



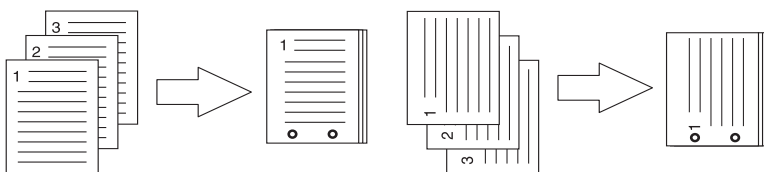
- **短尺側へ穴あけ**：縦型文書の上部にパンチ処理をします。または、横型文書の右側にパンチ処理をします。



- **長尺側へ穴あけ (画像180回転)**：縦型文書の右側にパンチ処理をします。または、横型文書の下部にパンチ処理をします。



- **短尺側へ穴あけ（画像180回転）**：縦型文書の下部にパンチ処理をします。または、横型文書の左側にパンチ処理をします。



3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 用紙の中央で中折りして印刷する

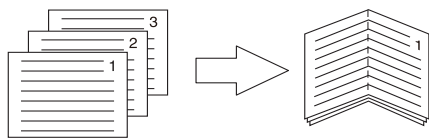
ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力します。製本印刷などで使用します。

注意

- [中折り] は、サドルステッチフィニッシャーを装着した場合にのみ有効です。
- お使いの機種によっては利用できません。

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [仕上げ] メニューの [中折り] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

節約に関する機能

用紙やトナーを節約するための機能について説明します。

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。

■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- レイアウトメニューの [ページ数/枚] で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ヘッダーやフッターを含む文書を印刷する場合は、内容がないページも印刷されます。

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [ジョブタイプ] メニューで [白紙は印字しない] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。

カラー複合機の場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【トナー節約】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロ複合機の場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューで【トナー節約】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

表紙やページ間に別の用紙を挿入する

原稿の最初や最後に表紙、裏表紙、バナーページなどを挿入する機能です。

■ 表紙および裏表紙を挿入する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カバーページ】メニューで表紙/裏表紙の詳細を設定します。



注意

【用紙カセット】で選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定により異なります。

表紙挿入：表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。

表紙印刷を設定する場合は、【表紙挿入】を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。【自動カセット選択】を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 用紙種類

表紙に使用する用紙の種類を選択します。

• 出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

裏表紙挿入：裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、【裏表紙挿入】を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。【自動カセット選択】を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 用紙種類

裏表紙に使用する用紙の種類を選択します。

• 出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

補 足

両面印刷を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。

4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ バナーページを挿入する

印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかを設定します。バナーページには、jobID、Title、Requesting User、Billing Infoなどの情報が印刷されます。

補 足

ジョブ名に、ひらがな、カタカナ、漢字を使用すると文字化けしますので、英数字を使用することを推奨します。

1 アプリケーションの**【ファイル】** メニューで**【プリント】** を選択します。

2 **【表紙】** メニューでバナーページの詳細を設定します。



表紙をプリント：バナーページを印刷するかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入します。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入します。

表紙のタイプ：**【表紙をプリント】** で**【書類の前】** または**【書類の後】** を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。

4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷色を指定する

□ カラー文書を白黒で印刷する

プリンタードライバーは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒でそれぞれ印刷します。印刷費やカラートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で【白黒】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラー文書を2色で印刷する

2色印刷を行うと、カラー文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

注意

- この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。
- 2色印刷の解像度は、[600 dpi] で印刷されます。

1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。

2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で印刷色を指定します。



カラーの種類

- **2色-ブラック/レッド**：黒と赤で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は赤色で印刷します。
- **2色-ブラック/グリーン**：黒と緑で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は緑色で印刷します。
- **2色-ブラック/ブルー**：黒と青で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は青色で印刷します。
- **2色-ブラック/シアン**：黒とシアンで2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はシアン色で印刷します。
- **2色-ブラック/マゼンタ**：黒とマゼンタで2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はマゼンタ色で印刷します。
- **2色-ブラック/イエロー**：黒と黄で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は黄色で印刷します。
- **2色-ブラック/ホワイト**：黒と白で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は空白で印刷します。

3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。

4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 黒トナーの適用範囲を指定する

文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【黒とグレイの印刷方法】で黒トナーの適用範囲を指定します。



黒とグレイの印刷方法

- オフ：文書をカラーモードで印刷します。
- 黒を黒トナー：自動：原稿の黒の部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。
- 黒を黒トナー：文字：黒の文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：文字/図形：黒の文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：全体：黒の全部分を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレイを黒トナー：自動：原稿の黒およびグレイの部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレイを黒トナー：文字：黒およびグレイの文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレイを黒トナー：文字/図形：黒およびグレイの文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレイを黒トナー：全体：黒およびグレイの全部分を黒トナーで印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷時の版ズレを防ぐ

オーバープリントやオートトラッピングを設定し、印刷時の版ズレを防ぎます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューで以下の項目を指定します。



ブラックオーバープリント：黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。

- **オフ**：オーバープリントをせずに印刷します。
- **文字**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。
- **文字/図形**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。

PostScriptオーバープリント：アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷します。

注意

カラー設定1メニューの【カラーの種類】で【自動】、【カラー】を選択した場合のみ、設定できます。

オートトラッピング：オートトラッピングを有効にします。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し、版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。

注意

この機能は、カラー複合機をお使いの場合のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 原稿に合わせて画質を選択する

ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。プリンタードライバーは、ジョブタイプによって適切な画質を自動的に適用します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【原稿種類】で原稿の種類を指定します。



原稿種類

- **標準**：通常のカラー文書用の設定です。
- **写真**：写真用の設定です。
- **プレゼンテーション**：プレゼンテーション資料用の設定です。
- **ラインアート**：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。
- **カラープロファイル設定**：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。
[📖 P.174 「カラープロファイル設定」](#)

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラープロファイル設定

カラープロファイル設定メニューは、[カラー設定1] メニューの [原稿種類] で [カラープロファイル設定] を選択すると表示されます。

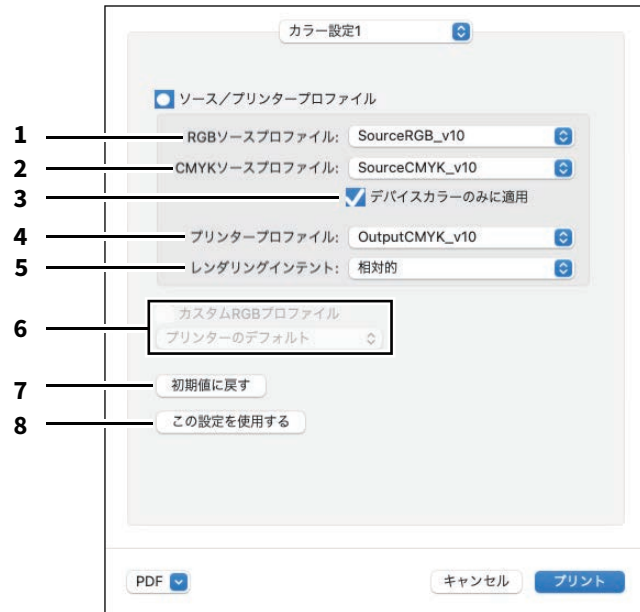
注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

補足

TopAccessから設定できます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - ICCプロファイルの設定



1. RGB

RGBソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のRGBソースプロファイルを表示します。

2. CMYK

CMYKソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のCMYKソースプロファイルを表示します。

3. 機器の色のみ適用されます。

画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。

4. プリンタープロファイル

プリンタープロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のプリンタープロファイルを表示します。

5. レンダリングインテント

印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するか選択します。

- 知覚的：写真画像に適しています。
- 相対的：[知覚的] よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。
- 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックスに適しています。
- 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。

6. カスタムRGBプロファイル

カスタムRGBプロファイルを使用する場合に選択します。

注意

RGBソースプロファイル、CMYKソースプロファイル、プリンタープロファイル、およびレンダリングインテントの初期設定では、[プリンターのデフォルト] が選択されています。[プリンターのデフォルト] を選択した場合は、本機に設定されたデフォルトプロファイル（TopAccess管理者設定の [セットアップ] メニューにある [ICCプロファイル] サブメニューで、デフォルトプロファイルに設定されたプロファイル）に従って、カラースペース変換が行われます。

7. 初期値に戻す

カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。

8. この設定を使用する

クリックするとカラープロファイル設定を保存し、[カラー設定1] メニューに戻ります。

■ 画質を調整したいときは

薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

カラー複合機の場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定1] メニューの [ハーフトーン] でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロ複合機の場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューの【ハーフトーン】でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスの縁をなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロ複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューで【スムージング】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューで【細線をはっきりと印刷する】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 印刷時のカラーを調整する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー・マッチング】メニューでカラー調整を行います。



ColorSync：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。

プリンタのカラー：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンターから制御する場合に選択します。

プロファイル：【ColorSync】を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。

補 足

初期設定では「sRGB IEC 61966-2.1」が選択されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラーバランスや画質を調整する

注意

この機能は、お使いの機種がカラー複合機の場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定2】メニューで【カラーバランス】や【画質調整】を設定します。



カラーバランス：各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）を設定できます。

注意

- 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で【自動】、【カラー】、【2色】を選択した場合のみ、設定できます。
- 解像度を【1200 dpi】で印刷する場合、シャープネスフィルターは使用できません。

画質調整：シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。

- シャープネス
印字のなめらかさを調整します。【シャープネスフィルタを使用する】を選択して、スクロールバーで-4（ソフト）から4（シャープ）の範囲で設定します。
- 明度
印字の明るさを調整します。スクロールバーで-4（暗）から4（明）の範囲で設定します。
- コントラスト
印字のコントラストを調整します。スクロールバーで-4（低）から4（高）の範囲で設定します。
- 彩度
印字の彩度を調整します。スクロールバーで-4（淡い）から4（鮮やか）の範囲で設定します。
- 下地調整
下地濃度を調整します。スクロールバーで-4（薄くなる）から4（濃くなる）の範囲で設定します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

カラー複合機の場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【解像度】で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 × 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 × 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- 以下の機種で [1200 dpi] を選択すると、カラー、白黒ともに3600 dpi（相当）× 1200 dpiの解像度で印刷します。
 - e-STUDIO2021AC/2525AC/3525AC/4525AC/5525AC
 - e-STUDIO5528A Series
 - e-STUDIO7527AC Series
 - e-STUDIO9029 Series

詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

本機の仕様 - 本体の仕様

- 【カラー設定】メニューの【原稿種類】で【写真】または【プレゼンテーション】を選択した場合、[1200dpi] は表示されません。
- [1200 dpi] で印刷する場合、[オートトラッピング] 機能は使用できません。
- [1200dpi] を選択した場合、印刷速度が遅くなることがあります。
- [オートカセットチェンジ] は、お使いの機種およびオプション構成により異なります。
 - 封筒または非定形サイズの内紙をセットしたカセットで [オートカセットチェンジ] を利用する場合は、解像度を [1200 dpi] に設定してください。
カセットに用紙の長い辺を手前側に向けてセットします。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - カセットに用紙をセットする - 封筒カセット
用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - カセットに用紙をセットする

- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの [異方向用紙の許可] は使用できません。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

設定/登録 - 設定項目 (管理者設定) - プリンター/ファイリングボックス

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロ複合機の場合

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [印刷品質] メニューの [解像度] で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 × 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 × 1200 dpiの解像度で印刷します。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

スタンプメニューでは、「Confidential」、「Draft」、「Proof」、「Top Secret」などの文字列を印刷する文書を重ねた状態で用紙に印刷できます。スタンプによっては、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。スタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。スタンプはテキストだけです。

注意

プラグインのインストールについては、以下の参照先をご覧ください。
インストール - プリンタードライバのインストール (macOS) - プリンターのインストール

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【スタンプ】メニューで詳細を設定します。



文字：印刷するスタンプを選択します。テキストを入力し、スタンプを新たに作成することもできます。

注意

半角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いと、スタンプが大きすぎるため正しく印刷することができない場合があります。

フォント：フォントを選択します。

寸法：フォントサイズを入力します。

6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

角度：回転角度を入力します。

0から360（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

カラー：色を選択します。

注意

【カラー設定1】メニューの「カラーの種類」で【白黒】を選択している場合は、選択した色ではなくグレーの濃淡で印刷します。

最前面に配置：スタンプテキストを前面に配置して印刷します。

最背面に配置：スタンプテキストを背面に配置して印刷します。

位置：スクロールバーでスタンプの位置を調整します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[ホールド印刷]、[お試し印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存] があります。

■ 機密文書やサンプル印刷を設定する

本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷などがあります。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [ジョブタイプ] メニューで表示ユーザー名やジョブタイプを設定します。

表示ユーザー名：必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザー名を入力します。ユーザー自身が任意のユーザー名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

補足

- 半角31文字まで入力できます。
- [表示ユーザー名] を入力しない場合は、ログインユーザー名がプライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- [表示ユーザー名] は、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピューターのログインユーザー名が表示されます。

ジョブタイプ：印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷**：通常の印刷を行います。
- **マルチステーション印刷**：本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。送信した印刷ジョブは、本機のマルチステーション印刷ジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、[印刷] を押します。

注意

[マルチステーション印刷] 機能を使用するには、マルチステーション印刷オプションが必要です。マルチステーション印刷の設定については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリントサービス設定 - マルチステーション印刷の設定

- **ホールド印刷**：ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、[印刷] を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
- **お試し印刷**：複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから残り部数の印刷を実行します。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。
- **プライベート印刷**：ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、右横のボックスに5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するとき有効な機能です。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

本体に保存メニューでは、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機の内蔵ストレージへ送信し、保存することができます。保存したジョブは、タッチパネルから印刷できます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザーボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダーを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザーでもアクセスすることができます。ユーザーボックスは、ユーザーが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注意

プラグインのインストールについては以下の参照先をご覧ください。
インストール - プリンタードライバーのインストール (macOS) - プリンターのインストール

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [本体に保存] メニューで保存先やパスワードを設定します。



本体に保存：印刷ジョブを本機に保存します。

同時に印刷：保存と同時に印刷を行います。

排紙先：保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザーボックスを選択できます。

- パスワード
ユーザーボックスにパスワードが設定されている場合は、ユーザーボックスのパスワード（5桁）を入力します。
- 保管先フォルダー
保存先に共有ボックスまたはユーザーボックス内のフォルダーを指定する場合は、フォルダー名を入力します。

注意

- フォルダー名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダーの数の上限は100です。

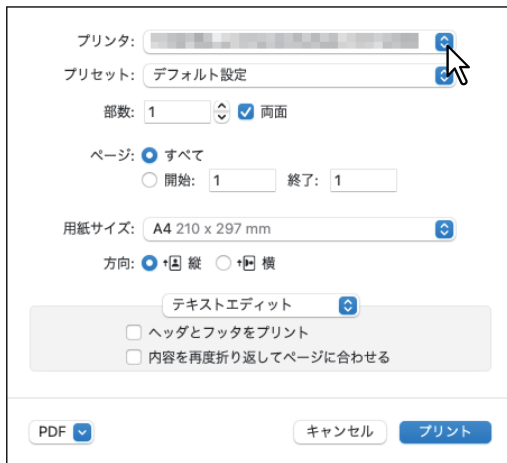
3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

「プリント」ダイアログボックスで設定した内容は、プリセットとして名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、[プリセット] より使用するプリセットを選択します。

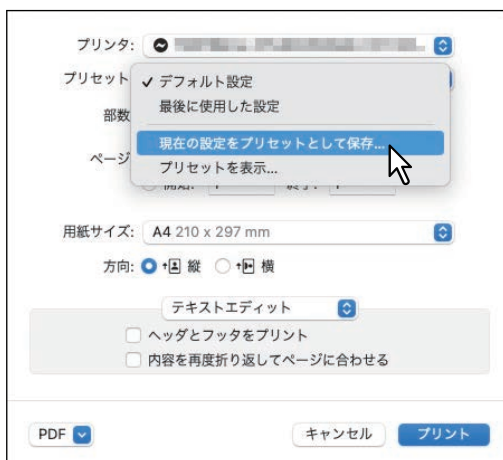
- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションにより異なることがあります。

- 3 [プリセット] より [現在の設定をプリセットとして保存] を選択し、名前を付けて [OK] をクリックします。



■ 印刷設定の内容や消耗品を確認する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] で [“プリンタとスキャナ”環境設定] を選択します。
- 3 [プリントキューを開く] をクリックします。
- 4 [設定] をクリックします。
- 5 [サプライのレベル] メニューでトナーカートリッジや用紙の残量を確認できます。



- 6 [キャンセル] をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

■ 注意事項について

- 印刷を実行する際のユーザー名、文書名に全角文字が含まれている場合、本機のタッチパネルの印刷ジョブに「OSX User」および「OSX Document」と表示されます。半角文字の場合には、実際のユーザー名、文書名が表示されます。
- プリンター機能のカバーページメニューと表紙機能を同時に使用することはできません。
- e-Filing機能は、カスタム用紙、製本、2色印刷、1200 dpi印刷、ホールド印刷、お試し印刷、マルチステーション印刷、およびプライベート印刷と同時に使用することはできません。
- e-Filing機能でホチキスやパンチ機能を利用できる機種の場合、以下の設定は使用することができません。これらの設定を選択しても解除されません。
 - ホチキス：
[右側(縦置き) / 下側(横置き)]、[右下側(縦置き) / 左下側(横置き)]、[下側(縦置き) / 左側(横置き)]
 - パンチ：
[長尺側へ穴あけ (画像180回転)]、[短尺側へ穴あけ (画像180回転)]
- お試し印刷、プライベート印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷を行う場合、およびe-Filing機能を使用する場合は、LPRまたはBonjourを使用してください。
- ユーザー認証機能を使用するには、[ユーザとグループ] → [ログインオプション] → [ネットワークアカウントサーバ] → [ディレクトリユーティリティを開く] → [サービス] でドメインの設定を行ってください。

プリンタードライバーの機能概要

■ プリンタードライバーの表示方法

macOSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定し、印刷します。

□ 「ページ設定」ダイアログボックス

補足

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションにより異なる場合があります。また、アプリケーションによっては「ファイル」メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、「ファイル」メニューで「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。
- 2 「対象プリンタ」から本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を行います。



□ 「プリント」ダイアログボックス

補足

「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションにより異なることがあります。

- 1 文書を開き、「ファイル」メニューで「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



■ 「ページ設定」ダイアログボックス

メニュー名	設定項目名	機能説明
ページ設定	対象プリンタ	プリンターを選択します。
	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	方向	印刷する用紙の向きを選択します。
	拡大縮小	拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。

■「プリント」ダイアログボックス

注意

設定できる項目は、お使いの機種およびオプション構成により異なります。

メニュー名	設定項目名	機能説明
印刷部数と印刷ページ	印刷部数	印刷する部数を設定します。
	ページ	印刷するページを指定します。
	両面	両面印刷を設定します。
レイアウト	ページ数/枚	複数ページを1枚の用紙に印刷します。
	レイアウト方向	ページをレイアウトする方向を設定します。
	境界線	各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。
	両面	両面印刷を設定します。
	ページの方向を反転	排紙される用紙の向きを逆にします。
	左右反転	ページ全体の左右を反転させて印刷します。
カラーマッチング	ColorSync	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。
	プリンタのカラー	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンターから制御する場合に選択します。
	プロファイル	[ColorSync] を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。
用紙処理	丁合い	部単位に仕分けして印刷します (ソート印刷)。
	プリントするページ	すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。
	ページの順序	ページを印刷する順序を選択します。
	用紙サイズに合わせる	指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。
	出力用紙サイズ	出力用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷します。
給紙	全体	すべてのページに同じ給紙元を使用する場合に選択します。
	先頭ページのみ/残りのページ	先頭ページとその他のページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。
表紙	表紙をプリント	バナーページを印刷するかを設定します。
	表紙のタイプ	[表紙をプリント] で [書類の前] または [書類の後] を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。
ジョブタイプ	部門コード	印刷を実行するのに部門コードの入力を必要とするかを選択します。
	表示ユーザー名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザー名を入力します。
	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。
	ジョブタイプ	印刷ジョブの処理方法を設定します。
	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
	白紙は印字しない	白紙ページを印刷するかを選択します。

メニュー名	設定項目名	機能説明
仕上げ	排出先	排紙先を選択します。
	用紙種類	用紙種類を選択できます。
	ホチキス	印刷文書をホチキス留めして出力するかを設定します。
	パンチ	印刷文書にパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
	中折り	ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力する場合に選択します。
カラー設定	カラーの種類	印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	原稿種類	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
	ブラックオーバープリント	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。
	PostScript オーバープリント	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷する場合に選択します。
	オートトラッピング	版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぐ場合に選択します。
	黒とグレーの印刷方法	文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。
	解像度	解像度を設定します。
	朱印再現	朱肉を用いた朱印などの色再現性を高めたいときに選択します。
	カラーバランス	各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）の範囲で調整できます。
	画質調整	シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。
カラー設定 (カラープロファイル設定)	RGB	RGBソースプロファイルを選択します。
	CMYK	CMYKソースプロファイルを選択します。
	機器の色のみに適用 されます。	画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。
	プリンター プロファイル	プリンタープロファイルを選択します。
	レンダリング インテント	印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するかを選択します。
	初期値に戻す	カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。
	この設定を使用する	クリックするとカラープロファイル設定を保存し、カラー設定1メニューに戻ります。
印刷品質	解像度	印刷の解像度を設定します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	スムージング	文字やグラフィックスの縁をなめらかに印刷する場合に選択します。
カバーページ	表紙挿入	表紙印刷を設定します。
	裏表紙挿入	裏表紙印刷を設定します。

メニュー名	設定項目名	機能説明
製本	製本用紙サイズ	本や雑誌と同じような印刷物を作成する場合に選択します。
	製本中央余白 (0~36 pt)	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	製本外側余白 (0~36 pt)	ページの上下左右の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	左から右	左から右に読むように印刷を行う場合に選択します。
	右から左	右から左に読むように印刷を行う場合に選択します。
本体に保存	本体に保存	印刷ジョブを本機に保存する場合に選択します。
	同時に印刷	保存と同時に印刷を行う場合に選択します。
	排紙先	印刷ジョブの保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザーボックスを選択できます。
スタンプ	文字	スタンプを選択します。
	フォント	フォントを選択します。
	寸法	フォントサイズを入力します。
	角度	回転角度を入力します。
	カラー	色を選択します。
	最前面に配置	スタンプテキストを前面に配置して印刷します。
	最背面に配置	スタンプテキストを背面に配置して印刷します。
	位置	スクロールバーでスタンプの位置を調整します。

その他の印刷方法

UNIX/Linux環境から印刷する	192
注意点と確認事項について	192
LPコマンドを使用して印刷する	192
一般的なlpおよびlptapオプション	193
一般的なオプション	193
PCL5e固有オプション	206
USBダイレクト印刷	210
USBメディアからファイルを印刷する	210
印刷時の注意事項	213
FTP印刷	214
Eメール印刷	215
Eメールダイレクト印刷	216
IPP-PIN印刷	218
IPP-PIN印刷ジョブの削除	219

UNIX/Linux環境から印刷する

ここでは、UNIX/Linuxワークステーションから印刷を行う方法を説明します。

注意

- 本機ของผู้ใช้管理設定が有効な場合、UNIX/Linuxワークステーションから送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザー認証強制の設定に従って処理されます。ユーザー認証強制設定については、以下の参照先をご覧ください。
TopAccess - [管理者] - [セキュリティ] 項目説明一覧 - 認証 - ユーザー認証設定
- UNIX/Linuxワークステーションから印刷を実行する前に、すべてのUNIX/Linuxフィルターがワークステーションにインストールされているかを確認してください。UNIX/Linuxフィルターの設定については、以下の参照先をご覧ください。
インストール - プリンタードライバーのインストール (UNIX/Linux)

補足

CUPSのインストールおよび設定については、以下の参照先をご覧ください。
インストール - プリンタードライバーのインストール (UNIX/Linux) - CUPSの設定

■ 注意点と確認事項について

- 本機はUNIX/Linux用のフィルター印刷のみサポートしています。ドライバーのサポートはしていません。印刷ページのサイズや順序を変更することはできません。
- UNIX/Linux用フィルターでは、以下の機能はサポートされていません。
 - 変倍印刷
 - 縦横交互
 - Nin1印刷
 - スタンプ
 - 表紙・裏表紙挿入
 - シート挿入
 - 予約印刷
 - オーバーレイで保存
 - 本体に保存
 - オーバーレイファイルを使用
- Linuxではlpコマンドはサポートされていないため、代わりにlptapコマンドを使ってファイルを本機へ送信して印刷を行ってください。
- AIXでは、qdaemonを使った印刷をサポートしています。qdaemonを使用して印刷するには、lp、lprまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。また、UNIX/Linuxフィルターを利用して印刷する場合は、lpコマンドまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。

■ LPコマンドを使用して印刷する

lpコマンド（Linuxではlptapコマンド）を使ってファイルを本機へ送信し印刷します。lpコマンドでは、-oオプションを使って本機特有の機能を指定することができます。また、さまざまなパラメーターを利用して印刷機能を設定することもできます。印刷出力に使用できるさまざまな機能やパラメーターを確認するには、[man net_estcolor] コマンドを実行し、オンラインドキュメントを表示してください。すべての設定は印刷ジョブの先頭に付加されて本機へ送信されるため、送信したファイル自体に印刷機能の設定が含まれている場合は、lpコマンドで指定した印刷機能を上書きして印刷することがあります。

■ 一般的なlpおよびlptapオプション

□ ファイルの印刷方法

プリンターを指定してファイルを印刷するlpコマンドは以下となります。

```
lp -d <queueName> <filename>
```

□ 印刷部数

印刷ジョブの印刷部数は、lpコマンドを使って [-n <value>] パラメーターで指定します。初期値は、lpコマンドにより決定され常に [1] となります。印刷は常にページ順をそろえて出力されます。

□ タイトル

バナーページに印刷されるタイトルは、lpコマンドを使って [-t <title>] パラメーターで指定することができます。タイトルを指定しない場合は、印刷ファイルの名称がバナーページのタイトルになります。同じlpコマンドを使って複数のファイルを印刷する場合、初期設定のタイトルがlpコマンドによっては、最初のファイルの名称に設定されます。

■ 一般的なオプション

下記オプションは、本機で印刷するすべての印刷ファイルに適用されます。

注意

- オプションの構成や使用できる用紙サイズなどの違いにより、お使いの機種では設定できないオプションコマンドがあります。
- オプションコマンドは大文字・小文字の区別がありますので、以下の説明のとおりに入力してください。
- 本機の仕様が優先されるため、オプションコマンドの組み合わせによっては、無効となる場合があります。

□ 印刷言語

[net_estcolor] プログラムは、印刷する各ファイルにどのプリンター言語が使用されているかを把握する必要があります。この情報に従って、正しいコマンドを実行することができます。印刷言語の有効なオプションは、次のとおりです。

オプション値	代替値	説明
auto		印刷する各ファイルが [%!] シーケンスで始まっているかを確認します。始まっている場合は、PostScriptファイルと判断します。そうでない場合は、プレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルと判断します。
pcl		印刷ファイルを常にプレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルとして扱います。
postscript	ps	ファイルを常にPostScriptファイルとして扱います。
raw		ファイルを必要なすべてのコマンドを含んだ完全にフォーマットされたファイルとして扱います。ファイルに何らかの変更を加えることなく本機へ送信します。このモードでは、オプションは無効であり、またバナーページも印刷されません。

すべてのPCL5eジョブは、LFキャラクターを [復帰] シーケンスに変換する [<esc>&k2G] コマンドを自動で送信します。PCL5eジョブにジョブ自身のエスケープシーケンスが含まれていると、上記設定が上書きされてしまう場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (auto) が使用されます。

[例] ファイルをPostScriptとして指定するコマンド：lp -o ps <filename>

□ ホチキス

部ごとに用紙をホチキス留めして排紙するかを設定します。フィニッシャーが装着されている場合、下記オプションを使用してホチキス位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
staple=0		ホチキス機能を無効にします。
staple=1		縦型ページの左上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右上部をホチキス処理します。
staple=2		縦型ページの左側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの上部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=3		縦型ページの左下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左上部をホチキス処理します。
staple=4		縦型ページの右上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右下部をホチキス処理します。
staple=5		縦型ページの右側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの下部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=6		縦型ページの右下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左下部をホチキス処理します。
staple=7		縦型ページの上側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の右側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=8		縦型ページの下側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の左側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=9		横型ページの中央を2か所ホチキス処理（サドルステッチ処理）し、中折りとじを出力します。このコマンドはブックレット印刷に関連するものであり、長手方向に給紙されるページには適用されません。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（staple=0）が使用されます。

[例] 長手方向に給紙された縦型ページの左上部にホチキスするときのコマンド：

```
lp -o staple=1 <filename>
```

ホチキス位置の値は、用紙サイズ、給紙方向や印刷の向きにより決定されます。この機能に対応する用紙サイズについては、以下の参照先をご覧ください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

本機の仕様 - オプションの仕様 - 排紙オプション

注意

フィニッシャー、サドルステッチフィニッシャーでホチキス印刷を行う場合は、[トレイ2] を指定してください。

中折り

下記オプションを使用して中折り印刷をするかを設定できます。

オプション値	代替値	説明
folding=off	OFF	中折りを無効にします。
folding=on	ON	中折りを有効にします。

本機にサドルステッチフィニッシャーが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (folding=off) が使用されます。

[例] 中折りを有効にするコマンド : `lp -o folding=on <filename>`

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャーを装着した場合にのみ有効です。

出力トレイ

下記オプションを使用して出力トレイを指定することができます。

オプション値	代替値	説明
inner		本体の排紙トレイを選択します (フィニッシャー未装着時)。
bin1		フィニッシャーの上段排紙トレイを選択します。
bin2		フィニッシャーの下段排紙トレイを選択します。

本機にフィニッシャーが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (inner) が使用されます。

[例] 上段排紙トレイ (bin 1) を指定するコマンド : `lp -o bin1 <filename>`

パンチ

印刷文書にパンチ処理 (とじ用の穴開け) をするかを設定します。パンチユニットが装着されている場合、下記オプションを使用してパンチ処理を行うことができます。

オプション値	代替値	説明
punch=0	nopunch	パンチ機能を無効にします。
punch=1		長手パンチ (回転なし)
punch=2		短手パンチ (回転なし)
punch=3		長手パンチ (180度回転)
punch=4		短手パンチ (180度回転)

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (nopunch) が使用されます。この機能に対応する用紙サイズについては、以下の参照先をご覧ください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

本機の仕様 - オプションの仕様 - 排紙オプション

[例] 長手方向に給紙した縦型ページにパンチ処理するコマンド :
`lp -o punch=1 <filename>`

□ 用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することにより給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
mtype=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
mtype=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

PostScriptでは [メディア選択の据え置き] が常時有効なため、用紙サイズが用紙種類や給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常時用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (mtype=Plain) が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド : `lp -o mtype=Plain <filename>`

□ 給紙元

下記オプションを使用して用紙の給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
auto-source		自動で給紙元を指定します。
manual		手差しトレイを指定します。
drawer1	upper cas1	1段目カセットを指定します。
drawer2	lower cas2	2段目カセットを指定します。
drawer3	pedupper cas3	3段目カセットを指定します。
drawer4	pedlower cas4	4段目カセットを指定します。
LCF	lcf	大容量給紙装置を指定します。
external		大容量給紙装置 (外付け) を指定します。
additionalexternal		大容量給紙装置 (拡張) を指定します。

PostScriptでは [メディア選択の据え置き] が常時有効なため、用紙サイズが給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (auto-source) が使用されます。

[例] 大容量給紙装置を指定するコマンド : `lp -o lcf <filename>`

注意

この機能は、本機で使用できる給紙元を指定した場合のみ有効となります。

□ 両面印刷

下記オプションを使用して両面印刷モードを指定できます。

オプション値	代替値	説明
simplex		両面印刷機能を無効にします。
duplex	lduplex duplex_long duplex=long hduplex	両面印刷（長手とし）
sduplex	duplex_short duplex=short vduplex	両面印刷（短手とし）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（simplex）が使用されます。ブックレットモードを選択すると、[sduplex]（両面印刷：短手とし-有効）が自動的に選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] 両面印刷（長手とし）を指定するコマンド：`lp -o duplex <filename>`

□ 用紙サイズ

下記オプションを使用して用紙サイズを指定できます。

オプション値	代替値	説明
letter	lt LT	Letterサイズ用紙を選択します。
A4	a4	A4サイズ用紙を選択します。
legal	lg LG	Legalサイズ用紙を選択します。
statement	st ST	Statementサイズ用紙を選択します。
ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を選択します。
ledgerwide	ldwide LDEIDE	Ledger-wideサイズ用紙を選択します。
folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を選択します。
A3	a3	A3サイズ用紙を選択します。
A3WIDE	a3wide	A3-Wideサイズ用紙を選択します。
A5	a5	A5サイズ用紙を選択します。
A6	a6	A6サイズ用紙を選択します。
B4	b4b4-jis B4-JIS	JIS B4サイズ用紙を選択します。
B5	b5b5-jis B5-JIS	JIS B5サイズ用紙を選択します。
computer	co CO	Computerサイズ用紙を選択します。
legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を選択します。
sq85	letter-square	8.5SQサイズ用紙を選択します。
postcard		はがき用紙を選択します。
8K	8k	8Kサイズ用紙を選択します。
16K	16k	16Kサイズ用紙を選択します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] A4サイズ用紙を選択するコマンド：`lp -o a4 <filename>`

□ 印刷モード

下記オプションを使用して印刷モードを選択できます。

オプション値	代替値	説明
normal		通常の印刷ジョブとして処理します。
hold		ホールド印刷ジョブとして処理します。
proof		お試し印刷ジョブとして処理します。
private=din		プライベート印刷ジョブとして処理します。[din] は1~163文字のパスワード（文書パスワード）です。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（normal）が使用されます。

プライベート印刷を行うには、最大63文字のパスワードを指定します。

64文字以上のパスワードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、パスワードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

□ 部門コード

下記オプションを使用して部門コードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
dept=code		部門コードを設定します。[code] は1~163文字の部門コードです。

最大63文字の部門コードを指定します。

64文字以上の部門コードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、部門コードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

補足

- TopAccess管理者設定の「部門コードなし印刷ジョブ」の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、間違った部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが「部門コードの使用を強制する」に設定されている場合は、間違った部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが「部門コードの使用を強制する」に設定されている場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが「印刷」の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが「削除」の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。
- 使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

スムージング

文字やグラフィックスをなめらかに印刷するか選択します。下記オプションを使用してスムージングモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
smoothing=on	ON	スムージングモードを設定します。
smoothing=off	OFF	スムージングモードを解除します。

[例] スムージングモードを指定するコマンド：lp -o smoothing=on <filename>

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロ複合機の場合にのみ設定できます。

細線モード

細線をはっきりと印刷するかを設定します。下記オプションを使用して細線モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
thinlinelimit=on	ON	細線モードを設定します。
thinlinelimit=off	OFF	細線モードを解除します。

[例] 細線モードを指定するコマンド：lp -o thinlinelimit=on <filename>

白紙は印字しない

白紙ページを印刷するかを設定します。下記オプションを使用して白紙印字モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blankpage=0		白紙ページを印字します。
blankpage=1		白紙ページを印字しません。

[例] 白紙印字モードを指定するコマンド：lp -o blankpage=0 <filename>

トナー節約

下記オプションを使用してトナー節約モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
tonersave=on	ON	トナー節約モードを設定します。
tonersave=off	OFF	トナー節約モードを解除します。

[例] トナー節約モードを指定するコマンド：lp -o tonersave=on <filename>

□ 製本印刷

下記オプションを使用して製本印刷を選択できます。

注意

製本印刷はPostScriptデータのみにも適用されます。PCLデータを製本印刷した場合は、印刷が無効になります。

オプション値	代替値	説明
booklet=letter	lt LT	Letterサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A4	a4	A4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal	lg LG	Legalサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=statement	st ST	Statementサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A3	a3	A3サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A5	a5	A5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B4	b4 B4-JIS b4-jis	JIS B4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B5	b5 B5-JIS b5-jis	JIS B5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=computer	co CO	Computerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=SQ85	sq85 letter-square	8.5SQサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=8K	8k	8Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=16K	16k	16Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。

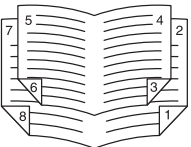
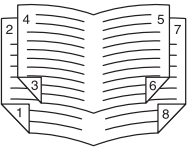
このオプションの値、およびページ記述言語のデータが [LT] の場合、Letter用紙を使用したブックレットが出力されます。一方、このオプションの値が [A4] でページ記述言語のデータが [A5] の場合には、A4用紙を使用したA5サイズのブックレットが出力されます。ブックレットモードオプションを選択すると、対応する用紙サイズが自動的に設定されます。この機能は、A4とLetter用紙にのみ使用することができます。また、ブックレットモードを選択すると、[sduplex]（両面印刷：短手とじ-有効）が自動で選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] Letterサイズ用紙を使用してブックレット印刷を行うコマンド：

```
lp -o booklet=letter <filename>
```


□ ページレイアウト

下記オプションを使用して製本印刷でのページレイアウトを選択できます。

オプション値	代替値	説明
left2right=off	OFF	右から左方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この値は、製本のページレイアウトを決定します。この値が [OFF] の場合、右から左方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 
left2right=on	ON	左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この設定が初期値です。この値が [ON] の場合、左から右方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 

[left2right=off] の場合、長手とじ（左右開き）が選択されます。一方、[left2right=on] の場合、短手とじ（上下開き）が選択されます。

[例] 左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行うコマンド：

```
lp -o left2right=on <filename>
```

□ 中央マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定できます。

オプション値	代替値	説明
centermargin=value		製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定します。アプリケーションで指定済みの中央マージンに加えて、中央マージンまたは [のどあき] をピクセル単位で設定できます。[value] はピクセルの単位で、0~300の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の中央マージンを指定するコマンド：

```
lp -o centermargin=value <filename>
```

□ 外側マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの外側マージンを設定できます。

オプション値	代替値	説明
outermargin=value		製本印刷を行う際のページの外側マージンを指定します。製本印刷を出力中に各ページに設ける外側マージンまたは [クリープ] をピクセル単位で設定します。[value] はピクセルの単位で、0~600の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の外側マージンを指定するコマンド：

```
lp -o outermargin=value <filename>
```

部単位印刷

下記オプションを使用して部単位印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
collate=off	OFF	部単位印刷を無効にします。
collate=on	ON	部単位印刷を有効にします。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（collate=on）が使用されます。

[例] 部単位印刷を無効にするコマンド：lp -o collate=off <filename>

印刷の向き

下記オプションを使用して印刷の向きを指定できます。

オプション値	代替値	説明
portrait		ドキュメントを縦向きで印刷します。
landscape		ドキュメントを横向きで印刷します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 印刷の向きに横向きを指定するコマンド：lp -o landscape <filename>

フォントピッチ

ピッチを指定すると、[net_estcolor] プログラムは自動的に、等幅フォントを選択します。そのほかの場合、初期値のフォントが使用されます。下記オプションを使用して、フォントのピッチを選択できます。

オプション値	代替値	説明
c	pitch=16.67	文字ピッチを16.67文字／インチに設定します。
10	pitch=10	文字ピッチを10文字／インチに設定します。
12	pitch=12	文字ピッチを12文字／インチに設定します。
pitch=value		文字ピッチを入力した [value] /インチに設定します。

ピッチを変更すると、フォントサイズは自動的に適切なサイズに変更されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 文字ピッチを8文字／インチに設定するコマンド：lp -o pitch=8 <filename>

ページ長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
pl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

本機はページプリンターであり、用紙の物理的な長さを変更することはできません。このため、インチあたりの行数を変更するこのコマンドを使用し、目的の行数でページを印刷します。上部マージンやテキスト長オプションが使用されている場合、実際のページ長はこの値と異なる場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。指定できる最小のページ長は [5] です。[5] 未満の値を指定した場合、ページ長は [5] に設定されます。

[例] 1ページの印刷行数を66行に指定するコマンド：lp -o pl=66 <filename>

□ カラーモード

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するか、2色印刷するかを選択します。下記オプションを使用してカラーモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
colormode=COLOR	color	カラーモードを設定します。
colormode=GRAYSCALE	grayscale	グレースケールモードを設定します。
colormode=AUTO	auto	オートカラーモードを設定します。
colormode=2KR	2kr	2色カラーモード（黒と赤）を設定します。
colormode=2KG	2kg	2色カラーモード（黒と緑）を設定します。
colormode=2KB	2kb	2色カラーモード（黒と青）を設定します。
colormode=2KC	2kc	2色カラーモード（黒とシアン）を設定します。
colormode=2KM	2km	2色カラーモード（黒とマゼンタ）を設定します。
colormode=2KY	2ky	2色カラーモード（黒とイエロー）を設定します。
colormode=2KW	2kw	2色カラーモード（黒と白）を設定します。

[例] カラーモードを設定するコマンド：lp -o colormode=COLOR <filename>

注意

- この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。
- 2色印刷の解像度は、[600 dpi] で印刷されます。

□ 黒とグレーを黒（K）トナーで印刷する

黒とグレーの部分をも黒トナーで印字するかを設定します。下記オプションを使用して黒とグレーの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
pureblackgray=0		黒とグレーの黒トナー印刷を無効にします。
pureblackgray=1		黒を黒トナーで印刷します。
pureblackgray=2		黒とグレーを黒トナーで印刷します。

[例] 黒とグレーを黒トナーで印刷するコマンド：lp -o pureblackgray=1 <filename>

注意

この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。

原稿種類

下記オプションを使用して原稿種類を指定できます。

オプション値	代替値	説明
iqnormal		通常のカラー文書を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqphoto		写真を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqpresen		プレゼンテーション資料を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqlineart		多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切な画質を適用します。

[例] 通常の前稿種類で印刷するコマンド: `lp -o iqnormal <filename>`

注意

この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。

ハーフトーン

印刷時にハーフトーン処理を行うか設定します。下記オプションを使用してハーフトーンの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
halftone=AUTO		画像部分は写真に合ったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字に合ったハーフトーンで印刷します。
halftone=DETAIL		ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
halftone=SMOOTH		ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

[例] ハーフトーンの印字方法に自動を指定するコマンド:

`lp -o halftone=AUTO <filename>`

ブラックオーバープリント

黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを設定します。有効にした場合はテキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。下記オプションを使用してブラックオーバープリントを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blackoverprint=0		ブラックオーバープリントを無効にします。
blackoverprint=1		ブラックオーバープリントを有効にします。

[例] ブラックオーバープリントを有効にするコマンド: `lp -o blackoverprint=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。

□ カラーバランス

下記オプションを使用してカラーバランスを設定できます。

オプション値	代替値	説明
CBC=value		シアントナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBM=value		マゼンタトナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBY=value		イエロートナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBK=value		黒トナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 黒トナーのカラーバランスを「1」に設定するコマンド：`lp -o CBK=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。

□ 画質調整

下記オプションを使用して画質調整を設定できます。

オプション値	代替値	説明
brightness=value		明るさを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
contrast=value		コントラストを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
saturation=value		彩度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
sharpness=value		シャープネスを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
backgroundadjustment=value		下地調整を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 明るさを「1」に設定するコマンド：`lp -o brightness=1 <filename>`

注意

- この機能は、カラー複合機をお使いの場合にのみ有効となります。
- 解像度を [1200 dpi] で印刷する場合、シャープネスフィルターは使用できません。

■ PCL5e固有オプション

下記オプションは、プレーンテキストまたはPCL5eファイルのみに適用されます。

注意

オプションの構成や使用できる用紙サイズなどの違いにより、お使いの機種では設定できないオプションコマンドがあります。

□ テキストラップ

下記オプションを使用してテキストラップ機能（テキストをウィンドウサイズや用紙の大きさに合わせて適当な位置で改行する機能）を管理します。

オプション値	代替値	説明
wrap		自動的にテキストラップを実行する。
nowrap		テキストラップを自動的に実行しない。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] テキストラップ機能を指定するコマンド：`lp -o wrap <filename>`

□ 左マージン

下記オプションを使用して左マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
lm=value		左マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

左マージンを右マージンの右側に設定した場合、その設定は無視されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 左マージンを5コラムに設定するコマンド：`lp -o lm=5 <filename>`

□ 右マージン

下記オプションを使用して右マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
rm=value		右マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

右マージンを左マージンの左に設定した場合、または実際のページ幅よりはみ出た位置に設定した場合は、その設定は無視されます。また、負の値も無視されます。入力する [value] は、左マージンからのコラム数を示します。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] Example: 右マージンを50コラムに設定するコマンド：

`lp -o rm=50 <filename>`

□ 上マージン

下記オプションを使用して上マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tm=value		上マージンを入力した [value] に設定します（行単位）。

上マージンを設定すると、極端に高い位置または低い位置にあるテキストはプリンターの非印字領域により印刷されない場合があります。上マージンを実際のページ長より高い位置に設定した場合、その設定は無視されます。上マージンの設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 上マージンを10行に設定するコマンド：`lp -o tm=10 <filename>`

□ テキスト長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

テキスト長の設定が大きすぎる場合、用紙の印字可能領域に入りきらず印字されないことがあります。本機のページ長の初期設定値から上マージンの設定を引いた数値よりテキスト長の設定が大きい場合は、テキスト長の設定は無効になります。テキスト長は上マージンからの行数を指定します。テキスト長の設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 1ページの印刷行数を40行に指定するコマンド : `lp -o tl=40 <filename>`

□ バナーページ

バナーページはジョブごとに自動で印刷されます。バナーページは常にPCL5eジョブとして送信され、以下の内容が印刷されます。

- 印刷ジョブを実行したユーザー名
- ジョブ番号とジョブを実行したワークステーション名
- ジョブタイトル (ジョブタイトルは、[-t] オプションで指定することができます。通常は、[lp] コマンドにより指定された同じタイトル名が各ジョブに適用されます。)
- 印刷時に指定したオプション
- 印刷部数
- プリンター名およびIPアドレス
- 日付と時刻

バナーページはジョブに設定された部数に関係なく各ジョブにつき1部のみ印刷されます。また、バナーページは元々のジョブとは別のジョブとして送信されるため、ホチキス印刷を実行しても、バナーページと一緒にホチキスすることはありません。バナーページは、常に以下の設定で印刷されます。

- 部数=1
- ホチキス=オフ
- パンチ=オフ
- 用紙の向き=縦
- 両面印刷=オフ
- 用紙サイズ= [-o] オプションによるプリンターのデフォルトサイズ指定
- 給紙元=給紙カセットまたは用紙種類ジョブオプションにより指定可能
- 出力トレイ= [-o] オプションによるプリンターのデフォルトサイズ指定
- ページ長=6/インチ
- テキストラップ=オン

注意

- バナーページはA5/Statement以上の大きさの用紙に収まるようにデザインされています。以下の用紙サイズを選択した場合は、1ページに収まりきらないためデフォルト用紙を使用します。
 - Statement
 - A5
 - A6
 - B5
 - はがき
- バナーページはジョブが印刷される前に印刷されます。
- 印刷言語が [raw] に設定されている場合は、バナーページは印刷されません。
- バナーページの給紙カセットまたは用紙種類による給紙元の指定は、ジョブの給紙カセットまたは用紙種類とは別に指定することができます。バナーページ用の給紙元が指定されていない場合は、自動選択が適用されます。用紙種類が指定されていない場合は、プリンターのデフォルト用紙種類が適用されます。
- 出力トレイや用紙サイズの印刷情報を含んでいるファイルを印刷した場合、バナーページは異なる出力トレイに出力されたり、異なる用紙サイズを使用して出力されることがあります。
- バナーページはパンチ処理されません。

バナーオプション

下記オプションを使用してバナーページの印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
banner=last		ジョブを印刷した後にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番上（最後）にバナーページを出力します。
banner=first	banner	ジョブを印刷する前にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番下（最初）にバナーページを出力します。
nobanner	nb	バナーページを印刷しません。ただし、管理者によりLPDのバナーページを印刷するよう本機で設定されている場合は、このオプションは無効となりバナーページが印刷されます。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（`banner=first`）が使用されます。

[例] ジョブを印刷した後にバナーページを印刷するコマンド：`lp -o banner=last <filename>`

バナー給紙元

下記オプションを使用してバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bauto-source		自動で給紙元を指定します。
bdrawer1	buuper bcas1	1段目カセットを指定します。
bdrawer2	blower bcas2	2段目カセットを指定します。
bdrawer3	bpedupper bcas3	3段目カセットを指定します。
bdrawer4	bpedlower bcas4	4段目カセットを指定します。
blcf		大容量給紙装置を指定します。

このオプションを指定しない場合、PCL5eの自動給紙元指定コマンド* [`<esc>&17H`] が送信されます。バナーページは手差しトレイから給紙することはできません。また、バナー給紙元の指定より用紙サイズによる給紙元の指定が優先して適用されます。

[例] 大容量給紙装置から給紙するコマンド：`lp -o blcf <filename>`

バナー用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することによりバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bmtime=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

用紙サイズが常に用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド : `lp -o bmtime=Plain <filename>`

USBダイレクト印刷

■ USBメディアからファイルを印刷する

USBダイレクト印刷は、本機のUSBポートに接続したUSBメディアに保存してあるファイルを印刷する機能です。印刷できるのは、PDF／暗号化PDFファイル（拡張子が「pdf」）、XPSファイル（拡張子が「xps」）、JPEGファイル（拡張子が「jpg」または「jpeg」）、PRNファイル（拡張子が「prn」）およびPSファイル（拡張子が「ps」）です。

注意

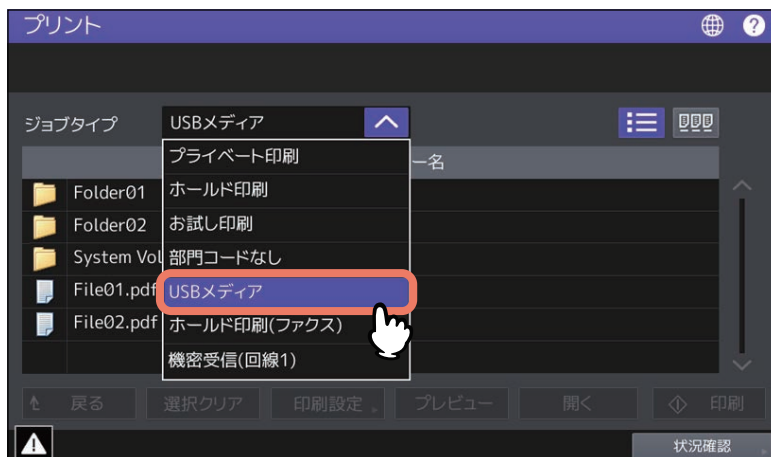
「USBメディアを読み込み中です USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

- 1 タッチパネルのホーム画面で【プリント】を押します。
- 2 USBメディアを、本機のUSBポートに接続します。
数秒後、画面左下に「USBメディアを検知しました」と表示されます。

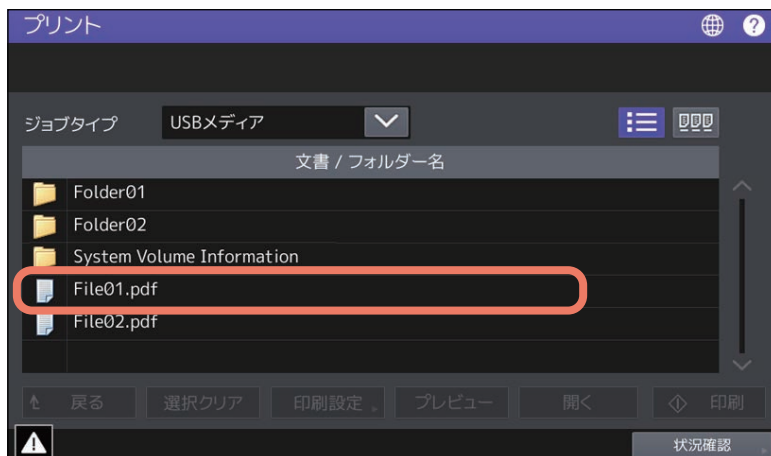
補足

USBポートの位置については、以下の参照先をご覧ください。
機体の情報 - 機体の情報 - 各部の名称と働き

- 3 【USBメディア】を選択します。



- 4 「文書/フォルダー名」一覧から印刷したいファイルを選択します。ファイルは複数選択することもできます。





- フォルダの中のあるファイルを選択する場合は、フォルダを選択して、【開く】を押します。
- 選択したファイルにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して【OK】を押します。

注意

- 一度に複数のフォルダーを選択することはできません。
- サムネイル、プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- USBメディアに保存されているファイルのカラーモードがフルカラーの場合、お使いの複合機がモノクロ印刷機であってもサムネイルおよびプレビューはカラーで表示します。
- サムネイル非対象のファイルは、サムネイル一覧表示時にアイコンで表示されます。
- プレビュー非対象のファイルが選択された場合は、[プレビュー] は有効になりません。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。
- サムネイル、プレビューが表示可能なファイルフォーマットは以下のとおりです。

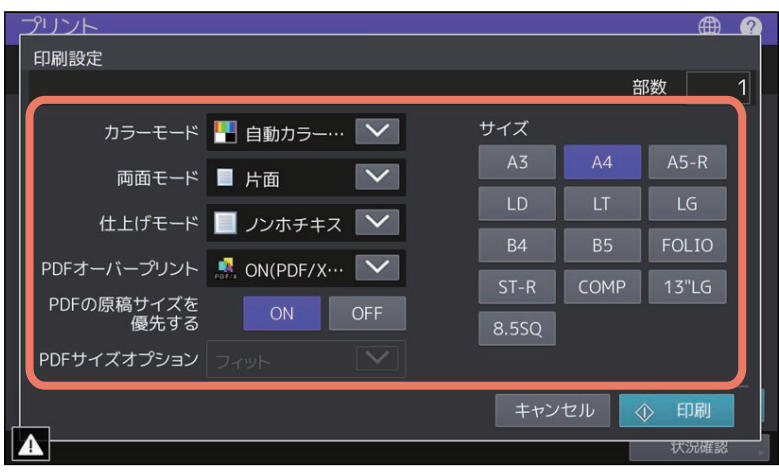
ファイル形式	サムネイル表示	プレビュー表示
PDF [pdf]	対象	対象
暗号化PDF [pdf]	非対象	対象
JPEG [jpg/jpeg]	対象	対象
XPS [xps]	非対象	非対象
PRNファイル [prn]	非対象	非対象
PSファイル [ps]	非対象	非対象

補足

- 暗号化PDFを印刷する場合は「文書を開くパスワード」または「権限パスワード」を入力してください。
- を押すとUSBメディアに保存してあるファイルをリストで表示します。
- を押すとUSBメディアに保存してあるファイルのサムネイル画像（最大1000ファイル）で表示します。
印刷したいファイルがフォルダーに格納されている場合は、[開く]を押します。フォルダーに格納されている各ファイルの先頭ページがサムネイル画像で一覧表示します。
- サムネイル一覧表示中およびリスト表示中のファイルを1つだけ選択している場合に、[プレビュー]が有効になります。[プレビュー]を押すとすべてのページをプレビュー画像で一覧表示します。
 - ページを選択すると、そのページの拡大・縮小やページを回転させて表示することができます。
 - 印刷しないページは、選択中のチェックマークを押して外してください。

印刷設定を変更する場合は、手順5に進んでください。設定を変更しないで印刷する場合は、[印刷]を押します。

5 [印刷設定] を押し、必要に応じて設定項目を選択します。



- カラーモード
カラーモードを設定します。
- 両面モード

両面印刷の設定をします。

片面：片面印刷します。

両面 (左/右とじ)：用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。

両面 (上/下とじ)：用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

- **仕上げモード**

ホチキス留めする位置を設定します。

ノンホチキス：ホチキス留めをしません。

ホチキス (左上)：用紙の左上をホチキス留めします。

ホチキス (右上)：用紙の右上をホチキス留めします。

注意

お使いの機種によっては、[仕上げモード] は利用できません。

- **PDFオーバープリント**

PDFファイル内のオブジェクトにオーバープリントが設定されている場合、この機能を有効にするとオブジェクトをオーバープリント印刷することができます。

OFF：オーバープリントをしないで印刷します。

ON：オーバープリントを有効にして印刷します。

ON (PDF/Xのみ)：印刷対象となるPDFファイルがPDF/Xの仕様に準拠している場合のみ、オーバープリントを有効にして印刷します。

- **PDFの原稿サイズを優先する**

PDFを印刷する場合のみ有効になります。

[ON] に設定すると拡大・縮小せずにPDFの原稿サイズで印刷します。

- **PDFサイズオプション**

[PDFの原稿サイズを有効にする] を [OFF] にした場合に有効になります。

[フィット]：PDFの原稿サイズを選択した用紙サイズに合わせて印刷します。

[大きいサイズを縮小]：PDFの原稿サイズが選択した用紙サイズより大きい場合は、縮小して印刷します。PDFの原稿サイズより選択した用紙サイズが大きい場合は、拡大せずにPDFの原稿サイズで印刷します。

- **サイズ**

用紙サイズを設定します。

注意

- 選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。
- 用紙サイズは、JPEGファイルの印刷または [PDFの原稿サイズを優先する] を [OFF] にしてPDFファイルを印刷する場合に指定することができます。(JPEGファイルを続けて印刷する場合には、ここで指定した用紙サイズの設定が継続して使用されます。)
- PDFオーバープリントの設定は、PDFファイル内のオーバープリントが設定されたオブジェクトにのみ反映されます。PDFファイルに設定されているオーバープリントの効果をあらかじめ確認したい場合は、Adobe Readerのオーバープリントプレビュー機能などで、プレビュー表示を切り替えて確認することができます。

補足

- PDFファイルを印刷する場合は、[両面モード] [仕上げモード] [PDFオーバープリント] [PDFの原稿サイズを優先する] [PDFサイズオプション] の設定ができます。
- [カラーモード] および [PDFオーバープリント] はカラー機のみ表示されます。

6 [印刷] を押します。

用紙は排紙トレイに排紙されます。

■ 印刷時の注意事項

- USBダイレクト印刷を行うには、TopAccessの「USBダイレクト印刷」設定が有効になっている必要があります。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - 一般設定 - 装置情報

- 印刷範囲は設定できません。すべてのページが印刷されます。
- 本機能は、弊社製複合機で作成されたPDFファイルバージョンが1.3～1.7のPDFファイルに対応しています。
- 暗号化されたPDFが印刷できない場合は、クライアントコンピューターから印刷を行ってください。
- [PDFの原稿サイズを優先する] が [ON] の場合、PDFファイルの印刷は、PDF原稿に定義されている用紙サイズで印刷されます。定義されている用紙サイズが、その機種でサポートされていない用紙サイズの場合、ユーザー設定サイズで印刷されます。（ユーザー設定サイズのサポートサイズ外だった場合、幅/高さそれぞれをサポートサイズ内に変換して印刷します。）カセットにセットされている用紙で印刷する場合、タッチパネルで使用するカセットを選択してください。カセットにセットされている用紙が、指定したサイズよりも小さい場合は、画像の一部が印刷されない場合があります。
- USBダイレクト印刷でPRNファイルを印刷する場合、本機がサポートするページ記述言語は、PostScript 3、PCL5e、PCL5c、PCL6です。PRNファイルの場合、本機の設定が優先される場合があります。印刷設定画面で確認のうえ、印刷してください。
- USBメディアをUSBポートに接続したまま、本機の電源を入れしないでください。
- 使用可能なUSBメディアは、以下の条件を満たしたものに限りです。ただし、USBメディアによっては、条件を満たしていても本機で使用できないことがあります。
 - USB2.0 (High Speed)
 - FAT16、FAT32、exFATフォーマット
 - 単一パーティション（複数パーティションのUSBメディアは使用不可）

FTP印刷

FTP印刷は、本機でFTP印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。FTPプロトコルを使用して本機へ印刷ファイルを送信し、文書を印刷します。以下のファイルを印刷することができます。

- PCLファイル
- PS (PostScript) ファイル
- テキストファイル

注意

本機のユーザー管理設定が有効な場合、FTP印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザー認証強制の設定に従って処理されます。ユーザー認証強制設定については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セキュリティ] 項目説明一覧 - 認証 - ユーザー認証設定

補足

- Windowsでは、プリンタードライバーを使ってPCLファイルおよびPSファイルを作成することができます。PCLファイルまたはPSファイルを作成するには、プリンタードライバーのプリンターポートを [FILE:] ポートに変更し、文書を印刷します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。
- macOSでは、プリンタードライバーを使ってPSファイルを作成することができます。PSファイルを作成するには、「プリント」ダイアログボックスの [出力対象] から [ファイル] を選択します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。

FTPコマンドを使用してファイルを印刷する

ここでは、コマンドプロンプトからFTPコマンドを入力し、印刷を行う例で説明します。

- 1 コマンドプロンプトを起動します。
- 2 カレントディレクトリを印刷ファイルが保存されているディレクトリに変更します。
- 3 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。
ftp <IPアドレス>
<IPアドレス>の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
- 4 ユーザー名の入力を要求された場合は、FTPプリントユーザー名を入力し、[Enter] キーを押します。

注意

FTPプリントユーザー名が管理者によって割り当てられている場合に、ユーザー名の入力が要求されません。FTPユーザー名については、管理者にご確認ください。

- 5 パスワードの入力を要求された場合は、FTPプリントパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

注意

- FTP印刷ユーザー名が管理者によって設定されている場合は、パスワードの入力が要求されます。FTP印刷パスワードについては、管理者にご確認ください。
- FTP印刷ユーザー名が設定されており、FTP印刷パスワードが設定されていない場合は、パスワードの入力が要求されたらパスワードを入力せずにそのまま [Enter] キーを押します。

- 6 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
put <ファイル名>  
例：印刷ファイル名が [sample.ps] の場合  
put sample.ps
```

- 7 ファイルが本機へ送信され、印刷キューにスプールされます。

Eメール印刷は、本機でEメール印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。Eメールクライアントソフトウェアを使って、印刷ファイルの本機へEメールの添付ファイルとして送信することにより文書を印刷します。本機では、インターネットファクスのファイルフォーマットであるTIFF-FX (Profile S)、TIFF-FX (Profile F)、TIFFFX (Profile J) ファイル、本機のスキャン機能でモノクロスキャンしたTIFF形式の画像ファイル、およびテキストデータ（プレーンテキスト形式で記述されたメールの本文）を印刷することができます。

Eメール印刷で受信したファイルに上記以外のファイルが添付されていると、印刷を正常に終了できず、受信ログにエラーコードとしてこれが記録されます。TopAccessでは、「Eメール印刷」設定が管理者に用意され、エラーコードをレポートとして印刷するよう設定できます。また、このようなEメールを別のEメールアドレスに転送するように設定することも可能です。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリントサービス設定 - Eメール印刷の設定

注意

- 本機のユーザー管理設定が有効な場合、Eメール印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザー認証強制の設定に従って処理されます。ユーザー認証強制設定については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セキュリティ] 項目説明一覧 - 認証 - ユーザー認証設定

- Eメール印刷ジョブは、本機の管理者設定メニューより [ファクス] → [記録モード] を押して表示される画面で設定できる、切り捨て印刷および縮小印刷の設定によっては、どのように印刷されるかが異なります。

切り捨て印刷がONの場合は、印刷範囲を超える長さが10 mm未満のページイメージは切り捨てられます。印刷範囲を超える長さが10 mmより長いページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

切り捨て印刷がOFFの場合は、長さが用紙印刷範囲を超えるページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

縮小印刷がONの場合は、用紙より長いページイメージは、用紙に収まるように縦方向に最大で90%まで縮小し印刷します。90%の縮小でも用紙に収まらない場合は、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

縮小印刷がOFFの場合は、用紙より長いページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

ここではWindows 10に標準でインストールされているEメールアプリケーションを例に説明します。

注意

本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。

- 1 Eメールアプリケーションを開きます。
- 2 メニューから [新規メール] を選択します。
- 3 [宛先] に、本機のEメールアドレスを入力します。
- 4 必要に応じて、[件名] ボックスにEメールの件名を入力します。
- 5 本文欄にメッセージを入力します。
- 6 印刷したいファイルを添付します。
- 7 Eメールを送信します。

注意

Eメールの [件名] および [本文] は、本機のEメール印刷サービスで [Eメールヘッダー印刷] および [本文印刷] が有効に設定されているときに印刷されます。

Eメールダイレクト印刷

Eメールダイレクト印刷は、本機でEメールダイレクト印刷サービスが〔自動〕に設定されている場合にのみ利用できます。

Eメールクライアントソフトウェアを使って、Eメールに添付したPDF、JPEGまたはXPSファイルの本機に送信することにより印刷することができます。設定の詳細については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリンター設定 - ダイレクト印刷初期値設定

Eメールダイレクト印刷で受信したEメールに添付ファイルがない場合、またはTIFFファイルだけ添付されている場合はEメール印刷として印刷します。

 P.215 「Eメール印刷」

注意

- Eメールダイレクト印刷で受信したファイルにPDF、JPEGまたはXPS以外のファイルが添付されていると、印刷を行わず終了します。
- 暗号化PDF（セキュアPDF）が添付されたEメールは、Eメールダイレクト印刷機能で印刷できません。
- 管理者によって出力できる枚数が設定されている場合、設定された分をすべて出力するとEメールダイレクト印刷で受信したファイルは削除されます。
設定の詳細については、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [カウンター] - [カウンター] の概要説明 - [カウンター] 項目説明一覧 - [割り当て設定] 画面 <アクセスポリシーモード>

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

本機は指定の間隔でメールサーバーにアクセスし、新着メールの有無を確認できます。

Eメールの受信設定が自動受信に設定されている場合、新着メールは自動的に受信および印刷を行います。

注意

- 本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。
- Eメールの〔件名〕および〔本文〕は、本機のEメールダイレクト印刷サービスで〔Eメールヘッダー印刷〕および〔本文印刷〕が有効に設定されているときに印刷されます。

補足

Eメールの受信設定は、TopAccessで変更することができます。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - Eメール設定

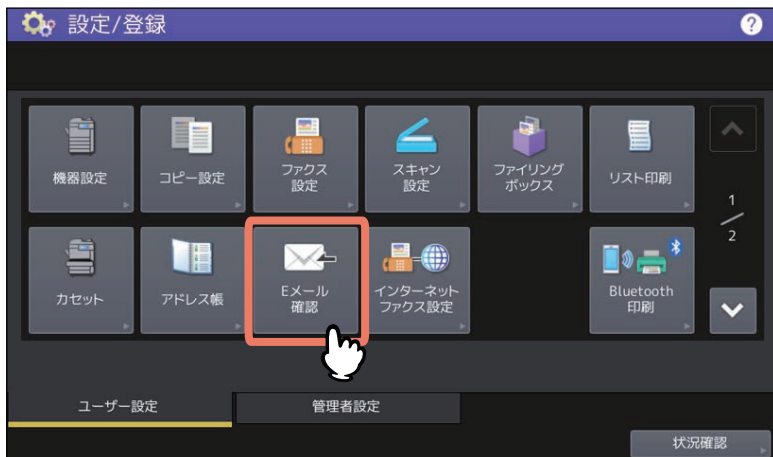
ここではWindows 10に標準でインストールされているEメールアプリケーションを例に説明します。

- 1 Eメールアプリケーションを開きます。
- 2 メニューから〔新規メール〕を選択します。
- 3 〔宛先〕に、本機のEメールアドレスを入力します。
- 4 必要に応じて、〔件名〕ボックスにEメールの件名を入力します。
- 5 本文欄にメッセージを入力します。
- 6 印刷したいファイルを添付します。
- 7 Eメールを送信します。

Eメールの受信設定が手動受信に設定されている場合

ホーム画面を操作して本機にEメールダイレクト印刷で送信したファイルを印刷します。

- 1 ホーム画面で [設定登録-ユーザー -] を押します。
- 2 [ユーザー設定] タブで、[Eメール確認] を押します。



新着メールの確認が開始されます。Eメールダイレクト印刷を受信すると、画面上に「メール受信中」と表示されます。「新規Eメール有り」が表示された後、Eメールダイレクト印刷で送信したファイルの印刷が開始されます。

新着メールが確認されない場合は、「新規Eメール無し」が画面上に表示されます。

IPP-PIN印刷

IPP-PIN印刷は、PINコードが設定された印刷ジョブを本機が受信して、本機のタッチパネルでPINコードを入力してから印刷する機能です。
PINコードを入力するまで印刷を保留します。

注意

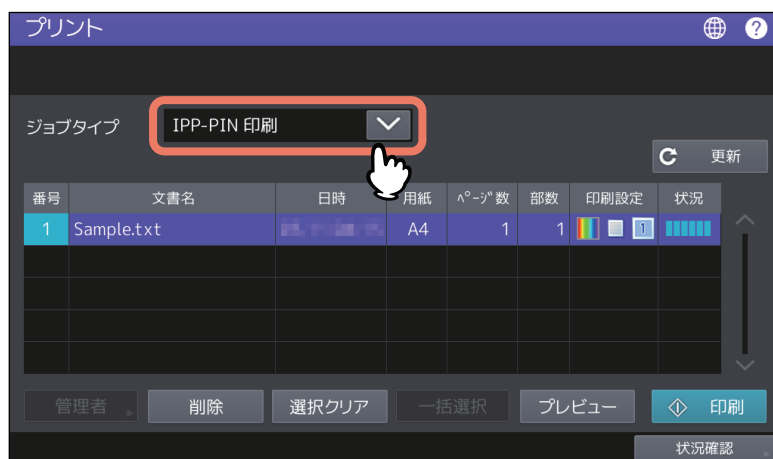
- IPP-PIN印刷として受信したジョブは、他のユーザーからも参照できるようになります。
- PINコード（4～12桁の数字）を忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。
- IPP-PIN印刷を行うには、TopAccessの「PIN印刷使用」設定を有効にする必要があります。詳細は、以下の参照先をご覧ください。
TopAccess - [管理者] - [セットアップ] 項目説明一覧 - プリントサービス設定 - IPP印刷の設定

- 1 お使いのOSで表示する印刷設定画面で、PINコードと印刷設定を行い、印刷を実行します。
本機に印刷ジョブが送信されます。

補足

印刷方法については、各社Webサイトでご確認ください。

- 2 本機のタッチパネルに表示するホーム画面で【プリント】を押します。
- 3 【ジョブタイプ】から【IPP-PIN印刷】を選択します。
IPP-PIN印刷ジョブ一覧画面を表示します。



- **【管理者】**：ユーザーでのログインが未実施の場合、一時的に管理者権限でログインして操作することができます。ログインする場合は、管理者パスワードの入力が必要です。ログインする場合は、管理者パスワードの入力が必要です。
- **【削除】**：選択したジョブを削除します。
- **【選択クリア】**：選択したすべてのジョブを解除します。
- **【一括選択】**：すべてのジョブを選択します。
- **【プレビュー】**：選択したジョブの印刷プレビューを表示します。
- **【印刷】**：選択したジョブを印刷します。
- **【更新】**：本機に送信されてきているジョブの一覧表示が更新されます。

4 IPP-PIN印刷ジョブ一覧画面より印刷するジョブを選択します。

[IPP-PINコード] 画面を表示します。

注意

それぞれの印刷ジョブにPINコードが設定されているため、複数件の印刷ジョブを選択した場合は印刷できません。

補足

IPP-PIN印刷として本機に送信したジョブは、TopAccessの [IPP-PIN印刷ジョブ] 画面でも確認することができます。詳細は、以下の参照先をご覧ください。

TopAccess - [ジョブ] - [ジョブの概要説明] - [印刷ジョブ] 項目説明一覧

5 PINコードを入力して、[OK] を押します。

[キャンセル] を押すとIPP-PIN印刷ジョブ一覧画面に戻ります。

注意

- プレビューで表示した画像は、印刷結果を表示したものではありません。
- お使いの複合機によっては、プレビュー画像が表示されても印刷できない場合があります。

6 [印刷] を押します。

印刷を開始します。印刷が終了したジョブは、IPP-PIN印刷ジョブ一覧から削除されます。

補足

- IPP-PIN印刷は、管理者権限でログインした場合でもPINコードの入力が必要です。
- ユーザー認証、部門認証時にIPP-PIN印刷を行った場合、印刷ジョブはタッチパネルから印刷を実行したユーザー、部門に紐付けられます。

■ IPP-PIN印刷ジョブの削除

IPP-PIN印刷ジョブ一覧画面からジョブを削除します。

1 IPP-PIN印刷ジョブ一覧画面から削除するジョブを選択して、[削除] を押します。

[IPP-PINコード] 画面を表示します。

2 PINコードを入力して、[OK] を押します。

補足

- 削除するジョブに対応したPINコードを入力してください。間違ったPINコードを入力した場合は、削除できません。
- [管理者] を押して、管理者権限でログインした場合は、PINコードの入力なしで削除できます。
- 印刷の保持期間が設定されている場合は、設定された時間を過ぎると自動的に削除されます。保持期間については、管理者にお問い合わせください。

索引

数字

180度回転する	28, 119
1ページ毎に挿入	44, 105
2色	45, 170

C

CMYK	174
CMYKソースプロファイル	116
ColorSync	177

E

Eメール印刷	215
--------	-----

F

FTP印刷	214
-------	-----

I

IPP-PIN印刷	218
-----------	-----

J

JPEG	210
------	-----

L

LDAPサーバー	19
LDAPサーバー設定	133
Linux	192
lp	192
lptap	192

N

Nin1	35
------	----

P

PDF	210
PostScriptエラー情報を印刷する	137
PostScriptオーバープリント	113, 172
PRN	210
PS	210

R

RGB	174
RGBソースプロファイル	116

S

SNMP V1/V2	127
SNMP V3	128
SNMP設定	125, 127

T

TopAccess	124
-----------	-----

U

UNIX	192
USBダイレクト印刷	210

あ

アカウント設定	131
暗号化PDF	210

い

位置	181
インサーターユニット	83
印刷言語	193

印刷ごとにユーザー認証のためのユーザー名とパスワードを入力する	86, 133
印刷時に双方向通信を行う	124
印刷時にテンプレート確認を表示させる	139
印刷の向き	92, 202
印刷部数	193
印刷方式	30, 31, 96
印刷モード	198
印刷用紙サイズ	21, 27
インデックス紙	23, 93, 107
インデックス紙を使用する	106
インデックス数	107
インデックス幅	23, 107
インポート	126

う

上マージン	206
裏表紙挿入	42, 105, 167

え

エクスポート	126
エコ設定	138

お

オートトラッピング	113, 172
オーバーレイファイル	55, 56, 119
オーバーレイファイルで保存	55
お試し印刷	62
オプション	131
オプション機器を設定する	82

か

解像度	51, 111, 112, 179, 180
拡大／縮小	27
角度	181
[画質] タブ	109
画質調整	178
[画質調整] タブ	115
カスタマイズ	131
カスタマイズサーバー	132
カスタムRGBプロファイル	116, 175
[カスタム] タブ	124
カスタム用紙サイズ	151
カセット	83
カセット設定	83, 131, 133, 134
画像をJPEGに圧縮する	137
カラー	45, 92
カラーバランス	178
[カラーバランス] タブ	114
カラープロファイル設定	174
[カラープロファイル] タブ	116
カラーモード	203
簡易設定	75

き

機種名	83, 131
[基本] タブ	90, 111
基本の原稿種類	112
給紙	148
給紙方法	91
給紙元	196
境界線	159

鏡像	28, 119	寸法	181
く		せ	
グループ	31, 97	製本	32, 98, 158
グレーを黒 (K) トナーで印刷する	112	製本印刷	200
黒とグレーの印刷方法	171	製本設定	33, 103
黒とグレーを黒 (K) トナーで印刷する	203	そ	
黒を黒 (K) トナーで印刷する	112	ソースプロファイル	116
け		ソート	30, 97
言語	136	[挿入] タブ	104
原稿サイズ	21, 27, 90	外側マージン	201
原稿サイズと同じ	21	外側余白	158
原稿種類	110, 173	た	
原稿の上に印刷	119	タイトル	193
現在の設定を保存する	112	大容量給紙装置 (外付け)	83
検索されたプリンター	128	縦横交互	31, 97
こ		タブ幅	93
[効果] タブ	118	短辺	98
更新	132	ち	
この設定を使用する	175	中央マージン	201
コミュニティ名	127	中央余白	158
混在原稿の向きを揃える	28, 120	中心の余白を無くす	103
コントラスト	115, 178	丁合い	156
さ		長辺	98
サーバー名	125, 134	つ	
サーバー名リスト	134	追加	134
最初のページのみ印刷する	118	て	
最前面に配置	181	テキスト長	207
細線モード	199	テキストラップ	206
細線をはっきりと印刷する	110, 112	適用範囲	112, 113
彩度	115, 178	デバイスカラーのみに適用	116
最背面に配置	181	デバイス情報取得	132
削除	134	[デバイス設定] タブ	83, 131
サドルステッチ	103	[テンプレート] タブ	139
し		テンプレートの編集	140
仕上がりサイズ	103	テンプレートボタン	139
[仕上げ] タブ	96	と	
下地調整	115, 178	同時に印刷	183
指定ページに挿入	43, 105	トナー節約	41, 124, 166, 199
自動更新	132	ドライバ用紙カセット優先	84, 132
自動両面ユニット	83	な	
シフト幅	23, 93, 107	中折り	96, 103, 164, 195
シャープネス	115, 178	は	
周囲に境界線を印刷	35, 99	バージョン情報	126, 132
出力形式	137	ハードディスク	83
出力先デバイス	125, 130	ハーフトーン	49, 110, 112, 175, 176, 204
出力トレイ	195	排紙先	29, 92, 183
使用するデバイス	138	配列	35, 99
初期値に戻す	175	はがき	24, 150
ジョブタイプ	95, 182	白紙は印字しない	41, 124, 165, 199
ジョブタイプの組み合わせ	68	はじめに	3
白黒	45, 169	バナーオプション	208
す		バナー給紙元	208
ズーム	90	バナーページ	168, 207
スタンプ	52, 118	バナー用紙種類	209
すべての設定を標準に戻す	126		
スムージング	49, 110, 199		

パンチ36, 96, 163, 195
パンチ穴163
反転46, 119

ひ

左から右158
左マージン206
ビットマップを圧縮する137
表紙挿入42, 104, 167
表示タブ設定124
表紙のタイプ168
表示ユーザー名182, 125
標準に戻す58, 103, 113, 114, 115, 116, 122, 123,
.....128, 132, 135, 136, 138
表紙をプリント168

ふ

フォントピッチ202
複製する105
部数30, 31, 92, 139
部単位印刷202
太字レベル137
部門コード17, 18, 85, 125, 146, 198
部門コードを隠す125
プライベート印刷60
プライベート印刷限定133
プラグイン135
ブラックオーバープリント113, 172, 204
プリンター言語設定137
プリンターの追加128
プリンタープロファイル116, 174
プリンタのカラー177
プリンターの追加125
プロジェクトコード18, 125
プロファイル177
分割枚数40

へ

ページ毎に印刷118, 119
ページ集約96
ページ数/枚159
ページ長202
ページの順番103
ページレイアウト201
編集139

ほ

ホールド印刷63
ホールド印刷限定133
ホールパンチユニット83
保管先フォルダー183
ポスター印刷40, 96
ホチキス36, 96, 161, 194
本体に保存65, 66, 67, 183

ま

マルチステーション印刷64

み

右から左158
右マージン206

め

明度115, 178

も

文字181
文字を黒で印刷する46, 110, 112

ゆ

ユーザー設定サイズ129, 125
ユーザー認証133

よ

用紙カセット21
用紙サイズ90, 197
用紙種類21, 91, 149, 196
用紙処理153
余白
外側103
単位103
中心103
余白/とじしろを編集する37, 96
予約印刷59

り

両面印刷32, 96, 157, 197

れ

レイアウト方向159
レターヘッド用紙印刷モード124
レンダリングインテント116, 174

FC-2020AC/2021AC
FC-2525AC/3525AC/4525AC/5525AC
DP-2528A/3528A/4528A/5528A
FC-6527AC/7527AC
DP-6529A/9029A

東芝デジタル複合機

印刷

e-STUDIO2020AC/2021AC

e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC

e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A

e-STUDIO6527AC/7527AC

e-STUDIO6529A/9029A

東芝テック株式会社

